



神奈川県
平塚保健福祉事務所

平成25年度 (2013. 4~2014. 3)

平塚保健福祉事務所年報

目 次

ご利用にあたって	1
第1章 概要	
1 地域の概況	3
2 平塚保健福祉事務所の概況	9
第2章 生涯を通じた健康づくり対策	
1 保健福祉サービス連携調整会議	11
2 保健師活動	11
3 栄養・食生活対策	15
4 歯科保健	21
5 母子保健	25
6 職域保健	30
7 認知症疾患対策	32
8 メンタルヘルス	34
9 エイズ対策	40
10 結核予防	42
11 感染症予防	46
12 難治性疾患対策	51
13 肝臓疾患対策事業	55
14 原爆被爆者援護	56
15 アスベスト（石綿）に関する相談	56
16 健康保持増進	57
17 受動喫煙防止対策	62
第3章 暮らしを支える福祉サービス	
1 地域福祉	63
2 介護保険	65
3 福祉の貸付	66
4 生活保護	67
5 特別障害者手当等の支給	71
6 女性保護・母子福祉	72
7 児童福祉	73

第4章 保健・医療・福祉の基盤づくり

1	湘南西地区保健医療福祉推進会議	74
2	湘南西部地区地域保健医療推進指針の推進	75
3	地域医療連携の推進	76
4	高齢者保健福祉計画の推進	78
5	健康危機管理	78
6	救急医療対策の推進	78
7	人材育成	79
8	医務・薬務	81
9	献血	84
10	免許取扱事務	85
11	保健衛生等表彰	86
12	ネットワークづくり	87

第5章 健康で安心できる生活衛生対策

1	環境衛生営業施設等	89
2	生活環境施設	90
3	動物保護	92
4	毒物劇物、麻薬取扱施設等	92
5	食品衛生	94

資料

1	平塚保健福祉事務所の沿革等	99
2	人口	102
3	衛生統計	106
4	市町における健康診査実施状況	116
5	各種委員会委員	119
6	職員研究論文等一覧	126

《凡例》

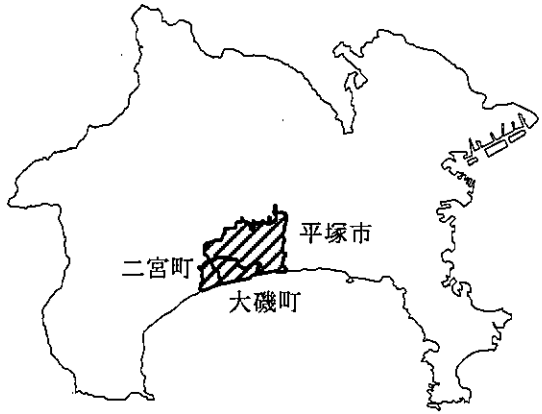
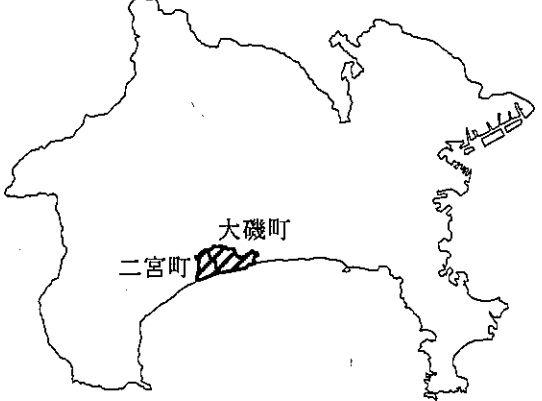
- ・本書は、平成25年度の数値を記載したものです。それ以外の数値の場合、表右上に時点を示しています。
- ・本書中の各項目の〈 〉内は、その業務の担当課を示しています。
- ・本書中で使用した一般的な記号の用途は次のとおりです。
 - 「空欄」…計数のない場合
 - 「0」…小計、合計、総計、及び総数に計数のない場合
 - 「\」…計数のあり得ない場合
 - 「0.0」…比率が微小(0.05未満)の場合
 - 「※」、「注」…注意及び特記事項

ご利用にあたって

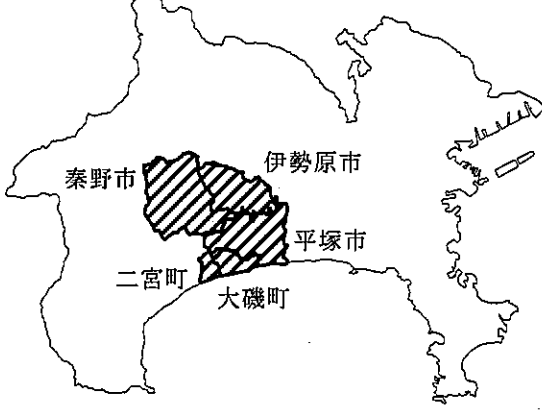
本年報は、平成25（2013）年度の平塚保健福祉事務所の事業内容を取りまとめたものです。当保健福祉事務所の所管区域（業務の対象とする市町）は、「保健所としての業務」及び「福祉に関する事務所としての業務」ごとに対象としている市町が異なっており、具体的には下記1の表のとおりです。

また、当保健福祉事務所が受け持っている「二次保健医療圏」等の区域（対象とする市町）は、下記2の表のとおりです。

1 平塚保健福祉事務所の所管区域

区 分		対象市町名	
平塚保健福祉事務所	「保健所」としての業務	平塚市 大磯町 二宮町	
	「福祉に関する事務所」としての業務	大磯町 二宮町	

2 二次保健医療圏等

湘南西部地区二次保健医療圏	平塚市	
湘南西部保健福祉圏域	秦野市	
湘南西部障害保健福祉圏域	伊勢原市	
	大磯町 二宮町	

3 各章に対応する地域及び市町一覧

区 分	湘南西部地区二次保健医療圏 湘南西部保健福祉圏域 湘南西部障害保健福祉圏域				
	平塚保健福祉事務所			秦野市	伊勢原市
	「保健所」としての業務				
	平塚市	大磯町	二宮町		
第2章 生涯を通じた健康づくり対策	○	○	○	(○)	(○) ^{※1}
第3章 暮らしを支える福祉サービス					
1 地域福祉	○	○	○	○	○
2 介護保険	○	○	○		
3 福祉の貸付	○	○	○		
4 生活保護		○	○		
5 特別障害者手当等の支給		○	○		
6 女性保護・母子福祉		○	○		
7 児童福祉		○	○		
第4章 保健・医療・福祉の基盤づくり					
1 湘南西地区保健医療福祉推進会議	○	○	○	○	○
2 湘南西部地区地域保健医療推進指針の推進	○	○	○	○	○
3 地域医療連携の推進	○	○	○		
4 高齢者保健福祉計画の推進	○	○	○	○	○
5 健康危機管理	○	○	○		
6 救急医療対策の推進	○	○	○		
7 人材育成	○	○	○	○	○
8 医務・薬務	○	○	○		
9 献血	○	○	○		
10 免許取扱事務	○	○	○		
11 保健衛生等表彰	○	○	○		
12 ネットワークづくり	○	○	○	○	○
第5章 健康で安心できる生活衛生対策	○	○	○		

*表中の数字は、目次と対応しています。

*○印は、各業務が対象としている市町を表しています。

※1 第2章 「生涯を通じた健康づくり対策」欄の秦野市、伊勢原市の○印は、「6 職域保健」の対象です。

第1章

概要

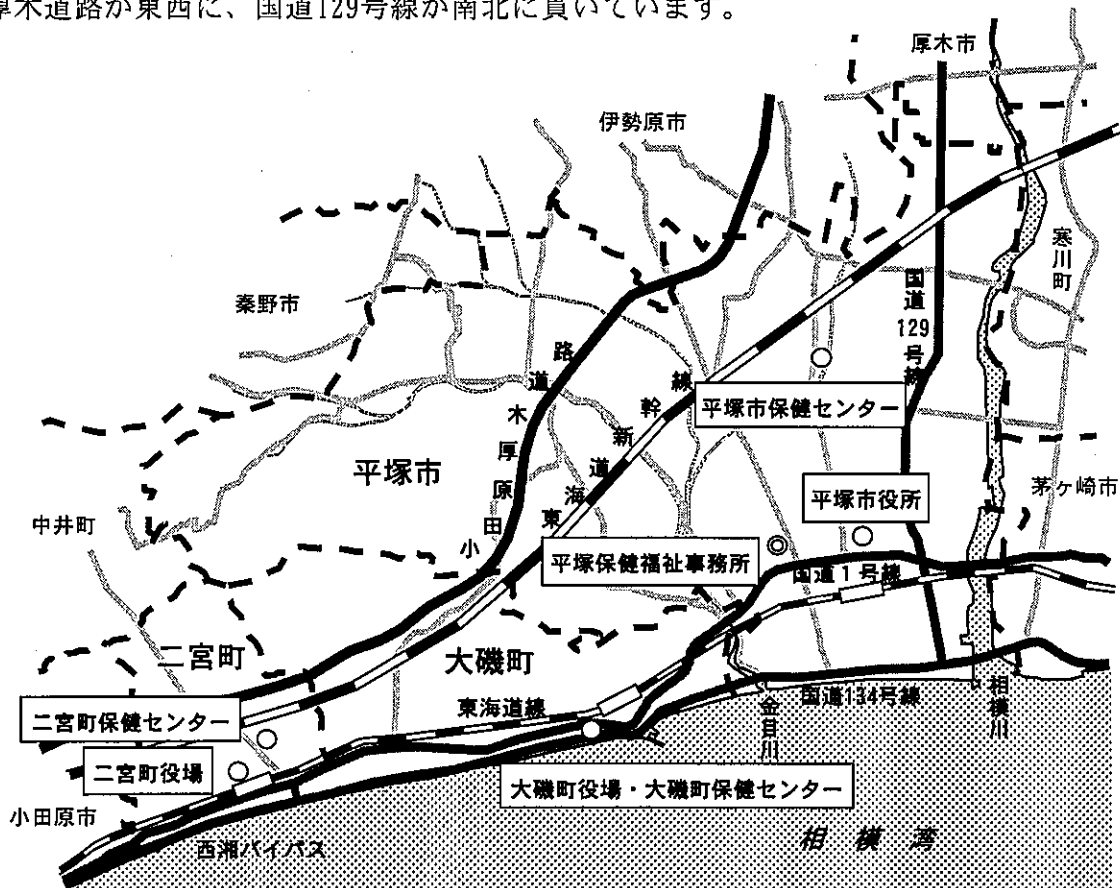
- 1 地域の概況
- 2 平塚保健福祉事務所の概況

1 地域の概況

当所の管轄区域は、平塚市、大磯町、二宮町の1市2町で、神奈川県南部のほぼ中央に位置しており、東は寒川町、茅ヶ崎市に、西は小田原市、中井町に、北は秦野市、伊勢原市、厚木市にそれぞれ境を接し、面積は94.09km²で、県の総面積の約4%を占めています。

地域の北西方向には、丹沢・大山山麓が連なる一方、南は相模湾に面して湘南海岸が広がり、温和な気候と恵まれた自然にあふれた地域です。また、一級河川の相模川が地区の東側を流れるとともに、二級河川の金目川水系が、地域のほぼ全域を流れており、平坦で肥沃な土地が続ぎ、本県農業の中心となっている一方、産業、研究機関の集積が進んでいます。

交通は、JR東海道線が海岸線を東西に貫くとともに、国道1号線、134号線、小田原厚木道路が東西に、国道129号線が南北に貫いています。



管内保健福祉関係行政機関

名称	所在地	電話番号
平塚保健福祉事務所	〒254-0051 平塚市豊原町 6-21	(0463) 32-0130
平塚市役所	〒254-8686 平塚市浅間町 9-1	(0463) 23-1111
平塚市保健センター	〒254-0082 平塚市東豊田 448-3	(0463) 55-2111
大磯町役場	〒255-8555 大磯町東小磯 183	(0463) 61-4100
大磯町保健センター		
二宮町役場	〒259-0196 二宮町二宮 961	(0463) 71-3311
二宮町保健センター	〒259-0123 二宮町二宮 1410	(0463) 71-3311

(1) 人口及び世帯数等

ア 面積、人口、世帯数

(平成25年10月1日現在)

区 分	面 積 (km ²)	世帯数	人 口			人口密度 (人/km ²)	一世帯 当たり の人員	人 口 増加率 (25/24年)
			総 数	男	女			
平塚市	67.83	105,824	258,252	130,265	127,987	3,809	2.44	99.57
大磯町	17.18	12,652	32,496	15,842	16,654	1,888	2.57	99.23
二宮町	9.08	11,506	29,036	14,079	14,957	3,198	2.52	99.08
管内計	94.09	129,982	319,784	160,186	159,598	3,399	2.46	99.49
神奈川県	2,416.05	3,933,787	9,081,742	4,544,198	4,537,544	3,759	2.31	100.11

(県統計センター「神奈川県の人口と世帯」より。面積は「全国都道府県市区町村別面積調」より。)

※ 平塚市と大磯町の境界は未確定のため、参考値

イ 年齢階級（3区分）別人口と割合

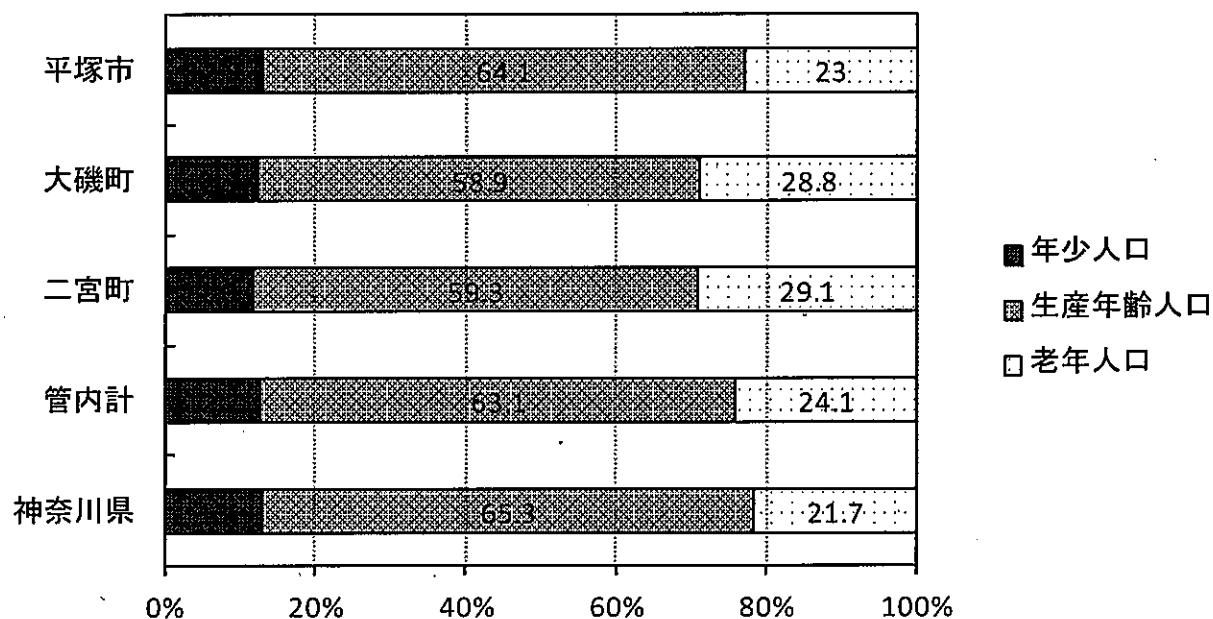
(平成25年1月1日現在)

区 分	総 数	年少人口		生産年齢人口		老年人口		年齢不詳 人 数
		0~14歳		15~64歳		65歳以上		
		人 数	率 (%)	人 数	率 (%)	人 数	率 (%)	
平塚市	259,179	33,464	12.9	166,018	64.1	59,607	23.0	90
大磯町	32,688	4,005	12.3	19,252	58.9	9,410	28.8	21
二宮町	29,264	3,390	11.6	17,341	59.3	8,509	29.1	24
管内計	321,131	40,859	12.7	202,611	63.1	77,526	24.1	135
神奈川県	9,072,533	1,176,417	13.0	5,890,458	65.3	1,953,430	21.7	52,228

(「神奈川県年齢別人口統計調査」より。)

※ 総数には年齢不詳を含んでいるが、年齢3区分構成比は年齢不詳を除いて算出している。

管内年齢階級（3区分）別人口割合



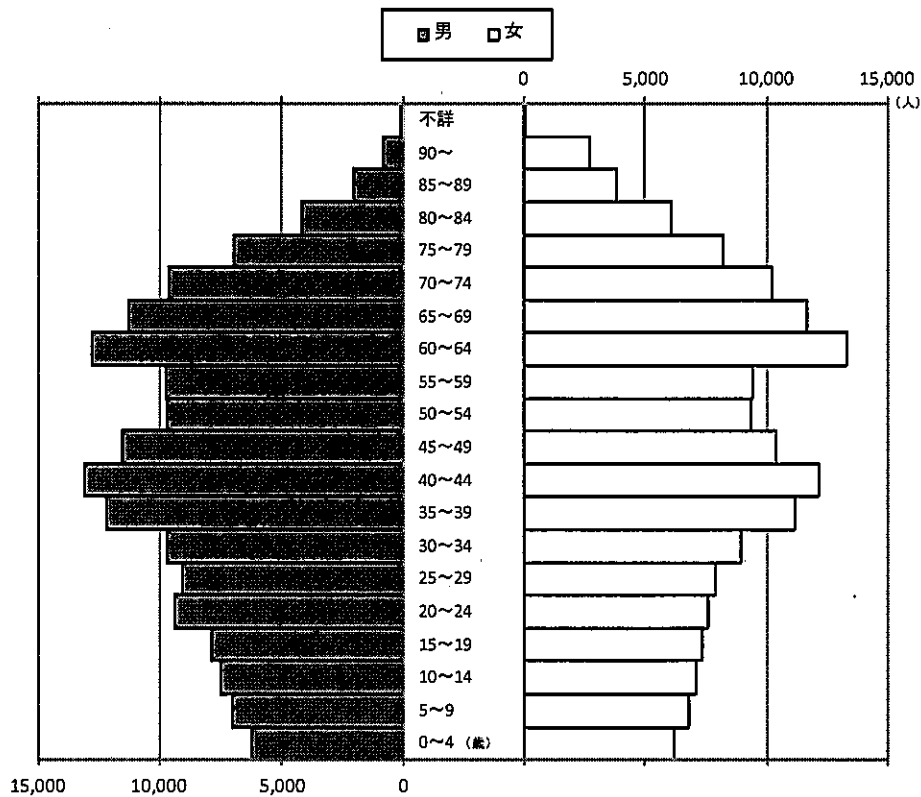
ウ 管内年齢階級別人口（5歳年齢区分）

（平成25年1月1日現在）

区分	平塚市			大磯町			二宮町			管内計		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	10,330	5,192	5,138	1,155	575	580	934	493	441	12,419	6,260	6,159
5～9	11,345	5,785	5,560	1,365	687	678	1,121	573	548	13,831	7,045	6,786
10～14	11,789	6,035	5,754	1,485	764	721	1,335	686	649	14,609	7,485	7,124
15～19	12,357	6,408	5,949	1,435	762	673	1,435	701	734	15,227	7,871	7,356
20～24	14,467	8,099	6,368	1,224	602	622	1,294	669	625	16,985	9,370	7,615
25～29	14,395	7,812	6,583	1,397	701	696	1,173	550	623	16,965	9,063	7,902
30～34	15,652	8,132	7,520	1,570	821	749	1,445	771	674	18,667	9,724	8,943
35～39	19,322	10,148	9,174	2,169	1,106	1,063	1,836	921	915	23,327	12,175	11,152
40～44	20,655	10,846	9,809	2,502	1,223	1,279	2,103	1,046	1,057	25,260	13,115	12,145
45～49	17,728	9,322	8,406	2,137	1,172	965	2,001	996	1,005	21,866	11,490	10,376
50～54	15,307	7,852	7,455	1,878	928	950	1,848	910	938	19,033	9,690	9,343
55～59	15,380	7,902	7,478	2,063	983	1,080	1,739	861	878	19,182	9,746	9,436
60～64	20,755	10,261	10,494	2,877	1,377	1,500	2,467	1,161	1,306	26,099	12,799	13,300
65～69	17,834	8,808	9,026	2,693	1,305	1,388	2,402	1,143	1,259	22,929	11,256	11,673
70～74	15,250	7,362	7,888	2,369	1,187	1,182	2,174	1,063	1,111	19,793	9,612	10,181
75～79	11,599	5,335	6,264	1,832	831	1,001	1,713	803	910	15,144	6,969	8,175
80～84	7,739	3,140	4,599	1,280	545	735	1,214	509	705	10,233	4,194	6,039
85～89	4,491	1,582	2,909	724	226	498	658	247	411	5,873	2,055	3,818
90～	2,694	643	2,051	512	122	390	348	73	275	3,554	838	2,716
不詳	90	79	11	21	15	6	24	14	10	135	108	27
総数	259,179	130,743	128,436	32,688	15,932	16,756	29,264	14,190	15,074	321,131	160,865	160,266

（「神奈川県年齢別人口統計調査」より。）

管内男女別人口ピラミッド



(2) 主な施設等

ア 医療関係

(平成26年3月末現在)

種類	市町	平塚市	大磯町	二宮町	管内計
		医療施設等	病院	9	1
	一般診療所	195	19	22	236
	歯科診療所	136	16	20	172
	助産所	6	1	2	9
薬事施設	薬局	118	15	17	150
	医薬品販売業	62	5	5	72
施術所等	あん摩・はり・きゅう	356	47	58	461
	柔道整復	59	1	5	65
	歯科技工所	26	4	8	38

※ 助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

(平塚保健福祉事務所調べ。)

イ 保健福祉関係

(平成26年3月末現在)

種類		市町				
		平塚市	大磯町	二宮町	管内計	
保健福祉	訪問看護ステーション	12	2	2	16	
	保健センター	1	1	1	3	
	福祉センター	4	2	1	7	
高齢者	介護老人保健施設	5	1		6	
	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	10	2	1	13	
	介護療養型医療施設	4			4	
	養護老人ホーム	1			1	
	軽費老人ホーム	4		3	7	
	老人デイサービスセンター	86	9	6	101	
	地域包括支援センター	8	1	1	10	
	老人福祉センター	4	2		6	
障害者	指定障害福祉サービス	居宅介護	30	4	4	38
		重度訪問介護	29	4	3	36
		行動援護	1	1		2
		重度障害者等包括支援				0
		短期入所(ショートステイ)	10	1		11
		施設入所支援 (障害者支援施設での夜間ケア等)	7	1		8
		共同生活援助	15	1	3	19
		療養介護				0
		生活介護	22	1		23
		宿泊型自立訓練				0
		自立訓練(機能訓練)				0
		自立訓練(生活訓練)				0
		就労移行支援	3		1	4
		就労継続支援(A型)	1			1
		就労継続支援(B型)	15	3	3	21
		特定相談支援(計画相談)	11	1	1	13
		一般相談支援(地域移行・地域定着)	8	1		9
		障害児相談支援	10	1		11
		身体障害者ケア付住宅				0
	地域活動支援センター	23			23	
児童	保育所(公立)	10	1	1	12	
	保育所(私立)	23	1	3	27	
	助産施設	1			1	
	児童自立支援施設		1		1	
	児童養護施設		1	1	2	
	児童発達支援	8	1		9	
	医療型児童発達支援				0	
	放課後等デイサービス	13	1		14	
	保育所等訪問支援	3			3	
	福祉型障害児入所施設	1			1	
医療型障害児入所施設				0		
保護	救護施設	1			1	

(平塚保健福祉事務所調べ。)

ウ 生活衛生関係

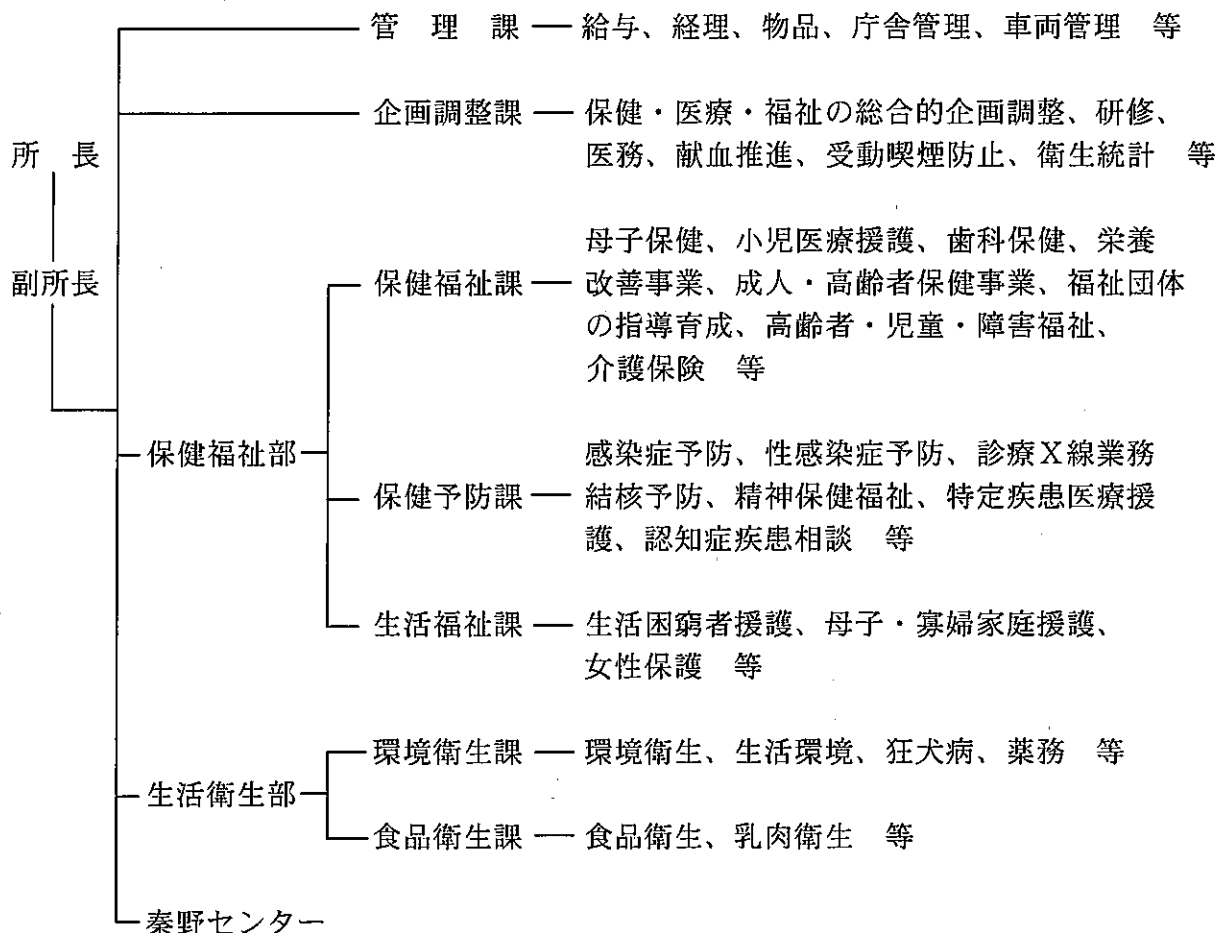
(平成26年3月末現在)

種類		市町			
		平塚市	大磯町	二宮町	管内計
環境衛生 営業施設	理容所	199	18	21	238
	美容所	335	33	39	407
	クリーニング所	185	17	22	224
	旅館	26	3	1	30
	興行場	6		1	7
	公衆浴場	18	4		22
主な食品 営業施設 (移動営業は除く)	飲食店営業	2,245	186	157	2,588
	菓子製造業	170	23	24	217
	乳類販売業	464	48	43	555
	魚介類販売業	244	42	31	317
	食肉販売業	228	31	27	286
	給食施設	98	13	12	123
	野菜果物販売業	189	32	26	247

2 平塚保健福祉事務所の概況

(1) 組織機構

(平成26年4月1日現在)



(2) 職員配置状況

(平成26年4月1日現在)

区分	一般事務	福祉	医師	歯科医師	歯科衛生士	診療放射線技師	栄養士	保健師	衛生監視員	自動車運転員	小計	再任用職員	臨時的任用職員	非常勤職員	小計	合計
所長			1								1				0	1
副所長	1										1				0	1
部長								1	1		2				0	2
管理課	4									1	5	1		2	3	8
企画調整課	6							1			7		1	2	3	10
保健福祉課	7	1		1	1		1	3			14	2		1	3	17
保健予防課	2	2				1		6			11			7	7	18
生活福祉課		8									8			6	6	14
環境衛生課									5		5	1			1	6
食品衛生課									7		7	1	1		2	9
合計	20	11	1	1	1	1	1	11	13	1	61	5	2	18	25	86

(3) 収入・支出決算額

収 入		支 出	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
児童福祉費負担金	1,246,456	一 般 管 理 費	20,601,932
保健所費使用料	30,283	財 産 管 理 費	497,700
公衆衛生費手数料	4,268,720	社会福祉総務費	56,677,492
環境衛生費手数料	9,753,020	児童福祉総務費	797,633
医薬費手数料	3,426,200	児 童 措 置 費	9,686,938
保健所費立替収入	40,689	母 子 福 祉 費	32,000
民生費雑入	7,940,966	障害福祉総務費	14,208,680
衛生費雑入	4,537	老人保健福祉総務費	493,470
		介護保険事業費	78,000
		生活保護総務費	14,152,186
		扶 助 費	423,292,242
		公衆衛生総務費	1,288,956
		予 防 費	3,748,813
		精神保健福祉費	3,399,130
		生活習慣病対策費	198,665
		生活衛生指導費	672,140
		保 健 所 費	18,938,400
		医 務 費	358,608
		薬 務 費	132,000
		人権男女共同参画費	3,505,537
		大気水質保全費	11,000
		貸付事務費	1,000
合 計	26,710,871	合 計	572,772,522

第2章

生涯を通じた健康づくり対策

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 保健福祉サービス連携調整会議 | 11 感染症予防 |
| 2 保健師活動 | 12 難治性疾患対策 |
| 3 栄養・食生活対策 | 13 肝臓疾患対策事業 |
| 4 歯科保健 | 14 原爆被爆者援護 |
| 5 母子保健 | 15 アスベスト(石綿)に関する相談 |
| 6 職域保健 | 16 健康保持増進 |
| 7 認知症疾患対策 | 17 受動喫煙防止対策 |
| 8 メンタルヘルス | |
| 9 エイズ対策 | |
| 10 結核予防 | |



1 保健福祉サービス連携調整会議

＜企画調整課＞

各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、管内における関係機関・団体等で構成する各種協議会・委員会を総称するものです。各委員会では、それぞれの課題について検討し、業務の推進を図っています。

区 分	開催回数				担 当 課
	委員数	委員会	部会等	ワーキング等	
継 続 看 護 連 絡 会	52	1	4		保 健 福 祉 課
難 病 委 員 会	22	1			保 健 予 防 課
母 子 保 健 委 員 会	26	1	1		保 健 福 祉 課
地 域 食 生 活 対 策 推 進 協 議 会	14	1	1		保 健 福 祉 課
地 域 精 神 保 健 福 祉 連 絡 協 議 会	33	1			保 健 予 防 課
歯及び口腔の健康づくり推進委員会	15	1	2		保 健 福 祉 課

※ 各委員会等の内容は、各事業の項に掲載します。

2 保健師活動

＜企画調整課＞＜保健福祉課＞＜保健予防課＞

保健福祉事務所と市町の保健師の連携強化、保健指導技術の向上を図るため、会議や研修会等を開催しました。保健福祉事務所と市町における保健師の業務に関する役割分担の明確化を図るとともに、相互の業務について一層の理解を深めるよう努め、連携の強化を図っています。

(1) 地域保健師業務連絡会議

月 日	内 容	会 場	出席者数
6月4日	1 管内市町・HWCの保健師体制について 2 先駆的な保健師活動の取組みについて 3 看護学生実習について 4 管内保健師研修会について	平塚保健福祉事務所	30

(2) 研修会

月 日	内 容	会 場	参加者数
7月30日	管内保健師研修会（4保健福祉事務所合同実施） 「保健師のための実践講座 ～クレーム対応術から相談対応を学ぶ～」 講師 ヒューマンスキル開発センター 日本心理学会認定心理士 TAインストラクター上級 笠井 徳子	足柄上 合同庁舎	30
12月3日	管内保健師研修会（4保健福祉事務所合同実施） 「見える事業評価のための手法～担当業務の中に事業評価を取り入れるために～」 講師 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 荒木田 美香子	小田原 合同庁舎	24
2月3日	管内保健師研修会（4保健福祉事務所合同実施） 「地域における保健師の保健活動を業務に生かそう～新たな保健師活動指針を読み解き、日々の業務を見直してみよう～」 講師 神奈川県立保健福祉大学 看護学科 北岡 英子	平塚保健 福祉事務所	17
3月17日	管内新任期保健師研修会 1 『個別支援や地域課題から、新規事業を考える』 2 先輩保健師からのメッセージ 講師 平塚市健康課 主査 古田 美穂 平塚保健福祉事務所保健福祉課 副技幹 宮崎 晃子 3 グループワーク	平塚保健 福祉事務所	9

(3) 家庭訪問

区 分	感 染 症	結 核	精 神 障 害	心身障害					生 活 慣 病		難 病				小児特定				そ の 他 疾 病	未 熟 児		妊 産 婦	そ の 他	合 計		
				1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 以 下	39 歳 以 下	40 歳 以 上	39 歳 以 下	40 歳 以 上	膠 原 病	血 液 系	循 環 器	神 経 系	そ の 他	1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 以 下		18 歳 以 上	1 歳 未 満				1 歳 以 上	
訪 問 件 数	46	143	88	8	6	26									85	3	6	6	3		8	2	5	8	24	467
合 計	46	143	88	40					0		88				15				8	7		8	24	467		

(再掲)

区 分	介 護 保 険		児 童 虐 待	高 齢 者 虐 待	小 児 ア レ ル ギ ー		
	専 門 調 査	苦 情 等 調 査			喘 息	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	そ の 他 ア レ ル ギ ー の 疑 い
訪 問 件 数			50	8			
合 計	0	0	50	8	0	0	0

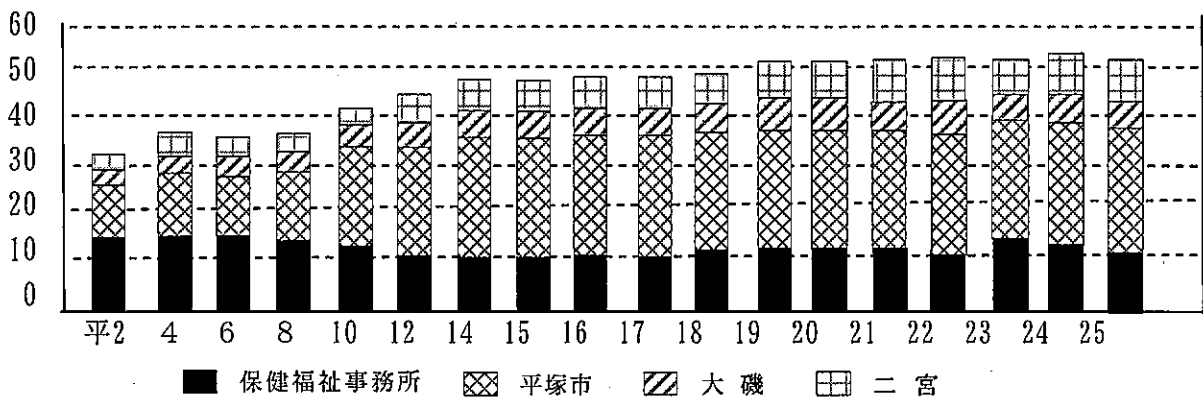
(4) 所内指導

区分	感染症	結核	精神障害	老人性認知症	心身障害	障害児	生活習慣病	難病	小児特定	その他疾病	妊婦	産婦	未熟児	乳児	幼児	思春期	エイズ	女性の健康相談	その他	合計
面接	57	206	63	2	23	3		2,062	26	2							601	1		3,046
電話	524	989	452	32	1	52		617	15	28	12	2	10	8	8	3	516	15	8	3,295
文書・メール	26	30						64								1				121
合計	607	1,225	515	34	24	55	3	2,743	41	30	12	2	10	8	8	4	1,117	16	8	6,462

(5) 管内保健師設置状況

区分	平塚保健福祉事務所				市・町					合計
	部長	企画調整課	保健福祉課	保健予防課	地域保健担当課	介護保険担当課	障がい福祉課	保険年金課	職員課等	
平塚保健福祉事務所	1	1	4	6						12
平塚市					21	3	1	1	1	27
大磯町					6					6
二宮町					6				2	8
合計	1	1	4	6	33	3	1	1	3	53

管内保健師数の推移



(6) 継続看護連絡会

看護が必要な住民に対し、継続的な看護が提供できるよう、医療機関と地域との連携を推進しました。また、在宅療養者の感染防止対策の地域連携に取り組みました。

ア 連絡会・部会・研修会等

月 日	議題及び内容	会 場	出席者数
連絡会 12月20日	1 感染防止対策における地域連携の取組みについて 2 災害時要援護者への防災対応について 3 医療と介護との連携について		52
部会1回目 5月15日	1 感染症対策における現状について情報交換 2 感染症対策における地域連携について 3 25年度の事業計画	平塚保健 福祉事務所	8
部会2回目 12月4日	1 今年度の活動内容と課題について 2 今後の活動について 3 平成25年度継続看護連絡会における報告について		7
研修会 6月21日	在宅療養者の防災対策 ～要援護者の支援を学ぶ～ ・平塚市社会福祉協議会・平塚市港地区福祉村・ 太洋中学校からの講師依頼 ・傷の手当（中学1年生に対し8人のスタッフでグルー プワークを実施しました。）	平塚市立 太洋中学校	436
情報交換会 1回目 7月3日	感染対策のための情報交換会 ・疥癬の対応 ・情報交換会	平塚保健 福祉事務所	28
情報交換会 2回目 11月29日	感染対策のための情報交換会 ・いろいろな菌について知ろう ・情報交換会		22

イ 感染管理認定看護師による相談対応

相談件数 9件

3 栄養・食生活対策

＜保健福祉課＞

個々のニーズに対応した問題及び地域社会に共通した課題など、生涯を通じた健康づくりのため、栄養・食生活改善の充実強化、食環境づくりの整備さらに各種関係機関との連携や基盤整備を図ることを目的として、地域食生活対策推進協議会の開催、栄養表示の指導、特定給食施設の指導等を実施しました。

(1) 地域食生活対策推進協議会

働く人の健康づくりを支援するため、関係機関の取り組みを共有し、食環境整備として情報提供の充実を図る等生活習慣病予防を推進していくことを目的に地域食生活対策推進協議会及び部会を開催しました。

月 日	内 容	会 場	出席者数
協議会 1月29日	1 働く人の健康づくり食環境整備について (1) 部会報告(卓上POPの今後の扱いについて) (2) 卓上POPの設置状況について (3) 卓上POP設置による効果の評価について 2 働く人の健康づくりの取り組みの今後の展開について 3 その他 (1) 健康づくりメニュー登録マークの活用ガイドラインの作成について(報告)	平塚保健福祉事務所	21
部会 7月18日	1 働く人の健康づくり食環境整備について ～卓上POPの普及啓発試行後アンケート結果報告～ 2 事業評価について ～実際の普及・活用場面から～ 3 今後の展開について		10

(2) 広域的・専門的栄養改善活動

生活習慣病予防の普及啓発を図るとともに、慢性疾患や個別性の高い長期療養者の生活の質を高めることを目指し、栄養指導教室や相談事業等を実施しました。

ア 専門的栄養指導・食生活支援事業

(ア) 個別栄養指導及び訪問栄養指導

疾 病 名 等	実 人 数	延 人 数	(再掲)	備 考
			訪問件数	
糖 尿 病 合 併 症	4	23		
肥 質 異 常 症 ・ 肥 満 合 併 症	3	14		
肝 臓 疾 患	1	1		
心 臓 病	1	1		児童
難 病	1	1		
ハ イ リ ス ク 児	5	7		
そ の 他 (疾 病 に つ い て)	3	3		腸閉塞、血栓、胆石
そ の 他 (一 般 的 な 食 事 に つ い て)	3	3		ふきの生食について 他
そ の 他 (母 子 に つ い て)	1	1		妊婦の食事
合 計	22	54	0	

(イ) 食生活支援担当者等研修会

月 日	事業名	内 容	対 象	参加者数
8月20日	専門的栄養指導・食生活支援事業	「食物アレルギーを持つ子どもたちの支援者として知っておきたいこと」 講師 茅ヶ崎保健福祉事務所 所長 相原 雄幸 (医師) 「食物アレルギー対応食について～実施の意義と給食現場における留意点～」 講師 独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター 管理栄養士 和田 碧	市町行政、在宅栄養士等	13

イ 栄養・食生活対策推進事業

事業名・教室名	内 容	対 象	集団指導		個別指導
			延回数	延人数	延人数
職域等と連携した生活習慣病予防対策	生活習慣病対策 「リスクを減らすおいしい食べ方」	管内事業所労務安全衛生担当者等	8	116	
地域と連携した栄養・食生活対策	「生活習慣病予防のためにバランスの良い食事の摂り方」	地域活動支援センター利用者及び職員	1	14	
栄養・食生活対策担当者研修会	「一緒に取り組みたい、食からの健康づくり～社員食堂の1食をどう活かす～」	働く人の健康づくりに携わる関係者	1	5	
健康づくりメニュー提供店推進事業	栄養表示のすすめ	飲食店営業者	14	366	
合 計			24	501	0

ウ 栄養表示適正化推進事業

健康増進法に基づく栄養表示基準制度及び特別用途食品に関する普及啓発と活用の推進を図るため、講習会及び個別相談、栄養表示状況調査等を実施しました。

(ア) 普及啓発講習会

対 象	回 数	延人数
事 業 者	13	350
消 費 者	9	140
合 計	22	490

(イ) 事業者に対する表示適正化指導

区 分		健 康 増 進 法		
		第26条・27条 (特別用途食品)	第31条 (栄養表示基準)	第32条の2 (虚偽誇大表示)
		事前相談・指導	件 数 延 回 数	1 2
適正化指導	件 数		1	1
	延 回 数		2	2
	改善確認数		1	1

(ウ) 消費者からの表示相談

区 分	健康増進法第32条の2 (虚偽誇大表示)
件 数	0
延 回数	0

(エ) 表示食品調査

区 分	健康増進法第31条 (栄養表示基準)
件 数	7

(2) 特定給食等指導事業

健康増進法に基づき、給食施設の栄養管理の実施について、必要な指導、助言を行うとともに、利用者や職員などの健康に関する知識の普及や健康・栄養教育等の支援を行い、給食を通じた地域の健康づくりを推進しました。

ア 特定給食施設等講習会

(ア) 全体講習会の開催状況

月 日	内 容	対 象	参 加 施設数	参加者数
5月17日	1 「給食施設の衛生管理について」 講師 平塚保健福祉事務所 食品衛生課 食品衛生監視員 2 「調理学の基礎～知っておきたいプロの技～」 講師 神奈川県立保健福祉大学 教授 横山 公通	調理師、調理員、地域活動栄養士	93	119
6月3日	1 「給食施設の衛生管理について」 講師 平塚保健福祉事務所 食品衛生課 食品衛生監視員 2 「かながわ健康プラン21（第2次）～健康寿命日本一を目指して～」 講師 当所栄養士	特定給食施設の管理者、栄養士、管理栄養士、地域活動栄養士	103	124

※会場はすべて平塚保健福祉事務所。

(イ) 種別講習会の開催状況

月 日	内 容	対 象	参 加 施設数	参加者数
8月20日	「食物アレルギーを持つ子どもたちの支援者として知っておきたいこと」 講師 茅ヶ崎保健福祉事務所 所長 相原 雄幸 (医師) 「食物アレルギー対応食について～実施の意義と給食現場における留意点～」 講師 独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター 管理栄養士 和田 碧	学校、児童福祉施設、社会福祉施設	38	41
9月17日	「一緒に取り組みたい、食からの健康づくり～社員食堂の1食をどう活かす～」 講師 神奈川工科大学 応用バイオ科学部 栄養生命科学科 教授 饗場 直美	事業所	13	20
12月19日	「嚥下調整食品の課題と今後の方向性」 講師 ヘルシーフード株式会社 開発部 上席研究員 西田 稔	病院、社会福祉施設、老人福祉施設、老人保健施設、有料老人ホーム、児童福祉施設	29	34
2月5日	「災害時の栄養管理 ～特定給食施設で備えておきたいこと～」 講師 社会福祉法人 緑風会 緑風荘病院 栄養室健康推進部 主任 西村 一弘	病院、社会福祉施設、老人福祉施設、老人保健施設、有料老人ホーム	21	22
2月28日	「社会福祉施設における栄養ケア・マネジメント-ひばりが丘学園での実践例-」 講師 ひばりが丘学園 管理栄養士 熊倉 明日香	社会福祉施設	6	6
3月13日	「児童養護施設の栄養管理について」 講師 おおいそ学園 専門栄養士 深沢 初江	児童養護施設	3	3

※ 会場はすべて平塚保健福祉事務所

イ 給食施設個別指導

給食施設に対し、個別指導、相談を実施しました。

		管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいない施設		施設数 合計	指導件数 合計
		施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数		
① 指定施設	学 校									0	0
	病 院			5	7					5	7
	介護老人保健施設									0	0
	老人福祉施設									0	0
	児童福祉施設									0	0
	社会福祉施設									0	0
	事業所	5	5	1	1	1	2			7	8
	寄宿舎									0	0
	矯正施設									0	0
	自衛隊									0	0
一般給食センター									0	0	
その他									0	0	
計		5	5	6	8	1	2	0	0	12	15
② 11日 1回 300食以上又は	学 校	9	9	1	1	2	2	2	2	14	14
	病 院									0	0
	介護老人保健施設									0	0
	老人福祉施設									0	0
	児童福祉施設									0	0
	社会福祉施設									0	0
	事業所					1	1			1	1
	寄宿舎									0	0
	矯正施設									0	0
	自衛隊									0	0
一般給食センター									0	0	
その他									0	0	
計		9	9	1	1	3	3	2	2	15	15
③ 11日 1回 100食以上又は	学 校	2	2			1	1			3	3
	病 院	1	1	3	4					4	5
	介護老人保健施設	2	2	3	3					5	5
	老人福祉施設	2	3	5	5					7	8
	児童福祉施設	4	4	2	2	16	16	11	11	33	33
	社会福祉施設	3	3	1	1	2	2	2	2	8	8
	事業所	1	1			7	7	8	8	16	16
	寄宿舎					1	1			1	1
	矯正施設									0	0
	自衛隊									0	0
一般給食センター									0	0	
その他					1	1			1	1	
計		15	16	14	15	28	28	21	21	78	80
④ その他の給食施設	学 校									0	0
	病 院			1	1					1	1
	介護老人保健施設			1	1					1	1
	老人福祉施設	5	7	6	6	1	1	2	2	14	16
	児童福祉施設	3	3			3	2	6	6	12	11
	社会福祉施設	2	2	1	1	1	1	3	3	7	7
	事業所					2	2	16	16	18	18
	寄宿舎							6	6	6	6
	矯正施設									0	0
	自衛隊									0	0
一般給食センター									0	0	
その他	2	2			3	3	7	7	12	12	
計		12	14	9	9	10	9	40	40	71	72
合計		41	44	30	33	42	42	63	63	176	182

(3) 市町支援

ア 企画・業務支援 16 回

イ 管内食生活改善業務連絡会議 2 回

(4) 人材育成

地域における食生活改善活動の推進を図るため、人材育成及び活動支援等に努めました。

ア 地域活動栄養士研修会

月 日	内 容	講 師	参加者数
6月3日	<ul style="list-style-type: none"> 「給食施設の衛生管理について」 「かながわ健康プラン21(第2次)～健康寿命日本一を目指して～」 	当所食品衛生監視員 当所栄養士	7

※ 特定給食施設等講習会と併せて実施

イ 管理栄養士課程実習生指導

区 分	コース	学生数	期 間
県立保健福祉大学	1	3	5月13日～5月17日
鎌倉女子大学	1	3	6月3日～6月7日
文教大学	1	3	9月2日～9月6日
神奈川工科大学	1	2	9月30日～10月4日
関東学院大学	1	4	2月3日～2月7日
相模女子大学	1	2	2月24日～2月28日
合 計	6	17	

ウ 地区組織等の育成

区 分	指導回数	延人数
食生活改善推進員リーダーの育成	15	263
栄養士会	13	120
合 計	28	383

(5) 地域保健活動推進研修事業

地域において食育及び栄養・食生活対策を推進する市町及び関係機関・団体等の栄養士等を対象に研修等を実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加者数
9月3日	<ul style="list-style-type: none"> 「お口と全身のことを考えてみよう」 「賢い水分補給のポイント」 	当所歯科衛生士 当所栄養士	43

(6) 国民健康・栄養調査

健康増進法に基づき、国民の身体状況、栄養摂取状況及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康増進の総合的な推進を図る基礎資料とするため、国民健康・栄養調査を実施しました。なお、併せて県民健康・栄養調査を上乗せ実施しました。

実施地区	対 象		実 施		
	世帯数	人数	世帯数	人数	内 容
平塚市 夕陽ヶ丘	24	72	18	18	栄養摂取状況調査
				46	身体状況調査
				34	生活習慣調査

4 歯科保健

＜保健福祉課＞

「8020達成」（80歳で自分の歯が20本以上）を目標として、う蝕予防のために検診・指導や普及啓発を行い、生活習慣病予防等の全身の健康という視点から、歯間清掃用具の普及に取組み、歯及び口腔の健康づくりを推進するために「8020運動推進員」の育成を行いました。

また、疾病・障害がある児への対策については、歯科疾患予防や摂食機能発達支援などを実施しました。

さらに、地域の歯科保健推進のため、「歯及び口腔の健康づくり推進委員会」を開催し、地域での歯科保健の課題の共有、検討、情報交換を行いました。

(1) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

ア 委員会

月 日	内 容	会 場	出席者数
3月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科保健連絡小委員会の結果報告 ・ 管内市町3歳児歯科健診状況の推移 ・ 平成25年度管内歯科保健事業の実施状況（評価）と今後の方向性 ・ 8020運動推進員養成事業について 	平塚保健福祉事務所	委員 15 事務局 6

イ 歯科保健連絡小委員会

月 日	内 容	会 場	出席者数
11月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市、保健福祉事務所歯科保健事業について ・ 情報交換 	平塚保健福祉事務所	4
11月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町、保健福祉事務所歯科保健事業について ・ 情報交換 	大磯町保健センター	6

(2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町との連携の中で、重度う蝕傾向にある幼児を早期に把握し、予防を図るための定期検診、指導、予防処置を実施しました。

ア 歯科検診、予防処置等の実施状況

開催回数	受診者数			予防処置者数（延人数）			
	初診	再診	合計	フッ化物塗布	フッ化物液磨き フッ化物洗口	う蝕進行抑制剤塗布	合計
57	75	275	350	302		28	330

イ 初診者の把握経路

市 町 事 業				保健福祉事務所事業	合計
1歳6か月児	2歳児	3歳児	その他		
43	21		10	1	75

ウ 初診者のう蝕り患状況

把握事業名	受診者数	う蝕の状況			対処分類			
		う蝕あり	う蝕の疑い	う蝕なし	非ハイリスク児	リスク解消児	ハイリスク児	
							保健福祉事務所継続	その他
1歳6か月児健診	43	15	13	15	3	1	37	2
2歳児歯科健診	21	3	9	9		3	18	
3歳児健診								
その他	10	2	2	6	2	1	6	1
保健福祉事務所事業	1		1				1	
合計	75	20	25	30	5	5	62	3

(3) 障害児者等歯科保健事業

歯科疾患にかかりやすく、重症化しやすい障害児者に対し、検診、保健指導、予防処置を実施し、また、歯科医療機関へ1人紹介しました。さらに、摂食・嚥下機能の発達を促すために摂食機能相談を実施しました。

ア 歯科検診、予防処置等の実施状況

開催回数	受診者数		内容（延人数）				
	実人数	延人数	歯科検診	予防処置	歯科保健指導	生活・食生活指導	摂食指導
48	63	145	139	119	139	8	6

イ 年齢別受診状況

区分	6歳以下	7～19歳	20歳以上	合計
初診	36			36
再診	103	6		109

(4) 歯周疾患予防対策事業

「地域保健活動推進研修会」の参加者を対象に、歯みがき指導を実施しました。

開催回数	受診者数		
	初診	再診	合計
1	43		43

(5) 歯の健康づくり事業

全身の健康の視点からの歯や口の健康づくりについて総合的に推進するため、歯間清掃用具の活用促進、歯周疾患予防推進を図りました。

対象	開催回数	参加者数
大磯町4か月児健診参加者（保護者）	5	170
二宮町1歳児歯科相談参加者（保護者）	6	163
合計	11	333

(6) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

ア 訪問状況

実人数	訪問者数						従事者数(延人数)	
	延人数						歯科医師	歯科衛生士 訪問歯科衛生士
	6歳以下	6～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	合計		
7	15	3				18	18	16

イ 疾患別状況

区分	慢性疾患児	特定疾患者	脳血管障害 後遺症者	認知症疾患者	その他	合計
平塚市	6(16)					6(16)
大磯町						0(0)
二宮町	1(2)					1(2)
合計	7(18)	0	0	0	0	7(18)

※ () 外は実人数、() 内は延訪問回数

(7) フッ化物洗口普及啓発事業

4歳以上の未就学児を主な対象として、かかりつけ歯科医での定期歯科検診と指導、かかりつけ薬局での薬剤の購入を併せた、地域での「家庭内フッ化物洗口」の普及啓発を実施しました。

区分	回数	参加者数
保育所、幼稚園保護者説明会	3	57

(8) 人材育成

地域で歯科保健を担っていく人材の育成を行いました。

ア 在宅歯科衛生士研修

月日	内容	講師	対象	会場	参加者数
12月26日	未熟児の発達とその母親への支援について－Part 1－	こっこどもクリニック 院長 野村 雅寛 子育てを経験されたお母さん	平塚・秦福所在衛 保健所の 管内の 在宅 歯科 衛生 士等	平塚保健福祉事務所	57
1月24日	未熟児の発達とその母親への支援について－Part 2－	芳賀デンタルクリニック 院長 芳賀 定		伊勢原シティプラザ	53

※ 第4章7(2)に再掲

イ 8020運動推進員育成研修

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
11月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「楽しく元気に健口体操」 ・ 先輩8020運動推進員の活動報告 ・ グループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康運動指導士 原 真奈美 ・ 8020運動推進員 2期生 			19
12月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「健口体操の基本を確認」 ・ 先輩8020運動推進員の活動報告 ・ 今日から使える舌体操の媒体づくり ・ 舌体操発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士 伊東 裕子 ・ 8020運動推進員 2期生 	8020運動推進員	平塚保健福祉事務所	18

ウ その他

事 業 名	開催回数	延参加者数
管内歯科保健事業従事歯科衛生士連絡会	3	16
平塚地域歯科衛生士の会「歯みんぐ」支援	10	85

(9) その他の事業

事 業 名	対 象	開催回数	検診・保健指導数
歯と口の健康週間行事	住民（平塚市）	2	67
平塚地区安全衛生大会	企業の担当者	1	24
電話相談等			10

5 母子保健

＜保健福祉課＞

慢性疾患により、成長発達等の課題が予測される児や、療育上の困難が予測される児と保護者を対象に、訪問指導や交流会を実施しました。

また、地域における母子保健事業の円滑な推進を図るため、管内市町との連絡調整を実施するとともに、関係機関で構成する「母子保健委員会」を開催しました。

さらに、児童虐待の予防のために、地域の関係機関と連携体制を構築する「周産期からの児童虐待予防事業」を実施しました。

(1) 母子保健委員会

保健福祉事務所及び市町が実施する母子保健事業及び児童福祉事業の課題や実績の評価を行い、関係機関との連絡調整を図る目的で母子保健委員会を開催しました。

月 日	内 容	会 場	出席者数
委員会 1月28日	<ul style="list-style-type: none"> 新規・重点事業について 未熟児訪問指導事業の実施状況について 周産期からの児童虐待予防についての各機関の取組みと課題について 最近の母子保健事業の状況について（情報交換） 	平塚栗原 ホーラム	31
部会 12月20日	<ul style="list-style-type: none"> 周産期からの児童虐待予防事業における周産期養育支援連絡票の様式見直しについて 周産期からの児童虐待予防についての各機関の取組みと課題について 未熟児訪問指導事業の市町村移管後の実施状況について 	平塚保健 福祉事務所	10

(2) 養育支援事業

養育上の課題を持つ児及び保護者を対象に、児の健やかな発育・発達を促進させ、併せて養育環境を整えることを目的に実施しました。

また、児童虐待を予防するため、育児不安や精神疾患を抱える妊産婦に対し、周産期医療機関、市町、児童相談所及び当所が連携し、周産期から地域全体で児童虐待予防に対する取り組みを推進しました。

ア 訪問指導

実人数	延人数
72	92

イ 個別相談（保健師による電話相談・面接等）

実人数	延人数
66	132

ウ 個別相談（再掲・療育指導連絡票による保健指導）

小児慢性特定疾患児に対して、主治医から療育指導の依頼があったケースに対応し、保健指導を実施しました。

実人数	延人数
7	7

(エ) 研修会

月 日	内 容	会 場	参加者数
11月15日	児童虐待防止研修会（平塚市民病院と共催） 「臨床法医学から見た子ども虐待」 講師 杏林大学法医学教室 教授 佐藤 喜宣	平 塚 市 民 院 病 院	80
1月28日	「10代の妊娠・出産・育児～その課題と支援～」 講師 日本子ども家庭総合研究所 山本 恒雄	平 塚 栗 原 ホ ー ム	40

(3) 思春期保健事業（個別相談）

思春期における心身の成長発達に関する問題等に対処するため、個別相談を行いました。

ア 相談事業

区 分	人 数	相談方法			相談者(延)				相談内容(延)										事後指導(延)							
		電 話	面 接	計	本 人	父 母	そ の 他	計	身 体	性 別	妊 娠	結 婚	病 気	友 人	家 族	学 校	そ の 他	計	助 言 指 導	面 接 継 続	継 続	他 機 関 紹 介	受 診 勧 奨	そ の 他	計	
男	3	3	3	3	3			3					2					1	3	2			2	1		5
女	1	1	1	1			1	1	1										1	1				1		2
合計	4	4	4	4	3		4	4	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	3	0	0	2	2	0	7	

(4) 生涯を通じた女性の健康相談事業

思春期から更年期に至る女性はその健康状態に応じて的確に自己管理ができるように、個別相談を行いました。

ア 一般相談

相 談 方 法			相 談 回 数		相 談 者	
電 話	面 接	そ の 他	1 回	2 回 以 上	本 人	そ の 他
16			6	10	16	

区 分 年 代	相 談 内 容 (延)										事 後 指 導 (延)							
	妊 娠	避 妊	不 妊	性 別	メンタルケア	婦人科疾患	更 年 期	泌 尿 器	そ の 他	計	助 言	専 門 相 談	電 話 継 続	訪 問 継 続	他 機 関 紹 介	医 療 機 関 紹 介	そ の 他	計
10 歳 代										0								0
20 歳 代										0								0
30 歳 代	1									11	11							11
40 歳 代					2	1				3	3							3
50 歳 代										0								0
60歳以上									2	2	2							2
合計	1	0	0		12	1	0	0	0	2	16	16	0	0	0	0	0	16

イ 不妊・不育に関する相談事業

相談方法			相談回数		相談者	
電話	面接	その他	1回	2回以上	本人	その他
1	1		2		2	

区分 年代	相談内容(延)								事後指導(延)											
	不妊症	検査・治療	医療機関情報	医療機関の対応	周囲の偏見や無理解	治療費助成制度	不育症	その他	計	助言	専門相談センター紹介	電話継続	訪問指導	生涯を通じた女性相談	精神保健相談	他機関紹介	医療機関紹介	その他	計	
10歳代									0											0
20歳代									0											0
30歳代									0											0
40歳代		1							1		1									1
50歳代									0											0
60歳以上									0											0
不明							1		1	1										1
合計	0	1	0	0	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2

(5) 未熟児訪問指導

母子保健法改正に伴い、25年度から未熟児訪問指導事業が市町村業務となりました。当所は市町村支援として、市町保健師と同行訪問を実施しました。

訪問指導

区分	1,000g未満		1,000～1,499g		1,500～1,999g		2,000～2,499g		2,500g以上の養育医療		合計
	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	
人数	1		2	2	2						7(新5、旧2)

※ 新：初回訪問（実人数）

旧：2回目以降の訪問

(6) 小児医療援護

小児慢性特定疾患医療給付

区分	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血友病等血液疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	合計
平塚市	27	16	6	27	40	10	13	8	5	9	5	166
大磯町	2	2		2	6	1					1	14
二宮町	2	1	1	3	5				1	1	1	15
合計	31	19	7	32	51	11	13	8	6	10	7	195

(7) 不妊に悩む方への特定治療支援事業

不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額の医療費がかかる体外受精及び顕微授精について、治療に要する費用の一部を助成することにより、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることを目的に実施しました。

区分	申請件数	助成件数
平塚市	278	281
大磯町	32	33
二宮町	24	26
合計	334	340

※1回の申請で複数回分の助成を申請する場合がありますため、申請件数と助成件数は異なります。

6 職域保健

＜企画調整課＞

二次保健医療圏域における地域保健と職域保健を担う組織の有機的連携により、壮年期の勤労者の健康を向上させ、生涯を通じた継続的な健康管理を支援することを目的に、平成20年度、「湘南西地区保健医療福祉推進会議」に「地域・職域連携推進専門部会」を設置し、その下にワーキンググループを置きました。

また、ワーキンググループの企画による研修会、事業所等を対象とした健康教育を実施しました。

(1) 地域・職域連携推進専門部会

ア 専門部会

月日	内 容	会 場	出席者数
6月26日	1 平成24年度地域・職域連携推進事業の実施状況について 2 平成25年度地域・職域連携推進事業の実施計画案について 3 事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業の取り組み 4 地域・職域連携推進事業における最新情報 5 情報交換	平塚保健福祉事務所	18

イ ワーキンググループ

月日	内 容	会 場	出席者数
7月29日	1 平成24年度地域・職域連携推進事業実施結果 2 平成25年度地域・職域連携推進事業計画について 3 事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業の取り組み状況 4 地域と職域双方のメリットが見える連携推進のためにグループワーク テーマ「当地区の働く人の健康を高めるために必要な、これからの取り組み」	平塚保健福祉事務所	26
2月19日	1 平成25年度「事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業」実施結果について 2 地域・職域連携推進事業におけるこれからの対策について 3 かながわ労働センター湘南支所との連携事業について 4 二宮町との地域・職域連携事業について	平塚保健福祉事務所	27

(2) 働く人のメンタルヘルス研修会

月日	内 容	会 場	参加者数
11月27日	講演「メンタルヘルスとリワーク～復職支援を考える～」 講師 (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 神奈川障害者 職業センター障害者職業カウンセラー 鈴木 普子	平塚保健 福祉事務所	21
1月21日	講演「職場におけるストレスマネジメント～ストレスコーピング を学ぶ～」 講師 洗足ストレスコーピング・サポートオフィス 臨床心理士・認知行動療法士 久保田 康文	平塚保健 福祉事務所	51

(3) 健康教育

ア 神奈川労務安全衛生協会平塚支部地区会における講話

テーマ「働く人の健康づくり～2M対策」(2つのMとは、メンタルヘルスとメタボリック
クシンドローム)

(ア) メンタルヘルス対策＝「どう気づく? こころのSOSサイン」

(イ) メタボ対策(生活習慣病対策)＝「リスクを減らす おいしい食べ方」

(ウ) かかりつけ医普及啓発について

月日	講 師	対 象	地区名	会 場	参加者数
6月10日	当所保健師・ 栄養士	安全衛生担当 者 (総括安全衛 生管理者・衛 生管理者・現 場の課長等)	八幡2	東八幡工業団地組合会館	12
6月17日			中央・東・南	日産車体(株)	13
6月24日			八幡1	平塚支部教室	11
7月2日			北1・2	第一三共ケミカルファーマ	11
7月3日			大磯・二宮	二宮工業団地内組合会館	6
7月4日			西1・2・馬入	平塚支部教室	19
7月8日			神田1・2	平塚支部教室	21

イ 全国労働衛生週間平塚地区促進大会、平塚地区安全衛生大会

月日	内 容	講 師	会 場	参加者数
9月6日	健康情報コーナー 1 働く人の健康に関する〇×クイズ 2 健康測定コーナー(スモーカーライザー、血 圧、体脂肪) 3 歯周病予防(歯間清掃用具の説明)コーナー 4 パネル展示	当所保健 師・栄養 士・歯科 医師・歯 科衛生 士など	平塚市 中央公民館	261

ウ 事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業

健康講座テーマ「がん検診のススメ」

月日	講 師	対 象	会 場	参加者数
7月11日	平塚市・当所保健師	各社従業員	日本ユピカ(株)	17
7月24日			(株) 特別警備保障	12
7月31日			(株) 横浜ドラム製作所	60
11月14日			大江工業(株)	35

エ かながわ労働センター湘南支所主催街頭労働相談へ参加

月日	内 容	講 師	会 場	参加者数
11月1日	健康情報コーナー 1 働く人の健康に関する〇×クイズ 2 健康測定コーナー（スモーカーライザー、血圧、体脂肪）	当所保健師など	平塚駅構内	61

7 認知症疾患対策

<保健予防課>

認知症疾患対策として、相談事業、訪問指導事業、地域包括支援センター等の関係者が抱える処遇困難事例の検討会や研修会、健康教育、徘徊高齢者SOSネットワークシステム等の事業を実施しました。

(1) 認知症疾患相談事業

本人、家族、地域包括支援センター職員等からの相談に応じています。

区 分	延件数	実件数	相談方法				相 談 内 容 (延)						
			電話	面接	訪問	その他	疾病一般	問題行動	治療関係	看護介護	入院入所	福祉サービス	その他
定例相談	23	23		18	5		11	11	8	2	1	1	1
随時相談	78	42	70	7		1	33	37	26	13	8	8	5
合 計	101	65	70	25	5	1	44	48	34	15	9	9	6

(2) 認知症疾患訪問指導事業

居住地域の地域包括支援センター職員との同行訪問も多くなっています。

区 分	訪 問 数						年 齢 別						
	男		女		計		40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
	実数	延数	実数	延数	実数	延数							
件 数	2	2	5	11	7	13		1	1		5		7

(3) 処遇困難事例検討事業

関係機関の職員を対象に事例検討会と研修会を実施しました。また、平塚市において実施された高齢者虐待防止ネットワーク協議会に出席しました。

ア 研修会

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
9月10日	認知症の理解と対応～若 年性認知症も含めて～	清川遠寿病院 岩元 誠 院長	管内高齢者保健福 祉担当職員、地域 包括支援センター 職員、居宅介護支 援事業所職員等	平塚保 健福祉 事務所	22
10月21日	認知症とアルコール関連 問題	独立行政法人国立病 院機構久里浜医療セン ター 松下 幸生 副院長			57

イ 高齢者虐待防止ネットワークシステム

月 日	
7月11日	平塚市高齢者障害者虐待防止ネットワーク協議会に出席
1月21日	平塚市高齢者障害者虐待防止ネットワーク協議会に出席

ウ 家族会支援

月 日	内 容	参加機関等	会 場	参加者数
4月25日	認知症介護者サ ロン検討会	市職員、地域包括支援センター、高齢者 施設職員、平塚保健福祉事務所	特別養護老人ホ ーム 平塚富士白苑	8
8月23日	認知症介護者サ ロン検討会	市職員、地域包括支援センター、高齢者 施設職員、平塚保健福祉事務所	特別養護老人ホ ーム 平塚富士白苑	9
10月23日	認知症介護者 のつどい	介護者家族、市職員、地域包括支援セ ンター、高齢者施設職員、平塚保健福 祉事務所	グループホーム へいあんなでし こ	16
2月26日	認知症介護者 のつどい	介護者家族、市職員、地域包括支援セ ンター、高齢者施設職員、平塚保健福 祉事務所	特別養護老人ホ ーム 平塚富士白苑	8

(4) 健康教育

企業、学校等を対象とした認知症サポーター養成講座を実施しました。

月 日	内 容	対 象	場 所	参加者数
9月6日	認知症サポーター養成講座	(株)シニアライフクリ エイト宅配クック123 食事の配達員	レンタルルーム湘南 平塚	40
10月22日	認知症サポーター養成講座	ゆうちょ銀行職員	ゆうちょ銀行 平塚店	9
1月23日	認知症サポーター養成講座	ラッキーソフト社員	株式会社ラッキーソ フト	19

(5) 徘徊高齢者SOSネットワークシステム

ア ネットワークの利用状況

区分	平塚市	大磯町	二宮町	管外（広域調整）	合計
搜索依頼				48	48
身元探索依頼				7	7

イ 事前登録状況（平成25年3月31日現在）

平塚市	大磯町	二宮町	合計
61	22	7	90

8 メンタルヘルス

<保健予防課>

地域住民のニーズに迅速に対応する精神保健福祉相談支援を実現するため、所内体制及び関係各機関との連携を強化し、管内の相談支援体制の向上に努めてきました。

また、一次予防に重点を置いた地域住民向け講演会、健康教育及び企業向け研修会の実施、自殺防止対策として関係機関向け人材育成研修会の実施、訪問支援強化事業として多職種チームで訪問を主体としたチームアプローチを展開し成果を挙げています。精神障害者施策からメンタルヘルス対策の推進まで、幅広い事業展開を図ってきました。

(1) 地域精神保健福祉関係会議

幅広い精神保健福祉関係機関の協力を得て開催しています。精神障害者施策及びメンタルヘルス対策について協議し、関係各機関との連携充実を図っています。

ア 地域精神保健福祉連絡協議会

月 日	内 容	会 場	出席者数
2月7日	1 平塚保健福祉事務所精神保健福祉事業報告 2 市町精神保健福祉事業報告 3 地域において精神障害者を支えるために 4 地域において自殺対策の推進のために 5 精神保健福祉の動向について	平塚保健福祉事務所	34

イ その他会議

月 日	名 称	内 容	出席者数
12月6日	平塚・茅ヶ崎合同地域医療福祉連絡会	精神保健福祉の動向と各圏域の取り組みについて	22
定例年4回	ケース会議	ケース検討等	15 (助言者を除く)

(2) 精神保健福祉業務統計

ア 相談・訪問、年齢別

区分		人数	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	不明	
相談	実人数	把握新	475	3	25	56	106	128	65	40	86	120
		年度新	154									
	再人数		1,580	1	77	74	376	338	355	121	212	26
	延人数		2,209	4	102	130	482	466	420	161	298	146
訪問	実人数	把握新	18		2	2	5	16	9	5	10	1
		年度新	32									
	再人数		352		6	10	70	94	66	41	65	
	延人数		402		8	12	75	110	75	46	75	1

※ 把握新：保健福祉事務所に初めて相談があった者 年度新：過去に相談があり、今年度に入って初回の相談 再：今年度2回目以降の相談

イ 相談種別、問題群

区分	相談種別					特定の問題群（複数選択有）												合計	
	治療の問題	生活上の問題	社会参加の問題	その他	合計	ひきこもり	性格上の問題	こども虐待	家庭内暴力	D V	高齢者虐待	食生活上の問題	障害者虐待	P T S D	ア ド イ ク シ ョ ン	近 隣 苦 情	自 殺 関 連		該 当 な し
相談	1,174	627	92	316	2,209	156	5	144	89	11	53	8	3		122	236	64	1,544	2,435
訪問	246	105	17	34	402	51	3	33	9		21		2		14	80	6	240	459

ウ 診断名別

区分	器質性精神障害	飲酒による精神行動の障害	覚醒剤その他の薬物	統合失調症	気分障害	神経症性障害	生理的障害等	成人の人格・行動障害	心理的発達の障害	小児・青年期の障害	精神遅滞	てんかん	診断保留	異常と認めず	不明・未受診	合計
相談	7	37	12	131	112	45	7	15	10	3	6		1	10	233	629
訪問	3	4		19	7	5		1	1		3				7	50

(3) 普及啓発

ア 研修会

月日	名称	内容	講師	参加者数
11月27日	働く人のメンタルヘルス研修会	「メンタルヘルスとリワーク～復職支援を考える～」	神奈川県障害者職業センター 鈴木 普子	21
1月21日		「職場におけるストレスマネジメント～ストレスコーピングを学ぶ～」	洗足ストレスコーピング・サポートオフィス 久保田 康文	51
2月10日	精神保健福祉地域支援研修	「医療観察法対象者を地域で支えるために～地域処遇中及び終了後に向けて～」 実践報告	横浜保護観察所 社会復帰調整官 寺崎 慎	47
1月16日	地域精神保健福祉人材養成研修会	「支援困難・多問題家庭への対応」	医療法人社団 成仁病院 春日 武彦	77
3月20日		事例検討会		12

イ 健康教育

月日	対象	内容	講師	参加人数
6月10日 6月17日 6月24日 7月2日 7月3日 7月4日 7月8日	神奈川労務安全衛生協会 平塚支部会員	働く人の健康づくり ～2M対策	当所福祉 ・保健師	93
8月27日	平塚市役所職員	保健福祉事務所の業務について 精神保健福祉の基礎知識	当所福祉 ・保健師	54

(4) 団体等支援

団体名等	支援内容	支援回数
家族会	定例会出席等	1
断酒会	一般酒害相談研修会	2

(5) 家族支援

区分	月日	内 容	講 師	参加者数
精神保健 家族教室	10月5日	統合失調症の理解について	平塚病院精神科医 齋藤 英之	実33 延71
	10月19日	本人が使える制度・サービスの紹介 体験談	平塚市障がい福祉課 精神保健福祉士 高橋 宏彰 ほっとステーション平塚 相談支援専門員 大嶋 悦子 他ピアサポーター2人	
	11月2日	DVD視聴・家族会によるグループワーク	湘南あゆみ会世話人代表 谷田川 靖子 他世話人2人	
	合計 1コース (3回) 実33 延71			
うつ病	7月19日	うつ病と復職について	秦野病院 院長 笠原 友幸	実13 延29
	8月2日	うつ病の職場復帰プログラムについて	厚木心療クリニック デイケア課長 有賀 和哉	
	8月16日	うつ病と復職 家族の立場から	うつ病家族コミュニティふらっとり 代表 森 千秋	
	合計 1コース (3回) 実13 延29			

主催：平塚保健福祉事務所 共催：平塚市

(6) 入院関係等事務

ア 精神保健診察

精神保健福祉センター兼務職員として、精神保健診察事務に協力しました。

精神保健福祉法第24条：16件（警察官の通報によるもので、平日の日中対応）

イ 精神科病院実地指導・実地審査（精神保健福祉法第38条の6）

（ア）精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

区 分	平塚市	合 計
施設数	2	2

（イ）精神保健福祉法に基づく実地審査（措置入院・医療保護入院者の精神保健指定医による診察）

施設数	審査結果								
	措置入院			医療保護入院			任意入院		
	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要
2	2			10					

ウ その他事務（経由事務）

区 分	入 院 届	退 院 届	定期病状報告	合 計
件数	589	457	347	1,393

(7) その他の事業・取り組み

内 容	回 数	協力職員延数
関係機関から依頼のケース会議出席		76
心神喪失者等医療観察法ケア会議出席	4	4
精神障害者地域移行・地域定着支援 個別支援(利用決定、ケア会議)	1	1

(8) 地域自殺対策緊急強化基金事業

ア 訪問支援強化事業（地域自殺対策対面型相談支援事業）

- ・平成23年度に「精神障害者アウトリーチ支援に係る調査事業」を実施し、4事例についてモデル的に支援を実施し、地域の実態に即した効果的な支援方法の検証を行いました。平成24年度からは、訪問支援強化事業として非常勤職員（臨床心理士1名・看護師1名・精神科医師1名）を雇用し、当所常勤福祉及び保健師、地域関係機関と連携を図りながら、多職種チームによる支援を展開しています。

(ア) 訪問支援強化事業の実績

（平成26年3月31日現在）

支援対象者数	35名（男性15名、女性20名）
対象年齢	15歳～79歳
平均年齢	47.7歳
支援終了者	18名
訪問支援回数	165回
面接支援回数	93回
電話支援回数	386回（他機関への連絡含む）

- ・10代から70代まで幅広い年代の統合失調症（疑い含む）が約半数で、状態像ではひきこもり、近隣苦情が多く、不登校、依存症、虐待等さまざまな困難を抱えているために社会で孤立、生活が困難となっている事例を対象としました。

(イ) 訪問支援強化事業の効果

- ・35事例のうち9事例は医療や障害福祉サービス、就労などにつながりました。
- ・多職種チームとして各職種の強みを生かした訪問支援を行うことで、外出や安定した生活が送れるようになった事例、見守りや家族支援を行ったことで家族全体が変化した事例がありました。
- ・生活の場に直接出向くことで、本人、家族、関係機関の生の声を聞くことができ、時間をかけて支援を組み立てていくことで、長期化かつ慢性化した事例についても訪問が有効であることを確認しました。
- ・支援事例や家族のニーズ、特性に合わせ、職種や主たるコーディネーターの変更等、フレキシブルな対応を行い、状況に応じて訪問から来所面接に切り替えるなど、さらに幅のある支援を展開しました。

- ・支援者の連携を密にし、スキルアップを図るため、外部講師を招き、精神科訪問看護事例検討会を開催しました。

イ 地域自殺対策人材養成研修事業

(ア) 研修会

月 日	内 容	対 象	講 師	参加者数
7月 4日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	大磯町	当所福祉	95
7月11日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	一般住民	当所保健師	15
9月 5日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	平塚十全病院職員	当所保健師	31
9月26日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	大東化学社員	当所保健師	80
10月29日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	理容所営業者	当所保健師 ・市役所職員	102
11月13日	生徒向け自殺対策出前講座 「キズついた心のケア」	平塚ろう学校生徒	市役所職員	64
11月16日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	一般住民	当所保健師	27
1月21日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	美容所営業者	当所保健師 ・市役所職員	159
3月12日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	湘南グループ(居 宅介護支援員自主 グループ)	当所保健師	19
10月 8日	こころの健康講座 ～見逃さないで!こころのSOS～	一般住民	国立精神・神経医療セ ンター 小高 真美	42
1月11日	講演「ストレスに上手に対処して 『プチうつ』解消!」	地域住民等	国立精神・神経医療 センター 大野 裕	90
1月16日	講演「支援困難・多問題家族への対 応を考える」	相談支援事業所職 員等	医療法人社団 成仁 病院 春日 武彦	77

ウ 地域自殺対策普及啓発事業

(ア) キャンペーン

月 日	内 容	対 象	場 所	参加者数
9月10日	予防啓発グッズと冊子の配布	県民	二宮駅	200
9月2日		県民	平塚駅	1,000
11月10日		二宮ふるさと祭り参加者	二宮町ラディアン	500

9 エイズ対策

＜保健予防課＞

全国でのH I V感染者やエイズ患者が増加の一途をたどる中、神奈川県においても同様に増加しています。H I V感染者は、限られた感染経路しか持たないことから、適切な予防教育によって感染拡大を防止することが可能です。感染拡大防止のためのエイズ相談、検査体制の充実、並びに関係機関との連携を強化した青少年層への性感染症を含めた予防教育、感染者・患者の人権を尊重し偏見・差別のない地域支援を一層推進します。

(1) エイズ対策推進会議

月	内 容	出席団体 出席者数
3月	H25年度は開催せず、書面にて報告 報告内容 (1)平成25年度平塚保健福祉事務所エイズ対策推進会議の経緯について (2)HIV感染者・AIDS患者の発生状況について (3)平成24年度 平塚保健福祉事務所エイズ対策事業実績及び平成25年度事業実施状況について	15団体

(2) エイズ相談・検査実施状況

ア 年度別エイズ相談・検査実施状況

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
相 談	958	776	1,252	1,299	1,189
検 査	409	333	321	345	335

イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

区分	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不 明	合 計
男	6	86	85	42	18	14		251
女	12	39	17	11	5			84
合計	18	125	102	53	23	14	0	335

(3) イベント検査の実施

世界エイズデーにともなうイベント検査として、通常のH I V即日検査実施日に希望者に梅毒、B型肝炎検査を実施しました。（定員30名）

月 日	受付時間	来所人数	検査人数	検査項目		
				H I V	梅毒	肝炎
12月13日	13:30 ～15:00	52	47	47	45	45

(4) エイズ予防普及事業

ア 学校における講演会

青少年を対象に、エイズ・性感染症予防についての知識の普及を図るため、中学校14校、高等学校6校、特別支援学校1校で講演会を実施しました。

No.	月 日	内 容	講 師	学 校 名	参加者数
1	6月24日	エイズ・ 性 感 染 症 予 防	当所保健師	平塚市立神明中学校	161
2	7月10日		a tulip W. S. C 助産師 張ヶ谷 智子	県立平塚農業高等学校	197
3	7月16日		当所保健師	県立大原高等学校	153
4	7月17日		a tulip W. S. C 助産師 張ヶ谷 智子	県立平塚湘風高等学校	220
5	11月6日		当所保健師	二宮町立二宮中学校	153
6	11月11日		当所保健師	県立大磯高等学校	277
7	11月14日		a tulip W. S. C 助産師 張ヶ谷 智子	県立平塚ろう学校	23
8	2月19日		当所保健師	平塚市立横内中学校	80
9	2月19日		a tulip W. S. C 助産師 張ヶ谷 智子	大磯町立国府中学校 生沢分校	24
10	2月20日		当所保健師	平塚市立金目中学校	93
11	2月21日		当所保健師	二宮町立二宮西中学校	104
12	2月24日		当所保健師	平塚市立神田中学校	152
13	2月25日		a tulip W. S. C 助産師 張ヶ谷 智子	平塚市立春日野中学校	108
14	2月26日		当所保健師	大磯町立国府中学校	119
15	2月28日		当所医師	平塚市立旭陵中学校	126
16	3月3日		当所保健師	平塚市立大住中学校	134
17	3月4日		当所保健師	大磯町立大磯中学校	169
18	3月5日		当所医師	平塚市立山城中学校	183
19	3月6日		当所保健師	平塚市立土沢中学校	30
20	3月10日		当所保健師	県立平塚中等教育学校	149
21	3月18日		a tulip W. S. C 助産師 張ヶ谷 智子	県立高浜高等学校	236
合 計					2,891

イ キャンペーン活動

月 日	内 容	対 象	場 所	参加者数
4月～3月	エイズ関連のパネル・予防啓発グッズの設置と冊子の配布	県民	平塚保健福祉事務所	3,000
4月		学生・職員	東海大学湘南校舎 神奈川大学平塚キャンパス	6,500
4月12日 9月6日		看護学生（合同オリエンテーション参加者）	平塚保健福祉事務所	98
9月6日		安全衛生大会参加者	平塚中央公民館	47
11月1日		県民	平塚駅街頭労働相談	100
11月25日 ～12月6日		県民	平塚合同庁舎	1,550

10 結核予防

＜保健予防課＞

結核は、平成19年4月1日から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき二類感染症になりました。これにより、医療機関から患者発生届が直ちに提出され、積極的疫学調査等速やかな対応が可能になりました。当所では、結核予防の普及啓発、関係医療機関との連携により、治療中断者を早期に把握するため服薬支援事業を実施し、また、患者家族や接触者の発病予防に取り組みました。

(1) 診査協議会の開催

感染症診査協議会の開催

(平成25年4月1日から平成26年3月31日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第24条に基づく診査件数

区 分	20条	37条の2							
		小計	被用者保険		国民保険		後期 高齢	生活 保護	その他
			本人	家族	一般	退職			
入院勧告件数	16	0							
入院延長件数	28	0							
医療費公費負担 申請件数	44	90	15	11	22	1	31	6	4
承認件数	44	89	15	10	22	1	31	6	4
不承認件数		1		1					
保留件数		1						1	

(2) 結核患者の登録管理状況

ア 登録患者数

(ア) 年末現在登録患者数

(平成25年12月31日現在)

区 分	総 数	活 動 性 肺 結 核	活 動 性 肺 外 結 核	不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	潜 在 性 結 核 (別 掲)
平成23年	134	28	11	95		34
平成24年	122	34	11	77		65
平成25年	127	20	8	71	28	75
受 療 別	入 院	4	4			
	在宅医療	25	16	8	1	14
	経過観察	98			71	27
	不 明	0				
市 町 別	平 塚 市	113	18	7	63	25
	大 磯 町	10		1	6	3
	三 宮 町	4	2		2	
年 齢 別	0～4歳	0				6
	5～9歳	0				6
	10～14歳	0				2
	15～19歳	1				1
	20～29歳	11	1		6	4
	30～39歳	14	4		9	1
	40～49歳	18	4		14	6
	50～59歳	7		1	4	2
	60～69歳	23	2	2	16	3
	70～79歳	26	4	3	17	2
80歳～	27	5	2	11	9	

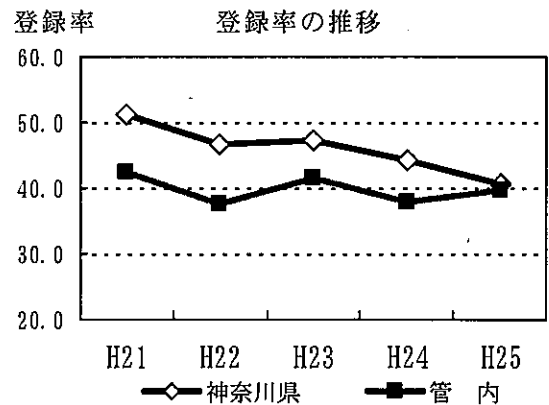
イ 新登録患者数

(平成25年1月1日～12月31日)

区 分	総 数	活 動 性 肺 結 核	活動性肺結核 (内訳)			活 動 性 肺 外 結 核	潜 在 性 結 核 (別 掲)
			喀痰塗沫 陽 性	その他結 核菌陽性	菌陰性・ その他		
平成23年	53	40				13	27
平成24年	54	41	18	23		13	33
平成25年	47	33	18	9	6	14	20
年 齢 別	0～4歳	0					2
	5～9歳	0					2
	10～14歳	0					
	15～19歳	0					
	20～29歳	3	3			3	
	30～39歳	5	5	5			2
	40～49歳	4	4	2	2		3
	50～59歳	2	1		1		2
	60～69歳	10	5	1	2	2	4
	70～79歳	7	5	4		1	3
80歳～	16	10	6	4		6	2

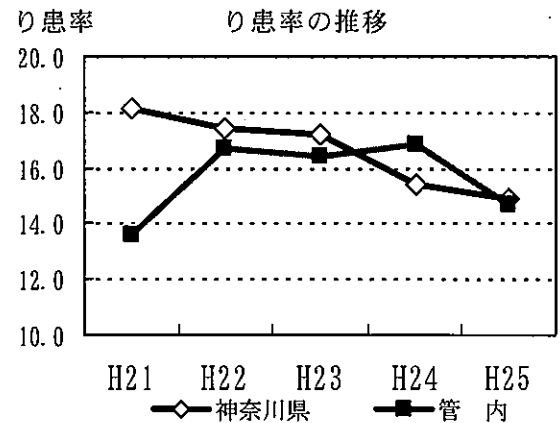
ウ 結核登録率の推移 (対10万人)

年	神奈川県		管 内	
	登録数	登録率	登録数	登録率
平成21年	4,602	51.1	137	42.4
平成22年	4,236	46.8	122	37.7
平成23年	4,275	47.2	134	41.5
平成24年	4,008	44.2	122	37.9
平成25年	3,692	40.7	127	39.7



エ 結核り患率の推移 (対10万人)

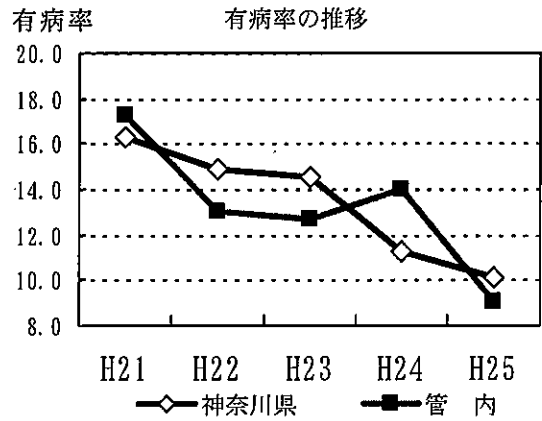
年	神奈川県		管 内	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率
平成21年	1,633	18.3	44	13.6
平成22年	1,577	17.4	54	16.7
平成23年	1,561	17.2	53	16.4
平成24年	1,395	15.4	54	16.8
平成25年	1,353	14.9	47	14.7



オ 活動性結核有病率

(平成25年12月末現在 対10万人)

区分 年	神奈川県		管内	
	患者数	有病率	患者数	有病率
平成21年	1,470	16.3	56	17.3
平成22年	1,350	14.9	42	13.0
平成23年	1,310	14.5	41	12.7
平成24年	1,022	11.3	45	14.0
平成25年	913	10.1	29	9.1



※患者登録数の平成21～25年は、県保健福祉部健康危機管理課「結核登録者の状況」
 ※有病率算出の人口は、県企画部統計課「神奈川県人口統計調査報告(1月1日現在)」

カ 平均有病期間(年)

区分	神奈川県	管内
平成22年	0.86	0.78
平成23年	0.84	0.77
平成24年	0.73	0.77
平成25年	0.68	0.51

※ 平均有病期間=有病率/り患率

(3) 健康診断

ア 接触者健診・管理健診

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

区分	受診者数(延べ)			受診結果			
	保健所	医療機関	合計	要医療	発病の恐れ	異常なし	患者発見率
接触者健診	205		205	3	14	188	1.5%
管理健診			0				0%

イ 検査実施状況

区分		エックス線(直接撮影)				QFT検査			
		平成24年度		平成25年度		平成24年度		平成25年度	
		人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
接触者検診	患者家族	66	66	34	34	29	34	44	44
	接触者	70	70	23	23	170	182	104	104
管理健診		1	1						
合計		137	137	57	57	199	216	148	148

(4) 保健指導

ア 保健指導状況

適切な治療の確保、医療中断の防止、家族・接触者に対する感染予防、発病予防等の指導を実施しました。

家庭訪問		所内指導(延人数)			
実人数	延人数	電話	面接	文書	計
25	118	989	206	30	1,225

イ 結核定期病状管理促進事業

結核患者や経過観察中の患者等で、病状把握が困難な患者に対して、医療機関に病状報告を依頼し、再発予防、二次感染の防止等の患者管理を実施しました。

実施医療機関数	調査件数
6	29

ウ 結核治療中断・継続困難者早期把握調査

治療中断等を早期に把握するため、感染症予防法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）による医療費公費負担を受給している患者の受診状況を調査し、治療継続困難者への保健指導により、受診を勧奨しました。

実施医療機関数	調査件数	実人員	未受診者	中断者
1	82	16	1	

(5) 研修

ア 結核医療従事者研修

月日	内容	講師	会場	参加者数
2月4日	結核の発病を防ぐために ～潜在性結核感染症治療の考え方～	結核予防会結核研究所 副所長 加藤 誠也	茅ヶ崎保健 福祉事務所	56

*茅ヶ崎、秦野保健福祉事務所と合同開催。

イ 施設等での普及啓発活動

月日	対象	内容	講師	会場	参加者数
5月1日	福祉住宅	長引く咳はイエ ローカード、結 核ミニ講座	当所医師・ 保健師	対象施設	21
5月9日	保健師学生			平塚保健福祉事務所	3
5月13日	福祉住宅			対象施設	7
5月29日 6月7日 6月12日 7月1日 7月8日	福祉住宅			対象施設	27
7月10日	保健師学生			平塚保健福祉事務所	3
9月2日	保健師学生			平塚保健福祉事務所	3
10月11日	国機関			対象施設	2
11月25日	有料老人ホーム			対象施設	10
1月20日	飲食店			対象施設	13

11 感染症予防

<保健予防課>

平成10年に「伝染病予防法」に替わり「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が制定され、平成11年4月1日から施行された。さらに平成19年3月には、「結核予防法」が統合され、平成20年には新型インフルエンザ対策の整備等に関する改正が行われた。

当所では、感染症の届出や集団発生時に、積極的疫学調査、保健指導等を実施し、感染症のまん延防止に努めた。また、感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、感染症の発生状況を収集し、県・国に報告するとともに、管内医療機関等に情報提供している。

(1) 感染症の届出状況と積極的疫学調査

(平成25年1月1日～12月31日)

類別	届出件数	疾患名	疫学調査数	検査依頼数
一類感染症				
二類感染症	70	結核・潜在性結核感染症	62	
三類感染症	1	細菌性赤痢	1	1
	3	腸管出血性大腸菌感染症	3	7
四類感染症	1	つつが虫病	1	2
	2	レジオネラ症	2	
五類感染症	3	ウイルス性肝炎		
	1	侵襲性肺炎球菌感染症		
	4	後天性免疫不全症候群		
	1	梅毒		
	3	麻疹	3	
	22	風疹		
総数	111		72	10

*は政令市、県外に同行調査実施依頼

(2) 同行者・接触者調査数

病名	発生件数	同行者	接触者検便延数	海外渡航先
腸管出血性大腸菌感染症O157	2	6	4	
麻疹	2	6		

(3) 医療機関からの相談・検査の依頼件数

病名	相談件数	検査件数	検査結果陽性者
つつが虫病疑い	2	3	1
レプトスピラ疑い	1	1	
重症熱性血小板減少症候群疑い	1	1	
鳥インフルエンザ(H7N9)疑い	1	1	

(4) 菌株の送付件数・行政検査（確定）実施

	件数	病名
菌株の送付	3	細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌O26 腸管出血性大腸菌O157
行政（確定）検査	5	ノロウイルス

(5) 鳥インフルエンザ（H7N9）に関する相談対応

平成25年4月中国における鳥インフルエンザ（H7N9）の患者発生を受け、本県では患者の早期発見のため医療機関からの情報提供を求めるとともに検査体制の整備が行われました。管内でも医療機関等からの相談に対応するとともに必要時、帰国者・接触者外来の受診調整、積極的疫学調査（検体搬送を含む）を行いました。

相談数	相談者			相談内容				事後指導			検査実施
	医療機関	住民	その他	症状	医療体制	渡航	その他	帰国者・接触者外来紹介	医療機関紹介	助言	
計	3	4	1	3	3		2	1	2	1	1

(6) 感染症の集団発生連絡にともなう疫学調査・指導等

社会福祉施等における感染症発生に係る報告（平成17年2月22日通知）に基づく報告に対し、相談、調査、保健指導を行いました。平成25年度は高齢者施設からの報告は減少し、障害者施設等でのインフルエンザの報告が複数ありました。

施設種別	件数	疾患名	発症者数	調査方法
児童養護施設	1	ノロウイルス	3人（入所者3）	相談・保健指導
障害児施設（通所）	1	感染性胃腸炎	32人（通所者24、職員8）	聞き取り調査・保健指導
福祉住宅（NPO法人）	1	ノロウイルス	31人（入所者24、職員7）	立ち入り調査・保健指導
有料老人ホーム	1	ノロウイルス	23人（入所者14、職員9）	聞き取り調査・保健指導
長期入院施設	1	ノロウイルス	13人（患者7、職員6）	聞き取り調査・保健指導
計 感染性胃腸炎等報告施設		5施設	発症者数 102人（入所者等72、職員30）	
障害者入所施設	3	インフルエンザ	54人（入所者42、職員12）	聞き取り調査・保健指導
		インフルエンザ	26人（入所者22、職員4）	聞き取り調査・保健指導
		インフルエンザ	39人（入所者29、職員10）	聞き取り調査・保健指導
児童養護施設	1	インフルエンザ	26人（入所者25、職員1）	聞き取り調査・保健指導
発達支援施設（通園）	1	インフルエンザ	21人（通園児19、職員2）	聞き取り調査・保健指導
障害児入所施設	1	インフルエンザ	36人（入所者32、職員4）	聞き取り調査実施・検便
特別養護老人ホーム	1	インフルエンザ	28人（入所者22、職員6）	聞き取り調査・保健指導
救護施設	1	インフルエンザ	54人（入所者42、職員12）	聞き取り調査・保健実施
計 インフルエンザ報告施設		8施設	発症者数 284人（入所者等233、職員51）	

(7) 集団かぜによる学級閉鎖状況

平成25年度は、26年1月にインフルエンザA型による学級閉鎖(初発)が小学校であり、その後インフルエンザB型、A型による学級閉鎖が続ぎ、24年度に比べ報告数で2.6倍、欠席者数で1.8倍となっています。

年度	施設区分	報告数	欠席者数	学級閉鎖数	学年閉鎖数	施設閉鎖数
平成22年度		142	1,853	184		
平成23年度	総計	189	2,521	231	27	8
平成24年度	総計	67	722	67	8	3
	幼稚園	9	126	3	6	2
	小学校	54	541	62	1	
	中学校	1	36		1	
	その他	3	19	2		1
平成25年度	総計	174	1,325	222	8	2
	幼稚園	10	85	6	2	2
	小学校	149	1,106	202	3	
	中学校	14	126	13	3	
	その他	1	8	1		

(8) 感染症予測監視状況事業

ア インフルエンザ定点(週報)	11機関
イ 小児科定点(週報)	7機関
ウ 眼科定点(週報)	2機関
エ STD定点(月報)	2機関
オ 基幹定点(週報、月報)	1機関

(9) 保健指導

ア 感染症予防研修会

月日	内容	講師	対象	会場	参加者数
6月21日	・施設、在宅サービスでで気をつけたい感染症の予防と発生時の対応(基礎編) 実技:手洗い実習	医師、保健師、食品衛生監視員 環境衛生監視員	介護保険・障害児者・児童福祉施設の管理者、看護職員、介護職員	平塚保健福祉事務所	82
9月26日	・施設、在宅サービスでで気をつけたい感染症の予防と発生時の対応(対策編)~感染性胃腸炎、インフルエンザの対応~ 実技:吐物の処理	保健師 管内感染管理認定看護看護師			62

イ 集団指導実施状況

月日	テーマ	対象	参加者数
9月30日	感染症予防の基礎知識	平塚市介護保険相談員	16
11月19日	介護保険施設職員のための感染症予防講座	ひらつか介護システム会議 介護保険施設連絡会会員	23

ウ 感染対策のための情報交換会開催)

月 日	テ ー マ	対 象	参加者数
7月3日	ミニ講座「疥癬の対応」と情報交換	介護保険・障害児者・児童福祉施設の管理者、看護職員、介護職員	28
11月19日	ミニ講座「最近話題の菌・ウイルスへの対応のポイント」と情報交換		22

※ 管内感染管理認定看護師、保健福祉課と協働で開催

エ 個別指導

訪 問	面 接	電 話	文書・メール	計
46	57	524	26	653

(10) 物品の貸出

正しい手洗いの普及啓発のため、手洗いチェッカーを貸し出しました。

貸出先	高齢者施設	児童養護施設	ろう学校	訪問介護事務所	その他	計
回 数	3	1	2	1	1	8

12 難治性疾患対策

＜保健予防課＞

特定疾患患者に対し医療給付を行うとともに、患者・家族のQOL向上のための講演会やつどいを開催しました。また、関係機関との連携により適切な在宅療養支援の推進を図るため、会議や従事者研修会等を開催しました。

(1) 特定疾患医療援護

特定疾患医療受給者証交付状況

(平成26年3月31日現在)

番号	区 分	平塚市			大磯町			二宮町			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1	ベーチェット病	13	26	39	1	5	6	1	2	3	15	33	48
2	多発性硬化症	9	16	25		3	3		3	3	9	22	31
3	重症筋無力症	21	14	35	3	2	5	4	3	7	28	19	47
4	全身性エリテマトーデス(SLE)	17	111	128	1	14	15	2	12	14	20	137	157
5	スモン	1	3	4			0		1	1	1	4	5
6	再生不良性貧血	8	5	13	1	1	2		3	3	9	9	18
7	サルコイドーシス	5	19	24	1	2	3	1		1	7	21	28
8	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	7	7	14			0	3		3	10	7	17
9	強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	11	75	86	1	7	8	3	7	10	15	89	104
10	特発性血小板減少性紫斑病	12	36	48		5	5		3	3	12	44	56
11	結節性動脈周囲炎	8	12	20	2	1	3		1	1	10	14	24
12	潰瘍性大腸炎	178	158	336	27	20	47	16	13	29	221	191	412
13	大動脈炎症候群(高安動脈炎)	4	12	16		2	2		3	3	4	17	21
14	ビュルガー病(バージャー病)	8	2	10			0	2		2	10	2	12
15	天疱瘡	4	6	10	2		2			0	6	6	12
16	脊髄小脳変性症	38	30	68	1	8	9	2		2	41	38	79
17	クローン病	62	20	82	10	2	12	7	2	9	79	24	103
19	悪性関節リウマチ	7	11	18		2	2		1	1	7	14	21
20	パーキンソン病関連疾患	74	112	186	15	22	37	11	27	38	100	161	261
21	アミロイドーシス		2	2	1		1		1	1	1	3	4
22	後縦靭帯骨化症(OPPL)	50	15	65	12	1	13	8	3	11	70	19	89
23	ハンチントン病	1	1	2			0			0	1	1	2
24	モヤモヤ病	9	28	37	1	3	4	1	2	3	11	33	44
25	ウェゲナー肉芽腫症	2	1	3		1	1			0	2	2	4
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	28	6	34	2	2	4	4		4	34	8	42
27	多系統萎縮症	13	12	25			0	1	2	3	14	14	28
29	膿疱性乾癬	1		1			0	1		1	2		2
30	広範脊柱管狭窄症	4	4	8		1	1	1	1	2	5	6	11
31	原発性胆汁性肝硬変	7	46	53		5	5	1	5	6	8	56	64
32	重症急性膵炎	1		1			0			0	1		1
33	特発性大腿骨頭壊死症	30	14	44	1	2	3	2	2	4	33	18	51
34	混合性結合組織病	1	19	20		3	3		3	3	1	25	26
35	原発性免疫不全症候群	1	1	2			0			0	1	1	2
36	特発性間質性肺炎	13	7	20	2	1	3	2	2	4	17	10	27
37	網膜色素変性症	22	30	52	5	8	13	5	2	7	32	40	72
39	肺動脈性肺高血圧症	2	3	5			0		1	1	2	4	6
40	神経繊維腫症(I型・II型)	4	9	13			0			0	4	9	13
42	バッド・キアリ症候群		1	1			0			0		1	1
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2	4	6			0		1	1	2	5	7
44	ライソゾーム病(ファブリー病)	2		2			0			0	2		2
47	脊髄性萎縮症			0			0	1		1	1		1
48	球脊髄性筋萎縮症	1		1			0			0	1		1
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1	3	4			0	1	1	2	2	4	6
50	肥大型心筋症	1	1	2		1	1			0	1	2	3
52	ミトコンドリア病	2	3	5		1	1			0	2	4	6
53	リンパ管筋腫症		1	1			0		1	1		2	2
55	黄色靭帯骨化症	3	4	7			0	1		1	4	4	8
56	間脳下垂体機能障害	11	16	27	1	1	2	2		2	14	17	31
	計	699	906	1,605	90	126	216	83	108	191	872	1,140	2,012

18劇症肝炎、28表皮水疱症、38プリオン病、41亜急性硬化性全脳炎(SSPE)、45副腎白質ジストロフィー、46家族性高コレステロール血症、51拘束型心筋症、54重症多発性滲出性紅斑(急性期)については、受給者なし。

(2) 医療相談等事業

難病患者及びその家族を対象に、療養上の不安の解消を図るため、講演会や相談会、つどいの開催、訪問相談事業を行いました。

ア 特定疾患講演会

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
10月3日	話しにく・飲み込みにくい ・むせると感じている神経 難病患者の生活の工夫	独立行政法人国立病院機構箱根 病院 副院長 荻野 祐 医師 菅野 理恵 言語聴覚士	平塚保健福 祉事務所	22

イ 特定疾患相談会

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
7月22日	全疾患対象 難病講演会 ※特定疾患医療受給者証の 更新者のうち、希望のあつ た方対象	雇用保健師	平塚保健福 祉事務所	10
7月24日				9
7月25日				9
7月26日				9
7月27日				10
10月3日	神経難病患者家族相談会 ※講演会と同日開催	独立行政法人国立病院機構箱根 病院 副院長 荻野 祐 医師 菅野 理恵 言語聴覚士	平塚保健福 祉事務所	7

ウ 特定疾患患者と家族のつどい

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
5月28日	生き生きと生活するために秘訣	パーキンソン病患者 塩沢 功	平塚保 健福社 事務所	25
7月16日	楽しく食べて、楽しくおしゃべりす るために	大磯幸寿苑 言語聴覚士 堀江 正邦		23
9月24日	一緒にうたおう♪	療育音楽指導者 佐藤 喜美子		18
11月26日	健康体操	スポーツプログラマー 橘高 靖子		21
1月28日	自然災害に対する日ごろからの準備	ひらつか防災まちづくり の会 篠原 憲一		11
3月25日	1年間を振り返って	当所保健師		19

エ 訪問相談事業 平成25年度は実績なし。

オ 訪問診療事業 平成25年度は実績なし。

(3) 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅療養中の難病患者及び家族の実態に応じた、きめ細やかな支援を行うため、また、地域における総合的な支援体制の構築のため、関係機関と会議等を開催しました。

ア 委員会（難病委員会を兼ねる）

月 日	内 容	会 場	出席委員数
2月20日	・平塚保健福祉事務所における難病対策について ・各機関における難病患者支援について ・難病患者の看取りを支えるために	平塚保健福祉事務所	21

イ 事例検討会

月 日	場 所	病 名	性別	検 討 内 容	出席者数
6月6日	東海大学医学部 附属病院	筋萎縮性側索 硬化症	男性	退院に伴うサービス調整	13
6月26日	本人宅	多系統萎縮症	女性	介護認定後初回のケアプランの 確認と関係機関の情報共有	8
8月16日	東海大学医学部 附属病院	筋萎縮性側索 硬化症	男性	退院に伴うサービス調整	13
9月19日	ピースハウス病 院ホスピス教育 研究所	筋萎縮性側索 硬化症	男性	在宅医療の支援者同士の情報交 換と今後の在宅でのケアや連携 についての検討	10
9月24日	東海大学医学部 附属病院	筋萎縮性側索 硬化症	男性	退院に伴う連絡体制、サービス 調整、関係機関の役割分担の再 確認	15
11月18日	メディトピア真田	筋萎縮性側索 硬化症	女性	関係者間の情報共有、サービス 調整等支援方針の確認	13
1月20日	平塚市民病院	筋萎縮性側索 硬化症	女性	退院に伴う療養状況の確認、サ ービス調整等支援方針の確認	18
1月22日	倉田会 地域包 括支援センター	パーキンソン 病・重症筋無 力症	男性	介護度更新に伴う、本人の状況 確認と情報共有、本人を含めた 支援の方向性についての確認	6

(4) 難病患者等ホームヘルパー養成研修事業

難病患者等の多様化するニーズに対応した適切なホームヘルプサービスの提供に必要な知識、技術を有するホームヘルパーを養成するため、ホームヘルパー養成研修2級課程の修了者又は、履修中の者及び介護福祉士を対象に難病患者等ホームヘルパー養成研修を開催しました。

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
9月20日	難病に関する基礎知識	茅ヶ崎市立病院神経内科 部長 宮崎 秀健 医師	茅ヶ崎保健 福祉事務所	受講者数 59 修了者数 59
	難病患者の心理および家 族の理解	日本ALS協会神奈川県支部 副支部長 長岡 明美		
	難病の保健医療福祉制度	当所保健師		

*茅ヶ崎、鎌倉、三崎、小田原保健福祉事務所と合同開催。

(5) 難病対策特別推進事業

難病患者等の在宅療養上の適切な支援を行うため、サービス提供事業所職員（ケアマネジャー、看護師、ヘルパー、歯科衛生士等）を対象に、在宅難病患者在宅ケア従事者研修会を開催しました。

月日	内容	講師	会場	参加者数
11月20日	難病患者・家族のこころを支えるケア～訪問看護の現場から～	オリーブ訪問看護ステーション・ 二宮 青木 伸也 保健師 おおやま訪問看護ステーション 大西 正子 看護師	平塚保健福祉事務所	23
2月13日	難病患者に対するコミュニケーション支援	神奈川県総合リハビリテーション支援 中川 翔次 作業療法士 鶴巻温泉病院 椎名 郁 作業療法士	平塚栗原ホーム	25
3月18日	難病患者への支援を考える事例検討情報交換	オリーブ訪問看護ステーション・ 二宮 青木 伸也 保健師	平塚保健福祉事務所	12

(6) 在宅神経難病患者緊急一時入院

医療依存度の高い神経難病患者を対象に、介護者の休養や介護困難時に対応するため、緊急一時入院制度の利用申請受付や状況調査し、利用調整を行いました。

利用者	回数	疾患名	医療機器等	性別	理由	受入病院	期間
1	2回	多発性硬化症	吸引器、胃ろう	男性	介護者の休養	鶴巻温泉病院	合計 24日間
2	1回	多系統萎縮症	吸引器、胃ろう	男性	介護者の入院	足柄上病院	7日間
3	1回	脊髄小脳変性症	人工呼吸器 吸引器、胃ろう	男性	介護者の疾病	箱根病院	14日間
4	3回	筋萎縮性側索硬化症	人工呼吸器 吸引器、胃ろう	女性	介護者の休養・就労	箱根病院	合計 18日間
5	2回	多系統萎縮症	胃ろう	女性	介護者の休養	箱根病院	合計 15日間
6	2回	進行性核上性麻痺	吸引器、胃ろう	男性	介護者の休養	箱根病院	合計 17日間

(7) 家庭訪問・相談

ア 家庭訪問

	神経系	膠原病	消化器系	その他	計
実人数	27	1			28
延人数	85	3			88

イ 相談

面接	電話	その他	計	主な相談内容（延数）							
				申請	医療	看護	福祉	歯科	栄養	その他	計
2,062	617	64	2,743	2,242	356	476	570		4	52	3,700

13 肝臓疾患対策事業

＜保健予防課＞

肝疾患医療給付申請者に対し申請事務を行うとともに、肝炎検査、相談、普及啓発のための講演会を開催しました。

(1) ウイルス性肝炎相談及びC型肝炎、B型肝炎抗原検査実施状況

- ・ 定例相談
実施回数：10回
検査件数：2名
 C型肝炎抗体検査：2名
 B型肝炎抗原検査：2名
- ・ イベント検査
実施回数：1回
 B型肝炎抗原検査：45名
※世界エイズデーにともなうイベント検査として実施
- ・ 随時相談：21件（延数）

(2) 講演会・相談会

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
12月12日	ウイルス性肝炎の最新治療 ～B型・C型肝炎とは？ 治療や日常生活～	元神奈川県立がんセンターセンタ ー長 たらお内科・消化器科院長 多羅尾 和郎	秦野保健 福祉事務 所	30

※ 平塚、茅ヶ崎、秦野保健福祉事務所の共催で実施。

(3) 肝炎治療費助成状況

- インターフェロン 新規申請：26件
- インターフェロン 2回目申請：2件
- インターフェロン 有効期間延長申請：1件
- 核酸アナログ製剤 新規申請：23件
- 核酸アナログ製剤 更新申請：97件
- 3剤併用療法 新規申請：16件（含シメプレビル14件、含テラプレビル2件）
- 医療費払戻請求：10件
- 変更届等：19件

14 原爆被爆者援護

＜保健予防課＞

戦後65年以上を経過した中で、被爆者健康手帳の新規申請は減少の一途をたどっていますが、被爆者及びそのこどもに対して健康診断を実施するとともに、各種手当等の手続きを実施しました。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

(平成26年3月31日現在)

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	合 計
被 爆 者 健 康 手 帳	73	26	18	117
第一種健康診断受診者証				0
第二種健康診断受診者証	3			3
被爆者のこども受診者証	95	13	12	120
合 計	171	39	30	240

(2) 被爆者健康診断受診状況

区 分	受 診 状 況				受 診 結 果	
	被爆者	特例受診	被爆者のこども	計	要精検者	要治療者
平成21年度				0		
平成22年度	2		1	3	1	
平成23年度				0		
平成24年度				0		
平成25年度			1	1		

15 アスベスト（石綿）に関する相談

＜保健予防課＞

アスベスト（石綿）に関する健康不安や救済制度の申請等について、相談を実施しました。

相談取扱件数

相談件数 (延べ)	相談方法				相談内容				対応状況		
	電 話	来 所	メー ル	その他	健康 相談	労災 相談	環 境 相談	申請等	申請 受付	他機関 紹介	その他
10	5	5						10	3		7

16 健康保持増進

＜企画調整課＞＜環境衛生課＞＜保健福祉課＞

地域住民の健康の保持増進を図るため、健康・体力づくり、禁煙サポート、がん予防、健康教育、生活習慣病予防の各事業を実施しました。

健康増進事業や介護予防事業、特定健診・特定保健指導事業の効果的かつ円滑な推進を図るために健康増進評価事業ヒアリングを実施しました。

また、25年度から、かながわ保健指導モデル事業実施地域になった大磯町において研修会、検討会及び事業実施について参加支援しました。

(1) 地域禁煙サポート事業

がんをはじめとする生活習慣病予防対策を推進するため、その大きな原因といわれている喫煙率の低下を目指し、研修会、禁煙教育等を実施しました。

ア 地域禁煙サポート研修会

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
3月4日	「依存物質からの離脱のための指導のヒント」一脳の弱点をつくタバコのトリック	聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室 助教 原田 久	薬剤師、保健師、 看護師、栄養士、 企業の健康担当者、 県保健福祉事務所職員	平塚保健福祉事務所	18

イ 禁煙相談

区 分	実施回数	実施実人数	実施延人数
随時相談	0	0	0

ウ 禁煙支援医療機関に関する情報提供

管内の禁煙支援相談医療機関のリストをホームページにより提供しました。

(2) 高校生への喫煙防止教育

「特別な予算措置を伴わない事業(高校生への喫煙防止教育の実施)」に基づく喫煙防止教育を実施しました。

月 日	内 容	講 師	開 催 校	参加生徒数
6月10日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	当所保健師	県立希望ヶ丘高等学校	140
11月7日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	当所保健師	県立保土ヶ谷高等学校	350
3月10日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	当所医師	県立平塚中等教育学校	200

(3) 大磯チャレンジフェスタ2013への出店

大磯町主催の健康事業に出店を行いました。

月 日	場 所	出店内容	担当課	参加者数
10月6日	大磯運動公園	薬物乱用防止コーナー	環境衛生課	(配布数) 500
		スモーカーライザーによる呼気 中一酸化炭素測定会	企画調整課	100

(4) 健康増進評価事業

健康増進評価事業として市町の健康増進事業に係るヒアリングを通して情報収集や情報提供し、地域の課題を把握し検討しました。

月 日	内 容	会 場	出 席 者 数	
8月5日	健康増進事業の自己評価に係るヒアリング	大磯町役場	大磯町スポーツ健康課	3
8月6日		二宮町保健センター	二宮町保険医療課	2
8月8日		平塚市保健センター	平塚市健康課 健康づくり担当 予防担当	3 1
			当所 保健福祉課	3
			企画調整課	2

(5) 地域企業におけるがん検診受診促進事業

「神奈川県がん対策推進計画」を踏まえ地域の企業、事業所への普及啓発として管理者に対してがん予防やがん検診の重要性について理解を促し、従業員等への受診促進及び市町のがん検診の情報提供を行い、受診率の向上に努めました。

地域・職域連携推進事業の「事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業」を市町保健師と協力しながら実施しました。

ア 健康教育

月 日	対象企業	内 容	講 師	会 場	参加者数
平成25年7月 ～平成26年2月 (46回実施)	介護保険事業者等	・がんを取り巻く現状とがん検診のすすめ ・市町がん検診情報提供	当所保健師	各介護保険事業所	105
6月～3日 (10回実施)	新規食品衛生講習会参加事業所	「がん検診受けていますか？」	当所保健師	平塚保健福祉事務所	181
7月11日	* (株)日本ユピカ	「がん検診のススメ」	平塚市健康課保健師	(株)日本ユピカ	17
7月24日	* 特別警備保障	「がん検診のススメ」	平塚市健康課保健師	特別警備保障	12
7月31日	* 横浜ドラム製作所	「がん検診のススメ」	二宮町保険医療課 保健師	横浜ドラム製作所	60
11月14日	* 大江工業	「がん検診のススメ」	大磯町スポーツ健康課 保健師	大江工業事務所	35
10月3日	東京神奈川森林管理署	「衛生講話」 1. あなたに知ってほしいカラダのいたわり方 2. 働く人の健康づくりリスクを減らすオイシイ食べ方	当所保健師・栄養士	東京神奈川森林管理署	23
12月5日	古河電工(株)平塚事業所	健康セミナー あなたが知りたい、なるほど「がんのお話」	日本対がん協会 がん体験者 阿南 里恵 当所保健師	古河電工(株)平塚事業所	14

*は「事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業」参加企業です。

イ イベントにおけるリーフレット等の配布

月 日	対象企業	内 容	会 場	参加者数
9月6日	全国労働安全衛生週間平塚促進大会及び平塚地区安全衛生大会参加企業	がんパネル展示、クイズ、リーフレットの配布	中央公民館	261

(6) がん検診普及啓発セミナー

集客力のある場を活用して、がん検診・がん予防についての普及啓発を図るとともに、がん検診の受診率向上を目指した取り組みを実施しました。

また、当事者のがん体験談を通して、自分自身や家族の健康を考え行動できるよう支援しました。

月 日	対 象	内 容	会 場	参加者数
10月6日	大磯町及び 周辺町住民 等	【普及啓発キャンペーン】 大磯チャレンジフェスタ2013 「乳がんを 探せ」 リーフレットの配布、がん検診の予約受 付、アンケート調査、グッズの配布 乳がんについての説明とモデル触診体験、 がん検診車の見学	大磯運動公園	108
11月26日	大磯町の1 歳未満の子 を持つ母	【当事者によるがんの講演会】 母と子のおあしす in 保健センター ママとがん予防 ～20代のがん体験から伝えたいこと～ 講師 がん体験者 阿南 理恵	大磯町保健セ ンター	14

(7) かながわ保健指導モデル事業

国民健康保険加入者のうち、特定健診のデータ等から糖尿病などの生活習慣病重症化の恐れがあるハイリスク者に対し、受診勧奨とともに生活改善を促し、重症化予防につながる、効果的な保健指導の方法を検討・施行し、その成果を検証するモデル事業を県健康増進課が海老名市、寒川町及び大磯町と協働により実施しましたが、当所は大磯町を支援するために、保健師及び栄養士が参加しました。

ア 研修会

月 日	内 容	場 所	参加者数
6月11日	・かながわ保健指導モデル事業の概要説明 ・生活習慣病等に係る医療費分析 ・大磯町の特定健診・特定保健指導 ・対象者の選定について ・初回保健指導の方法	大磯町保健センター	17
9月19日	・参加予定者について ・グループ運営について（目的、全体の流れ、展開 方法、役割分担、資料、教材等）	大磯町保健センター	14
10月22日	・グループ運営について（目的、全体の流れ、展開 方法、役割分担、資料、教材等）	大磯町福祉センター さざれ石	11
11月19日	・グループ運営について（目的、全体の流れ、展開 方法、役割分担、資料、教材等）	大磯町保健センター	12
12月17日	・グループ運営について（目的、全体の流れ、展開 方法、役割分担、資料、教材等）	大磯町福祉センター さざれ石	12
2月15日	・グループ運営について（目的、全体の流れ、展開 方法、役割分担、資料、教材等）	寒川町 健康管理センター	14

イ 食事指導に関する検討会

月 日	内 容	場 所	参加者数
6月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ かながわ保健指導モデル事業の概略 ・ グループ支援の概要 ・ 食事に関する支援方法の検討 ・ 媒体の検討 ・ ロールプレイ等 	海老名市保健相談センター	22
8月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデル事業の進捗状況について ・ 食事に関する支援方法の検討 ・ 媒体の検討等 	大磯町福祉センター さざれ石	17

ウ 支援事業（大磯町分のみ）

月 日	内 容	場 所	参加者数
10月4日	あなたの健診結果大丈夫？ ～健診の結果から自分の体の状態を知り、 今後の見通しを考えます～	大磯町保健センター	25
11月1日	食べ方をチェンジ！ ～分かりやすい食事の改善方法を一緒に考えます～	大磯町保健センター	24
12月6日	食べ方をチェンジ！ ～油のとり方～	大磯町保健センター	21
1月10日	健診結果を読み解く！ ～血液検査1回目の結果返却～	大磯町保健センター	19
2月7日	食べ方をチェンジ！ ～塩分～	大磯町保健センター	14
3月7日	検査値を変える！ ～重症化予防に向けて目標をたて具体策を考える～	大磯町保健センター	15

17 受動喫煙防止対策

＜企画調整課＞

県民を受動喫煙による健康への悪影響から守ることを目的に平成22年4月1日に施行された「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」について、条例の対象となる店舗に対して戸別訪問を実施し、条例への対応の状況確認を行い、条例で定める基準に適合していない場合は指導を行うなど条例の円滑な運用を図るとともに、条例を広く周知するため、条例について記載したグッズの県民への配布や、施設管理者向けの説明会等を実施しました。

(1) 戸別訪問実績

	第1種	第2種							特例第2種	条例対象外	合計
		飲食店	宿泊施設	娯楽施設	理容所	美容所	サービス店舗	計			
延訪問	250	20		4	6	28	350	408	6	1	665

(2) 各種イベントにおけるグッズの配布

月 日	イベント名称	場 所	配布部数
5月31日	禁煙週間イベント	平塚駅北口階段下	230
6月10日	高校生等への喫煙防止教育	希望が丘高校	140
10月6日	大磯チャレンジフェスタ	大磯運動公園	500
11月1日	平塚駅街頭労働相談	平塚駅東口改札横	1,000
11月10日	湘南にのみやふるさとまつり	二宮町生涯学習センターラディアン	1,000
2月22日	花水公民館まつり	花水公民館	500
3月1日	なでしこ公民館まつり	なでしこ公民館	500
その他	食品衛生責任者講習会 他	平塚保健福祉事務所 他	833

(3) 条例説明会・出張説明会の開催

月 日	説明会名称	場 所	参加者数
4月24日	食品衛生新規講習会	平塚保健福祉事務所	24
5月15日	食品衛生新規講習会	平塚保健福祉事務所	15
6月19日	食品衛生新規講習会	平塚保健福祉事務所	21
7月17日	食品衛生新規講習会	平塚保健福祉事務所	15
8月21日	食品衛生新規講習会	平塚保健福祉事務所	13
9月18日	食品衛生新規講習会	平塚保健福祉事務所	11
10月16日	食品衛生新規講習会	平塚保健福祉事務所	13
11月13日	食品衛生新規講習会	平塚保健福祉事務所	20
12月18日	食品衛生新規講習会	平塚保健福祉事務所	22
2月18日	食品衛生新規講習会	平塚保健福祉事務所	20
3月19日	食品衛生未受講者講習会	平塚市民センター	305
3月24日	食品衛生新規講習会	平塚保健福祉事務所	26

第3章

くらしを支える福祉サービス

- 1 地域福祉
- 2 介護保険
- 3 福祉の貸付
- 4 生活保護
- 5 特別障害者手当等の支給
- 6 女性保護・母子福祉
- 7 児童福祉



1 地域福祉

＜保健福祉課＞

高齢者福祉をはじめ、あらゆる福祉分野において、近年、ますます地域福祉の重要性が高まり、地域の役割が増大している中、きめ細やかな施策を推進するため、地域における福祉活動の中心を担っている民生委員・児童委員や障害福祉相談員に対し、活動経費の助成や研修等の支援を行いました。なお、民生委員・児童委員については平成25年12月1日に3年間の任期が終了し、一斉改選が行われ、一部定数の変更も実施されました。

また、地域福祉を推進する人材の養成を図るため、「地域福祉コーディネーター研修」や「成年後見制度研修会」を実施しました。

(1) 民生委員・児童委員

定数及び活動状況

	定 数			相談件数	活動日数	訪問回数
	民生委員 児童委員	主 任 児童委員	合 計			
平塚市	359	46	405	10,819	71,145	76,487
秦野市	234	24	258	4,593	45,310	45,905
伊勢原市	125	13	138	5,287	23,318	19,993
大磯町	52	2	54	1,160	9,007	11,674
二宮町	44	3	47	1,228	8,087	8,613
合 計	814	88	902	23,087	156,867	162,672

(2) 障害福祉相談員

ア 定数及び活動状況

区 分	定 数	活動件数		
		実践活動	相談・助言活動	合 計
平塚市	19	2,145	648	2,793

イ 相談員研修会

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
1月31日	障害福祉の動向と地域の相談活動について	社会福祉法人常成福祉会 丹沢自律生活センター 総合相談室室長 岡西 博一	平塚福祉事務所	13

(3) 地域福祉コーディネーター研修

ア 一般研修

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
7月8日	<p>秦野市地域福祉実践交流会 テーマ：秦野を元気にする“縁結び”活動</p> <p>実践報告 ①ホットワークつるまき・ボランティアセンターの実践 ②みんなのサロンなつめ ③人がつながる魅力あるまちづくり 交流会・質疑応答 (秦野市社会福祉協議会と共催)</p>	<p>実践報告者 ①鶴巻地区 社会福祉協議会 小口 敏 ②社会福祉法人常成福社会 千葉 高史 ③公益社団法人 秦野青年会議所 代表6名によるグループ討議</p>	秦野市 保健福祉 センター	60
2月24日	<p>伊勢原市地域福祉シンポジウム ・基調講演 「住民同士が支え合える地域とは」 ・シンポジウム 「私にもできる地域での支え合い」 (伊勢原市社会福祉協議会と共催)</p>	<p>講師 公益財団法人 さわやか福祉財団 木原 勇 実践報告者 ・逗子市山の根自治会 「お互いさま山の根」 瀧村 敦子 ・上平間台自治会 「支え合いサポーター」 若松 操</p>	伊勢原 シティプラザ	74

イ 専門研修

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
9月25日	<p>講義と演習 困難事例解決のために！期待されるコミュニティソーシャルワーカーの取り組み</p>	<p>NPO法人よこはま地域福祉研究センター 所長 佐塚 玲子</p>	平塚栗原 ホーム	28
11月14日	<p>講義と演習 困難ケースを解決するために！地域アセスメントの意義活用を考える</p>			24
12月2日	<p>講義と演習 困難事例を解決に導くネットワークとは？ 機能するネットワークの構築のために</p>			25
12月16日	<p>講義と演習 困難事例解決に不可欠な協働 協働を支えるチカラ…ファシリテーション</p>			23

(4) 成年後見制度研修会

月 日	内 容	出 席 者	会 場	参加者数
11月19日	<p>成年後見制度に関する意見交換会 (湘南西部圏域)</p>	市町、社会福祉協議会	平塚保健 福祉事務所	16

(5) バリアフリーのまちづくり普及啓発事業

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
2月3日	日常的な障害者の生活とバリアフリーを考える～「バリバラ」風たしなみ～	NHK大阪ディレクター 空門 勇魚	小田原合同 庁舎	58

2 介護保険

＜保健福祉課＞

介護保険指定事業者に対して、適正な介護保険給付の確保、介護サービスの質の確保等を図るため、指導を実施しました。

(1) 事業者等指導

ア 集団指導

介護保険指定事業者に対して、介護給付サービスの取り扱い、介護報酬の請求内容、事業運営上の注意点について、介護保険課、高齢施設課、相模原市健康福祉局、横須賀市福祉部及び他の保健福祉事務所と合同で講習会を実施しました。

月 日	内 容	会 場	対象事業者数	参加事業者数
5月23・24日	介護保険指定事業者等指導講習会	県総合医療会館	629	295
5月29・30日		海老名市文化会館		
6月18・19日		藤沢市民会館		
6月27・28日		小田原市民会館		

※ 対象事業者数は、平成25年4月1日現在の平塚保健福祉事務所管内の介護保険指定事業者数（介護予防を含む）

※ 参加事業者数は講習会出席者数

イ 実地指導

指定基準に基づき、介護保険指定事業者等の事業所等に対し、介護給付サービスの質の確保及び保険給付の適正化を図るため、実地指導を行いました。

サービス区分	実地指導対象数		実地指導実施数	
	介護保険	介護予防	介護保険	介護予防
居 宅 介 護 支 援	75		20	
訪 問 介 護	60	58	15	14
訪 問 入 浴 介 護	8	7	3	3
訪 問 看 護	17	17	7	7
通 所 介 護	95	88	28	26
通所リハビリテーション	7	7	4	4
短期入所生活介護	12	13	5	4
短期入所療養介護	10	10	6	6
特定施設入居者生活介護	20	19	4	4
福祉用具貸与	21	19	6	6
福祉用具販売	22	22	6	6
介護老人福祉施設	12		4	
介護療養型医療施設	4		2	
介護老人保健施設	6		4	
合 計	369	260	114	80

3 福祉の貸付

＜保健福祉課＞

母子家庭等の生活の安定と児童の健全な育成を図るために必要な資金の貸し付けを行いました。

母子福祉資金等の貸付件数

区 分	事業 開始	事業 継続	技能 習得	就職 支度	住宅	転宅	医療	生活	修学	就学 支度	修業	結婚	児童 扶養	合計
平塚市	母子		2			3			18	34	3			60
	寡婦													0
	特母													0
大磯町	母子								3	3				6
	寡婦													0
	特母													0
二宮町	母子								3	1				4
	寡婦													0
	特母													0
合 計	母子	0	0	2	0	0	3	0	0	24	38	3	0	70
	寡婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特母	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※「母子」とは「母子福祉資金」、「寡婦」とは「寡婦福祉資金」、「特母」とは「特別母子福祉資金」の略です。

4 生活保護

〈生活福祉課〉

生活保護法は、憲法第25条によって保障される生存権を実現するための制度のひとつとして制定された法律であり、最低限度の生活の保障とその自立の助長を目的としています。

当所では、生活等の相談に応じるとともに生活保護法の目的を達成するべく、扶助費の支給などにより保護を実施するとともに就労支援や児童の健全育成にも取り組み、自立への支援を行いました。

当管内の保護世帯数は、平成17年度の246世帯をピークに一時横ばい傾向を示しましたが、平成20年のリーマンショック後の不況、特に雇用情勢に悪化の影響を受け、平成21年度から大幅な増加に転じ、平成25年度平均で373世帯となっています。

(1) 生活相談事業

(平成25年度)

世帯類型	相談の主な理由													合計	
	世帯主の傷病	世帯員の傷病	要介護状態	稼働者の死亡離別 (DVを含む)	稼働収入の減少・喪失					社会保障給付金の 減少・喪失	貯金の減少・喪失	扶養の減少・喪失	ケトス移管		その他
					定年・自己都合	解雇・勤務先都合	老齢による収入減	事業不振・倒産	その他						
高齢者世帯	11		5	1	2	1	1		2	1	12	15	1	9	61
母子世帯				6											6
障害者世帯	1		1						1	1	4			3	11
傷病者世帯	19										3	1		1	24
その他世帯	5	3	2	4	1	11	1	2	7		5	1	2	19	63
合計	36	3	8	11	3	12	2	2	10	2	24	17	3	32	165

(2) 扶助別被保護世帯数・人員の状況

(平成26年3月分)

区分		生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	出産扶助	生業扶助	葬祭扶助	保護を受けた者	保護率(%)
大磯町	世帯数	133	127	13	35	133		6	1	158	6.90
	人員	190	180	19	36	169		6	1	223	
二宮町	世帯数	184	181	14	46	192		9		219	9.90
	人員	241	238	21	48	235		12		287	
合計	世帯数	317	308	27	81	325	0	15	1	377	8.30
	人員	431	418	40	84	404	0	18	1	510	

(3) 保護の開始・廃止の状況

ア 理由別開始世帯の状況

(平成25年度)

区分	傷病		要介護状態	働いていた者		失業		老齢による収入の減少	事業不振・倒産	その他の働きによる収入の減少	社保給付金の減少・喪失	預貯金の減少・喪失	仕送りの減少・喪失	ケース移管	その他	合計
	世帯主	世帯員		死亡	離別等	定年・自己都合	勤務先都合(解雇等)									
大磯町	8			3	1	2	2				5	6	1	5	33	
二宮町	10	2		2	1	1	1			2	2	8	4	2	5	40
合計	18	2	0	0	5	2	3	3	0	2	2	13	10	3	10	73

イ 理由別廃止世帯の状況

(平成25年度)

区分	世帯主の傷病の治癒	世帯員の傷病の治癒	死亡	失踪	稼働収入の増加	働き手の転入	社保給付金の増加	仕送りの増加	親族縁者等の引取	施設入所	医療費の他法負担	ケース移管	その他	合計
二宮町			11		9		3		1	2		3	7	36
合計	0	0	19	2	15	0	4	0	1	3	0	5	11	60

(4) 世帯類型別被保護世帯の状況

(平成26年3月分)

区分	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他世帯	合計
大磯町	83	11	17	18	29	158
二宮町	110	15	21	42	31	219
合計	193 (51.2)	26 (6.9)	38 (10.1)	60 (15.9)	60 (15.9)	377 (100.0)

※ () 内は、総数に占める割合 (%)

(5) 労働力類型別被保護世帯の状況

(平成26年3月分)

区分	稼働世帯				世帯員稼働	非稼働世帯	合計
	世帯主が働いている世帯						
	常用	日雇	内職	その他			
大磯町	26		2	3	6	121	158
二宮町	26		1	1	7	184	219
合計	52	0	3	4	13	305	377

(6) 医療扶助

(平成26年3月分)

区 分	入 院			入 院 外			合 計
	精 神	そ の 他	計	精 神	そ の 他	計	
大磯町	6	9	15		154	154	169
二宮町	7	8	15	1	219	220	235
合 計	13	17	30	1	373	374	404

※他法により医療費が賄われ、医療扶助の給付がないものは含まれていません。

(7) 生活保護施設措置状況

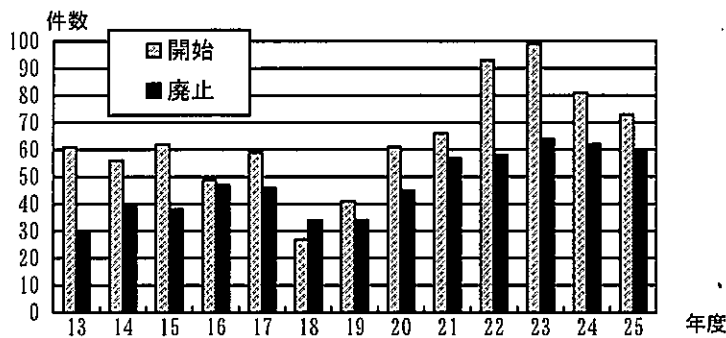
(平成26年3月分)

区 分	救護施設	更生施設	合 計
大磯町	3		3
二宮町	2		2
合 計	5	0	5

※町の区分は発生地による

(8) 保護の開始・廃止世帯件数の推移

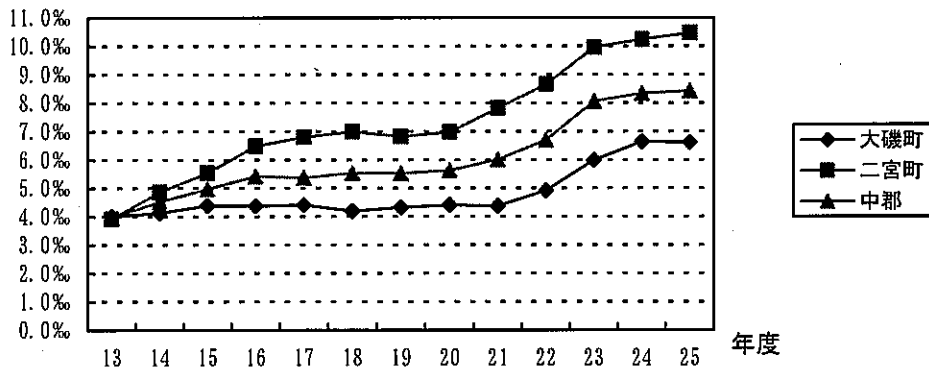
区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
開 始	61	56	62	49	59	27	41	61	66	93	99	80	73
廃 止	29	40	38	47	46	34	34	45	57	58	64	63	60



(9) 保護世帯数等の推移 (年度平均)

区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
大磯町	世帯数	88	94	103	104	103	97	96	101	106	114	131	146	151
	人員	129	132	143	143	144	138	142	145	144	162	197	218	216
	保護率 %	4.01	4.14	4.40	4.39	4.42	4.21	4.33	4.42	4.39	4.93	6.00	6.65	6.63
二宮町	世帯数	89	109	119	131	143	148	149	151	169	182	204	216	222
	人員	121	152	170	198	206	210	203	207	232	256	287	300	303
	保護率 %	3.93	4.87	5.54	6.49	6.81	7.00	6.83	6.98	7.83	8.66	9.97	10.25	10.47
中郡	世帯数	177	203	222	235	246	245	245	252	275	296	335	362	373
	人員	250	284	313	341	350	348	345	352	376	418	484	518	519
	保護率 %	3.97	4.53	4.98	5.43	5.38	5.55	5.53	5.64	6.02	6.70	8.07	8.35	8.44

保護率の推移



(10) 生活保護費の状況

(単位：円)

区分	大磯町	二宮町	合計
生活扶助	105,492,547	146,282,629	251,775,176
住宅扶助	61,505,049	83,143,066	144,648,115
教育扶助	2,073,730	3,168,708	5,242,438
介護扶助	5,200	124,440	129,640
医療扶助	1,991,976	3,721,875	5,713,851
出産扶助			0
生業扶助	1,676,974	2,301,194	3,978,168
葬祭扶助	470,560	773,691	1,244,251
保護施設事務費	5,841,140	4,719,463	10,560,603
合計	179,057,176	244,235,066	423,292,242

※ 医療扶助、介護扶助は、当所で直接支出した額であり、支払基金経由分（介護扶助は、国保連合会経由分）は含みません。

5 特別障害者手当等の支給

<生活福祉課>

日常生活において常時介護を必要とする在宅の重度障害児者に対し、町と連携して特別障害者手当等の支給事務を行いました。

特別障害者手当等の支給状況

(平成26年3月31日現在)

区分	障害児福祉手当	福祉手当(経過措置分)	特別障害者手当	合計
大磯町	8	1	16	25
二宮町	10	1	21	32
合計	18	2	37	57

6 女性保護・母子福祉

＜生活福祉課＞

女性相談員兼母子自立支援員が、母子・寡婦世帯に対する夫の暴力、離婚等の家庭問題、就労、経済、子供の養育等の相談を受けるとともに、女性や母子の一時保護、生活の安定と自立に向けた支援、福祉資金の貸付け等による援護を実施しました。

(1) 母子自立支援員の相談指導実施状況

区 分		相談件数				
		大磯町	二宮町	その他	合 計	
生 活 一 般	住 宅	4	6	1	11	
	医 療 ・ 健 康	病 気	5	4		9
		障 害	1			1
		そ の 他		1		1
	家 庭 紛 争	夫 等 の 暴 力	10	12	3	25
		そ の 他	13	8	7	28
	就 労	求 職 ・ 転 職	4			4
		資 格 取 得 ・ 職 業 訓 練	10	5	1	16
		職 場 の 悩 み	1		1	2
		そ の 他		1	1	2
	結 婚				0	
	養 育 費	2	1		3	
	借 金		1		1	
そ の 他	3	8	3	14		
小 計	53	47	17	117		
児 童	養 育	保 育 所 入 所	2	2	4	8
		虐 待	2	2		4
		そ の 他	1		1	2
	教 育	2			2	
	非 行	1			1	
	就 職	1			1	
そ の 他	2	1	2	5		
小 計	11	5	7	23		
経 済 的 支 援 ・ 生 活 援 護	母 子 福 祉 資 金	貸 付	22	14	12	48
		償 還	11	12	3	26
	寡 婦 福 祉 資 金	貸 付	1			1
		償 還	1			1
	公 的 年 金		1		1	
	児 童 扶 養 手 当			1	1	
	生 活 保 護	4	4		8	
	税	1			1	
そ の 他	3	3	2	8		
小 計	43	34	18	95		
そ の 他	売 店 設 置 (法 第 25 条)				0	
	た ば こ 販 売 (法 第 26 条)				0	
	母 子 世 帯 向 公 営 住 宅 (法 第 27 条)				0	
	母 子 福 祉 施 設 の 利 用				0	
	母 子 生 活 支 援 施 設 (児 童 福 祉 法 第 38 条)	1			1	
小 計	1	0	0	1		
合 計		108	86	42	236	

(2) 女性相談員の相談実施状況

区分	相談内容									処理状況										
	施設入所希望	経済問題	職業問題	住宅問題	家族問題		暴力団・ヒモ等の問題	更正相談	その他	合計	就職・自営	結婚	家庭への送還	福祉事務所へ	女性相談所へ	他府県の女性相談所へ	その他関係機関・施設へ	助言指導	その他	合計
					夫婦間問題	その他														
面接相談	大磯町	1			3	3				7									7	7
	二宮町				1	2				2	5		1		1				3	5
	その他					2				2	4	1							3	4
	合計	0	1	0	1	7	3	0	0	4	16	1	0	1	0	1	0	0	13	16
電話相談	大磯町		1			5	2			1	9								9	9
	二宮町					5	7			1	13								13	13
	その他		2			2					4								4	4
	合計	0	3	0	0	12	9	0	0	2	26	0	0	0	0	0	0	0	26	26

年齢区分	18歳未満	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	年齢不詳	合計
人数 (面接+電話相談)		1	6	6	11	9	8	1	42

7 児童福祉

＜生活福祉課＞

児童福祉法に基づく助産施設、母子生活支援施設利用に関する相談、支援等を行うとともに、児童虐待等について、児童相談所、市町等の関係機関と連携し、その防止や支援を行いました。

(1) 助産施設利用状況

社会保険等の出産育児一時金等の充実により、制度の利用者は、生活保護受給者等一部に限られてきており、近年利用がほとんど無い状況で、平成25年度は利用がありませんでした。

(2) 母子生活支援施設入所状況

当所管内には、母子生活支援施設がなく、また、県内にも少ないことから、保護を要する母子家庭への対応は厳しい状況にあり、本県所管外の施設を利用することになっています。平成25年度は、継続利用している3家族のうち、1家族退所し、2家族が入所利用しています。いずれも県所管外の施設を利用しています。

第4章

保健・医療・福祉の基盤づくり

- 1 湘南西地区保健医療福祉推進会議
- 2 湘南西部地区地域保健医療推進指針の推進
- 3 地域医療連携の推進
- 4 高齢者保健福祉計画の推進
- 5 健康危機管理
- 6 救急医療対策の推進
- 7 人材育成
- 8 医務・薬務
- 9 献血
- 10 免許取扱事務
- 11 保健衛生等表彰
- 12 ネットワークづくり

1 湘南西地区保健医療福祉推進会議

＜企画調整課＞

県保健医療計画で定められた湘南西部地区二次保健医療圏における、保健、医療、福祉に関する計画の策定、着実な推進など、保健、医療、福祉に係る重要事項を協議するため、湘南西部地区二次保健医療圏内の医師会、歯科医師会、薬剤師会、関係団体、行政機関等で構成する湘南西地区保健医療福祉推進会議を設置しています。

また、この推進会議の下に、地域保健医療計画及び高齢者保健福祉計画の推進について協議・検討を行う保健医療福祉推進専門部会を、地域保健と職域保健における連携の推進について協議・検討を行う地域・職域連携推進専門部会をそれぞれ設置しています。

区分	月日	内容	会場	出席者数
推進会議	7月17日	・湘南西部二次保健医療圏における病院等の開設等に係る事前協議について	書面会議	26
	1月27日	・湘南西部二次保健医療圏における病床整備に係る事前協議の審査について ・湘南西部地区地域保健医療計画の平成24年度分進行管理について ・湘南西部地区地域保健医療推進指針の進行管理について ・地域・職域連携推進事業の実施状況について	平塚保健福祉事務所	24
地域・職域連携推進専門部会	6月26日	1 平成24年度地域・職域連携推進事業の実施状況について 2 平成25年度地域・職域連携推進事業の実施計画案について 3 事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業の取り組み 4 地域・職域連携推進事業における最新情報 5 情報交換	平塚保健福祉事務所	18
地域・職域連携推進専門部会ワーキンググループ	7月29日	1 平成24年度地域・職域連携推進事業実施結果 2 平成25年度地域・職域連携推進事業計画について 3 事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業の取り組み状況 4 地域と職域双方のメリットが見える連携推進のために グループワーク テーマ「当地区の働く人の健康を高めるために必要な、これからの取り組み」	平塚保健福祉事務所	26
	2月19日	1 平成25年度「事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業」実施結果について 2 地域・職域連携推進事業におけるこれからの対策について 3 かながわ労働センター湘南支所との連携事業について 4 二宮町との地域・職域連携事業について		27

2 湘南西部地区地域保健医療推進指針の推進

＜企画調整課＞

地域保健医療推進指針は、神奈川県保健医療計画の趣旨に沿い、各地域における保健医療施策を推進するため、二次保健医療圏域ごとに、地域の特性に応じた課題の解決に向けた取組みの方向性を示すものです。

指針の概要

○重点課題・施策の方向性

- ◇ 地域に根ざした健康増進の総合的な推進
- ◇ 地域の関係機関の連携等による地域医療の推進
- ◇ 多様な保健・医療・福祉ニーズへの対応
- ◇ 健康危機管理体制の充実

○指針の期間

特に定めず、必要に応じて常に指針の見直し・修正を行うものとする。

3 地域医療連携の推進

＜企画調整課＞

人口の急速な高齢化等とともに進む医療を取り巻く環境の大きな変化の中で、地域住民が「誰でも等しく良質かつ適切な保健医療サービスを受けられる」ことを基本として、保健医療提供体制を整備するため、脳卒中をモデル事業とした「湘南西部地区地域連携クリティカルパス」の導入・普及に取り組むとともに、広域的な保健・医療・福祉との連携を強化することを目的とする、「地域包括ケア会議」を開催しました。

(1) 湘南西部地区地域連携クリティカルパス導入普及事業

神奈川県保健医療計画では、脳卒中における急性期治療からリハビリテーション、在宅医療に至る医療連携体制の構築の必要性が明記されています。

その施策として、湘南西部保健医療圏では、「湘南西部地区地域連携クリティカルパス検討委員会」を設置し、パスの普及に取り組んでいます。

また、在宅医療を担う診療所や介護サービス事業者を加えたワーキンググループを開催し、維持期への普及や医療と介護の連携に向けた取り組みについて検討を行いました。

ア 湘南西部地区地域連携クリティカルパス検討委員会

月 日	内 容	会 場	出席者数
9月5日	・脳卒中地域連携クリティカルパスの普及状況について ・維持期医療機関・介護施設への運用拡大に向けた動きについて	平塚保健福祉事務所	7

イ 湘南西部地区地域連携クリティカルパスワーキンググループ

月 日	内 容	会 場	出席者数
11月28日	・脳卒中地域連携クリティカルパスによる連携強化に向けた方策 ・維持期医療機関・介護施設等へのパスの運用拡大について	平塚保健福祉事務所	13

(2) 地域包括ケア多職種協働推進事業

地域包括ケアシステムの推進に向け、保健・医療・福祉との連携・協働体制の整備について検討するため、平塚保健福祉事務所地域包括ケア会議を開催しました。

ア 平塚保健福祉事務所地域包括ケア会議

月 日	内 容	会 場	出席者数
12月3日	・平塚市、中郡における在宅医療の推進事業について ・医療と福祉・介護が連携した各関係機関の好事例（意見交換）	平塚保健福祉事務所	21

(3) かかりつけ医等の普及事業

平成25年度は、町民の健康づくりのため、保健師・栄養士が地域に出向き、気軽に健康や身体の具合について相談できる大磯町独自の健康増進事業「おあしす24 健康おおいぞ」に町職員と同行し町内自治会館等を回り、かかりつけ医（かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局）（以下「かかりつけ医等」といいます。）の普及啓発及び町民との意見交換を実施しました。

ア 出前講座の実施

月 日	内 容	場 所	回 数	参加者数
7月～2月	・かかりつけ医等を持つメリット、お薬手帳の活用法について普及啓発及び町民との意見交換	大磯町内各地区の自治会館	22	236

イ アンケート調査の報告

月 日	内 容	場 所	回 数
6月～7月	神奈川労務安全衛生協会平塚支部の協力を得て、平成24年度に実施したアンケート結果を地区会の場を借りて報告	神奈川労務安全衛生協会平塚支部地区会各会場等	7

4 高齢者保健福祉計画の推進

＜企画調整課＞

平成27年には、県民のおよそ4人に1人が65歳以上の高齢者となるなど、超高齢社会が到来すると予測されていることから、県では、平成21年に策定した「かながわ高齢者保健福祉計画」を、これまでの施策の実施状況や来るべき超高齢社会における課題などを踏まえ、平成24年3月に改定しました。

当所では改定に際し、湘南西部保健福祉圏域内市町の計画策定の支援・調整等を実施し、平成25年度も引き続き、圏域内市町との連携のもと、計画の円滑な推進に努めてきました。

かながわ高齢者保健福祉計画の概要

- 計画の基本目標
「高齢者が安心して、元気に、いきいきと暮らせる社会づくり」の実現
- 計画の性格
老人福祉法及び介護保険法に基づく法定計画である「老人福祉計画」及び「介護保険事業支援計画」を一体化したものとし、県の総合計画「かながわグランドデザイン」を支える個別計画として位置づける計画
- 計画の期間
平成24年度から平成26年度までの3年間
- 保健福祉圏域
 - ・高齢者保健福祉圏域は、保健・医療・福祉の広域的な連携を図る観点から、二次保健医療圏と同一の地域
 - ・平塚保健福祉事務所が所管する湘南西部保健福祉圏域は、平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町の3市2町

5 健康危機管理

＜企画調整課、保健予防課、環境衛生課＞

地域住民の生命、健康の安全を脅かす健康被害の事例が発生した場合又は発生するおそれがある場合、保健福祉事務所は、健康危機管理体制の拠点として位置づけられていることから、管内の市町、警察署、医師会等の関係機関で構成する「地域健康危機管理連絡調整会議」を設置しています。

6 救急医療対策の推進

＜企画調整課＞

病院前救護において、一般県民が果たす役割は重要であることから、より多くの県民が一次救命処置を含む応急手当の手技を習得できるよう、救急法講習会を開催しました。

月日	内容	講師	会場	参加者数
11月5日	応急手当、心肺蘇生法及びAEDの実習	平塚市消防署 救急救命士	平塚保健 福祉事務所	61

7 人材育成

〈全課〉

地域の様々なニーズや課題に対応できる保健・医療・福祉の幅広い知識と技術の共有を図るため、地域の実態に即した内容の研修を実施しました。また、看護学生などの実習生を受け入れ、指導しました。

(1) 人材育成

研 修 名	対 象	担当課
管内保健師研究会・研修会	保健福祉事務所及び管内市町保健師	企画調整課
保健衛生研修 (母子保健対策推進研修、在宅栄養士研修、在宅歯科衛生士研修)	市町及び県の母子保健従事者、在宅栄養士、在宅歯科衛生士、養護教諭、教諭、保育士等	
保健医療福祉系学生実習受け入れ	医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士、社会福祉士志望学生等	
JICA来日研修生実習受け入れ	諸外国医療従事者	
禁煙サポート研修会	保健師、看護師、薬剤師、栄養士、企業の健康担当者、県保健福祉事務所職員等	
特定給食施設等講習会	特定給食施設等栄養士等	保健福祉課
地域活動栄養士研修会	栄養士会員、在宅栄養士	
食生活改善推進団体育成	食生活改善推進員リーダー	
障害福祉相談員研修	障害福祉相談員	
地域福祉コーディネーター研修	民生委員、ボランティア等	
成年後見制度研修会	相談支援従事者等	
管内歯科保健事業従事歯科衛生士連絡会	管内歯科保健事業従事歯科衛生士	
在宅難病患者在宅ケア従事者研修会	訪問看護師、介護支援専門員等	保健予防課
難病患者等ホームヘルパー養成研修 (難病基礎課程Ⅰ)	ホームヘルパー(2級)	
地域自殺対策人材養成研修	管内企業人事担当者、企業職員、相談支援事業所職員等	
地域精神保健福祉人材養成研修会	企業人事担当者、相談支援事業所職員等	
結核医療従事者研修会	医療機関職員等	
感染症予防研修会	介護保険事業所、障害児者、児童福祉施設の管理者、看護職員、介護職員等	食品衛生課
食品衛生指導員研修会	食品衛生指導員	

※ 研修の詳細は、各事業の項に掲載

(2) 保健衛生研修

保健・医療・福祉に対する専門知識の習得や技術の向上を目的として、母子保健対策推進研修、在宅歯科衛生士研修、在宅栄養士研修の3研修を実施しました。

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
12月26日	未熟児の発達とその母親への支援について ~Part1~	こっここどもクリニック 院長 野村 雅寛 子育てを経験されたお母さん	平塚保健福祉事務所	57
1月24日	未熟児の発達とその母親への支援について ~Part2~	芳賀デンタルクリニック 院長 芳賀 定	伊勢原シティプラザ	53

(3) 保健医療福祉学生等実習

ア 合同オリエンテーションの開催

当所で実習を受け入れる保健師、看護師、栄養士学生等を対象にオリエンテーションを実施し、保健福祉事務所業務の概要説明及び実習事前指導を実施しました。

区分	月 日	内 容	会 場	学校数	実習生数
前期	4月12日	平塚保健福祉事務所業務の概要について 市町における保健事業について等	平塚保健福祉事務所	8	54
後期	9月6日			9	50

イ 実習実施状況

区 分	学校数	実習期間	実習生数
保 健 師	3	12週	16
看 護 師	6	2日	68
助 産 師			
管 理 栄 養 士	6	6週	16
歯 科 衛 生 士	1	1日	3
社 会 福 祉 士	1	23日	1
医 師	1	2日	1
合 計	18		105

8 医務・薬務

＜企画調整課、環境衛生課＞

安全で適正な医療の確保を確保するため、医療法第25条に基づき病院、診療所に対し立入検査を実施するとともに、医薬品の適正な管理・販売を徹底するため、薬局、医薬品販売業者等に対し、立入検査を実施しました。

(1) 医療施設の状況

ア 医療施設数・人口10万対医療施設数

(平成26年3月31日現在)

区分	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あん摩・はり・きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
平塚市	9	3.5	195	75.5	136	52.7	6	2.3	356	137.8	59	22.8	26	10.1
大磯町	1	3.1	19	58.5	16	49.2	1	3.1	47	144.6	1	3.1	4	12.3
二宮町			22	75.8	20	68.9	2	6.9	58	199.8	5	17.2	8	27.6
管内計	10	3.1	235	73.5	172	53.8	9	2.8	461	144.2	65	20.3	38	11.9

(平塚保健福祉事務所調べ。人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県の人口と世帯(平成25年10月1日現在)」より。)

※ 助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

イ 医療施設数・人口10万対の推移(管内)

(平成26年3月31日現在)

年度	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あん摩・はり・きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
H16年度	10	3.1	210	65.7	165	51.6	8	2.5	319	99.8	33	10.3	26	8.5
H17年度	10	3.1	212	65.9	169	52.5	7	2.2	352	109.4	34	10.6	27	8.4
H18年度	10	3.1	212	65.7	168	52.1	7	2.2	374	116.0	44	13.6	30	9.3
H19年度	10	3.1	220	68.2	168	52.1	7	2.2	375	116.2	42	13.0	31	9.6
H20年度	10	3.1	226	69.9	166	51.4	3	0.9	391	121.0	50	15.5	31	9.6
H21年度	10	3.1	223	69.3	169	52.5	3	0.9	411	127.3	57	17.7	32	9.9
H22年度	10	3.1	224	69.3	172	53.2	3	0.9	421	130.2	61	18.9	35	10.5
H23年度	10	3.1	224	69.4	175	54.2	3	0.9	436	135.1	64	19.8	35	10.8
H24年度	10	3.1	225	70.0	174	54.1	7	2.2	449	139.7	63	19.6	36	11.2
H25年度	10	3.1	235	73.5	172	53.8	9	2.8	461	144.2	65	20.3	38	11.9

(平塚保健福祉事務所調べ。人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県の人口と世帯(各年10月1日現在)」より。)

※ 助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

ウ 病床数・人口10万対病床数

(平成26年3月31日現在)

区分	病 院										一般診療所		管内計	
	一 般		療 養		精 神		感 染		小 計		数	率	数	率
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
平塚市	1,055	408.5	580	224.6	603	233.5	6	2.3	2,244	868.9	104	40.3	2,348	909.2
大磯町	358	1101.7							358	1101.7			358	1101.7
二宮町														
管内計	1,413	441.7	580	181.4	603	188.6	6	1.9	2,602	813.7	104	32.5	2,706	846.2

(平塚保健福祉事務所調べ。人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県の人口と世帯(平成25年10月1日現在)」より。)

工 病床数の推移

(平成26年3月31日現在)

年度	病 院										一般診療所		管内計	
	一 般		療 養		精 神		感 染		小 計		数	率	数	率
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
H16年度	1,515	473.7	615	192.3	708	221.8	6	1.9	2,844	889.3	244	76.3	3,088	965.6
H17年度	1,515	470.4	584	181.4	603	187.3	6	1.9	2,708	841.3	244	75.8	2,952	917.1
H18年度	1,515	469.8	615	190.7	603	187.0	6	1.9	2,739	849.4	233	72.3	2,972	921.7
H19年度	1,553	481.2	575	178.2	603	186.8	6	1.9	2,737	848.0	156	48.3	2,893	896.4
H20年度	1,551	479.9	575	177.9	603	186.6	6	1.9	2,735	846.3	156	48.3	2,891	894.5
H21年度	1,461	452.5	575	178.1	603	186.8	6	1.9	2,645	819.3	126	39.0	2,771	858.3
H22年度	1,461	451.8	580	179.4	603	186.5	6	1.9	2,650	819.6	109	33.7	2,759	853.3
H23年度	1,461	452.8	580	179.8	603	186.9	6	1.9	2,650	821.3	124	38.4	2,774	859.8
H24年度	1,413	439.6	580	180.4	603	187.6	6	1.9	2,602	809.5	104	32.6	2,726	848.1
H25年度	1,413	44.7	580	181.4	603	188.6	6	1.9	2,602	813.7	104	32.6	2,726	852.4

(平塚保健福祉事務所調べ。人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県的人口と世帯(各年10月1日現在)」より。)

オ 許可・届出取扱い件数

(平成26年3月31日現在)

区 分		病 院	一般診療所	歯科診療所	X線装置	助産所	あん摩・はり・きゅう	柔道整復	歯科技工所
許 可	開 設		22	1					
	使 用	9	3						
	変 更	31	8	1					
届 出	開 設		34	11	62	1	34	5	3
	変 更	8	34	14	1	3	24	7	
	休 廃 止		29	12	52		22	3	
計		48	130	39	115	4	82	13	3

※ 助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

カ 病院、診療所立入検査実施状況

区 分	実施数	指導結果					
		文書指摘		文書指導		口頭指導	
		医療機関数	件 数	医療機関数	件 数	医療機関数	件 数
病 院	10			2	2	4	5
診 療 所	1					1	4

キ 新規開設診療所等現地確認実施状況

年 度	一般診療所	歯科診療所	助産師	施術所		歯科技工所
				あん摩・はり・きゅう	柔道整復	
H22年度	3	1		11	7	1
H23年度	6	8		9	5	1
H24年度	6	3	1	12	2	2
H25年度	8	4		19	5	3

※ 新規開設診療所等現地確認は平成22年度より実施。

(2) 医療従事者の状況

管内に在住又は就業する医療従事者数の調査については、隔年で実施されており、公表されている最新の状況は次のとおりです。

区分	医師		歯科医師		薬剤師		保健師		助産師	
	人数	10万対	人数	10万対	人数	10万対	人数	10万対	人数	10万対
平塚市	397	153.1	163	62.8	382	147.3	68	26.2	43	16.6
大磯町	90	274.8	18	55.0	61	186.3	10	30.6	1	3.1
二宮町	25	85.3	18	61.4	50	170.6	6	20.5	3	10.3
管内計	512	159.3	199	61.9	493	153.4	84	26.2	47	14.6
神奈川県	17,567	193.6	6,972	76.9	15,776	173.9	1,965	21.7	2,091	23.0

区分	看護師		准看護師		歯科衛生士		歯科技工士	
	人数	10万対	人数	10万対	人数	10万対	人数	10万対
平塚市	1,552	598.8	361	139.3				
大磯町	381	1165.6	29	88.7				
二宮町	42	143.5	24	82.0				
管内計	1,975	615.0	414	128.9	265	82.5	66	20.6
神奈川県	56,674	624.7	10,864	119.7	6,853	75.5	1,687	18.6

※ 医師、歯科医師、薬剤師数は「医師・歯科医師・薬剤師調査（平成24年12月31日現在）」のうち、医療施設の従事者数（薬剤師は薬局も含む）（従業地で集計）。

※ 保健師、助産師、看護師、准看護師数は「保健師、助産師、看護師、准看護師業務従事者届（平成24年12月31日現在）」による（従業地で集計）。

※ 平塚市、大磯町、二宮町の歯科衛生士及び歯科技工士の人数等については「平成24年度神奈川県衛生統計年報（平成24年12月31日現在）」が平成27年2月頃更新予定。

(3) 薬局・医薬品販売業等の状況

ア 薬局・医薬品販売業等施設数

区分	薬局	医薬品販売業			薬局製造販売医薬品製造販売業	薬局製造販売医薬品製造業	医薬品製造業	高度管理医療機器等販売業・賃貸業	管理医療機器販売業・賃貸業	管内計
		店舗（一般を含む）	卸売	計						
平塚市	118	42	20	62	12	12	14	98	461	777
大磯町	15	4	1	5			1	9	42	72
二宮町	17	5		5				5	59	86
管内計	150	51	21	72	12	12	15	112	562	935

イ 許可・届出取扱い件数

区分	薬局	医薬品販売業			薬局製造販売医薬品製造販売業	薬局製造販売医薬品製造業	高度管理医療機器等販売業・賃貸業	管理医療機器販売業・賃貸業	管内計
		店舗（一般を含む）	卸売	計					
新規許可申請	8	3	1	4			21	51	84
更新許可申請	18			0			4		22
変更届	241	120	9	129	2	2	53	90	517
廃止届	5	3	1	4			5	13	27

ウ 薬事監視指導状況

区分	薬局	医薬品販売業			薬局製 造販売 医薬品 製造 販売業	薬局製 造販売 医薬品 製造業	医薬品 製造等 業	高度管 理医療 機器等 販売業 ・ 賃貸業	管理医 療機器 販売業 ・ 賃貸業	管内計
		店舗 (一 般を 含む)	卸売	計						
対象数	150	51	21	72	12	12	15	112	562	935
監視指導件数	53	23	8	31	2	2	3	44	94	229

9 献血

＜企画調整課＞

保健福祉事務所、各市町、神奈川県赤十字血液センターが協力して、住民及び事業所等の理解を深めるよう、献血の推進に取り組みました。

(1) 目標値、献血量（献血車による街頭・事業所献血）

区分	200mL献血		400mL献血		合計	
	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)
平塚市	28.8	82.6	1870.8	2506.4	1899.6	2589.0
大磯町	1.6	2.4	104.0	22.8	105.6	25.2
二宮町	1.4		90.4	29.6	91.8	29.6
管内計	31.8	85.0	2065.2	2558.8	2097.0	2643.8

(2) 年度別目標値、献血量（献血車による街頭・事業所献血）

区分	200mL献血		400mL献血		合計		成分献血 (実績:人)
	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)	
平成16年度	70	70	2,705	2,874	2,775	2,944	43
平成17年度	55	102	2,732	2,602	2,787	2,704	
平成18年度	59	118	2,818	2,461	2,877	2,579	
平成19年度	56	78	2,743	2,666	2,799	2,744	
平成20年度	44	29	2,460	2,777	2,504	2,806	
平成21年度	45	7	2,475	2,367	2,520	2,374	
平成22年度	41	3	2,458	2,566	2,499	2,569	
平成23年度	56	4	1,710	2,350	1,766	2,353	
平成24年度	33	33	2,135	2,470	2,168	2,502	
平成25年度	32	85	2065	2559	2097	2644	

※ 成分献血については、平成16年度までは街頭献血でも実施していましたが、厚生労働省の原料血漿確保目標量の減少等により、街頭献血では行わなくなりました。

10 免許取扱事務

<管理課、環境衛生課、食品衛生課>

(1) 医療従事者関係

区 分	免許申請	書換・籍訂正	再 交 付	登録抹消	合 計
医 師	8	7		4	19
歯 科 医 師	3	4			7
薬 剤 師	24	36	3	1	64
保 健 師	17	15	1		33
助 産 師	3	2			5
看 護 師	107	76	9		192
准 看 護 師	9	7	3	1	20
栄 養 士	53	9	6		68
管 理 栄 養 士	10	9			19
診 療 放 射 線 技 師	5	2			7
臨 床 検 査 技 師	1	5			6
理 学 療 法 士	13	1			14
作 業 療 法 士	8	5			13
視 能 訓 練 士		1			1
歯 科 技 工 士	4				4
死体解剖資格認定医	1				1
合 計	266	179	22	6	473

(2) 環境衛生関係

区 分	免許申請	訂 正	再 交 付	合格証明書交付	合 計
クリーニング師	3				3

(3) 食品衛生関係

区 分	免許申請	書 換	再 交 付	合 計
ふ ぐ 包 丁 師	4		2	6
製 菓 衛 生 師	13			13
調 理 師	83	11	8	102
合 計	100	11	10	121

(1) 神奈川県保健衛生表彰

ア 知事表彰（期日：平成25年11月13日実施）

(ア) 医療関係功労者

氏名	職業
鈴木盛彦	医師
船越哲也	歯科医師
添田雅伸	薬剤師
田代眞由美	看護師
前澤薫子	管理栄養士
八幡猛	診療放射線技師

(イ) 環境衛生関係功労者

氏名	職業
相原栄一	獣医師

(ウ) 食品衛生関係功労者

氏名	職業
金岩正明	飲食業

イ 保健福祉事務所長表彰（期日：平成25年11月14日実施）

(ア) 医療関係功労者

(医師、歯科医師、薬剤師)

氏名	職業
赤野芳臣	歯科医師
梅沢幸子	医師
小川哲史	歯科医師
中村由紀子	薬剤師
森田秀人	医師

(看護師、診療放射線技師、鍼灸マッサージ師)

氏名	職業
浅見幸	歯科衛生士
石山圭子	看護師
古賀逸子	看護師
鈴木知幸	臨床検査技師
武生新吾	理学療法士
田島隆人	診療放射線技師
福島みち子	看護師

(イ) 環境衛生関係功労者

氏名	職業
平尾千恵子	理容師

(ウ) 食品衛生関係功労者

氏名	職業
櫻井忠	飲食店営業
新津一	飲食店営業

(エ) 地域公衆衛生活動関係功労者

氏名	職業等
村田 愈子	団体役員

(オ) 施設

施設名	代表者名
株式会社パッハマン 本店	渡 辺 治
レストラン 三澤亭	三 澤 登

(2) 神奈川県献血推進功労者表彰

ア 知事表彰 (期日:平成25年11月23日実施)

団体名	代表者名
株式会社 小松製作所 生産本部 湘南工場	佐藤 英男

12 ネットワークづくり

<全課>

(1) 当所主催会議

委員会・会議名	委員数	開催回数			担当課
		委員会	部会等	ワーキング等	
保健福祉 サービス 連携調整 会議	継続看護連絡会	52	1	4	保健福祉課
	難病委員会	22	1		保健予防課
	母子保健委員会	26	1	1	保健福祉課
	地域食生活対策推進協議会	14	1	1	保健福祉課
	地域精神保健福祉連絡協議会	33	1		保健予防課
	歯及び口腔の健康づくり推進委員会	15	1	2	保健福祉課
地域連携クリティカルパス検討委員会	10	1		1	企画調整課
薬物乱用防止推進地域連絡会	20	20	1		環境衛生課
平塚地区海水浴場対策連絡協議会	15	15	1		環境衛生課
平塚保健福祉事務所エイズ対策推進協議会	15	1			保健予防課

(2) 市町主催会議

市 町	委員会・会議名	当所主管課	職名又は職種
平塚市	平塚市防災会議	管 理 課	所 長
	平塚市国民健康保険運営協議会	管 理 課	所 長
	平塚市病院運営審議会	管 理 課	所 長
	平塚市国民保護協議会	管 理 課	所 長
	平塚市児童生徒結核対策委員会	管 理 課	所 長
	平塚市学校保健会	管 理 課	所 長
	平塚市保健福祉総合推進委員会	保健福祉課	部 長
	養護老人ホーム入所判定委員会	保健福祉課	福 祉
	平塚市コーディネーター検討会	保健福祉課	福 祉
	障がい福祉施策推進懇話会	保健福祉課	福 祉
	市民健康づくり推進協議会	保健福祉課	部 長
	平塚市子ども・子育て会議	保健福祉課	課 長
	平塚市医療連携懇話会	保健福祉課	課 長
	平塚市地域包括支援センター運営協議会	保健福祉課	課 長
	平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会	保健福祉課	課長・保健師・福祉
	地域ケア会議	保健予防課	保健師
	母子保健事業推進連絡会	保健福祉課	保健師
	思春期対策連絡会	保健福祉課	保健師
	障害児の機能訓練に関する関係機関連絡会	保健福祉課	保健師
	子どもの生活習慣病予防対策委員会	保健福祉課	栄養士
	平塚市食育推進委員会	保健福祉課	栄養士
	平塚市障がい者自立支援協議会	保健福祉課	福 祉
	平塚市地域包括支援センター連絡会	保健予防課	保健師
	平塚市高齢者虐待防止ネットワーク協議会	保健予防課	課 長
平塚市相談支援チーム会議	保健予防課	福 祉	
平塚市自殺対策実務者担当者会議	保健予防課	保健師	
平塚市自殺対策会議	保健予防課	課 長	
平塚市地域生活支援部会 精神分科会	保健予防課	福 祉	
大磯町	大磯町防災会議	管 理 課	所 長
	大磯町国民保護協議会	管 理 課	所 長
	大磯町児童生徒結核対策委員会	管 理 課	所 長
	大磯町社会福祉委員会	保健福祉課	部 長
	大磯町指定管理者候補者選定委員会	保健福祉課	部 長
	大磯町国民健康保険運営協議会	保健福祉課	課 長
	大磯町介護保険運営協議会	保健福祉課	課 長
	大磯町子ども・子育て会議	保健福祉課	課 長
	大磯町要保護児童対策地域協議会	保健福祉課	課長・保健師・福祉
	大磯町母子保健ケース検討会議	保健福祉課	保健師
	大磯町食育推進委員会	保健福祉課	栄養士
	大磯町障害福祉センター利用団体連絡会	保健福祉課	福 祉
	大磯町地域ケア会議	保健福祉課	福 祉
	大磯町高齢者見守りネットワーク協議会	保健予防課	課 長
二宮町	二宮町防災会議	管 理 課	所 長
	二宮町国民保護協議会	管 理 課	所 長
	二宮町児童生徒結核対策委員会	管 理 課	所 長
	二宮町災害時医療対策委員会	企画調整課	課 長
	二宮町保健福祉サービス調整機構推進委員会	保健福祉課	部 長
	二宮町要保護児童対策地域協議会	保健福祉課	課長・保健師・福祉
	二宮町地域ケア会議	保健福祉課	福 祉
	二宮町学校給食センター運営委員会	食品衛生課	部 長
大磯町・二宮町	大磯町・二宮町在宅医療推進会議	保健福祉課	部 長
	大磯町・二宮町在宅医療多職種連携会議	保健福祉課	部 長
	二宮町・大磯町自立支援協議会	保健福祉課	課 長
圏域	湘南西部障害保健福祉圏域自立支援協議会	保健福祉課	部 長

第5章

健康で安心できる生活衛生対策

- 1 環境衛生営業施設等
- 2 生活環境施設
- 3 動物保護
- 4 毒物劇物、麻薬取扱施設等
- 5 食品衛生

1 環境衛生営業施設等

＜環境衛生課＞

県民生活に密着した理容所などの営業施設、プールなどの水浴場を県民が安心して利用できるよう監視指導を実施しました。

(1) 環境衛生営業施設数等及び監視指導状況

区 分	施設数				許可(確認) 件 数	廃止件数	監視指導 件 数
	平塚市	大磯町	二宮町	合計			
理 容 所	199	18	21	238	7	9	77
美 容 所	335	33	39	407	17	18	152
クリーニング所 (一般)	76	5	6	87		2	54
クリーニング所 (取次)	109	12	16	137	5	4	53
旅 館	26	3	1	30			30
興 行 場	6		1	7			7
公衆浴場	18	4		22		2	23
合 計	769	75	84	928	29	35	396

(年度別環境衛生営業施設数の推移)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
理 容 所	253	250	252	247	248	245	240	238
美 容 所	402	400	407	407	406	413	408	407
クリーニング所	264	262	254	254	251	232	226	224
旅 館	37	36	37	37	33	32	30	30
興 行 場	8	8	8	8	7	7	7	7
公衆浴場	25	28	28	28	27	26	24	22
合 計	989	984	986	981	972	955	935	928

(2) 水浴場等施設数及び監視指導状況

区 分	施設数				監視指 導件数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
海水浴場	1	1		2	19
更衣休憩所	1	8		9	77
プ ー ル	11	3	3	17	18
合 計	13	12	3	28	114

(3) 海水浴場の水質検査実施状況

区 分	ふん便性 大腸菌群数 (個/100ml)	COD (mg/L)	透明度 (m)	油 膜	pH	判 定
大磯 第1回	2	3.3	1以上	無	8.2~8.4	可(水質B)
大磯 第2回	9	5.2	1以上	無	8.3~8.7	可(水質C)

(4) 講習会開催状況

内 容	対 象 者	場 所	講 師	開催回数	参加者数
美容所の衛生	環 境 営 業 者	平塚市勤労会館	当所保健師・衛生監視員	1	159
海の家の衛生	夏期施設等営業者	大磯町役場	当所衛生監視員	1	11

2 生活環境施設

＜環境衛生課＞

快適な生活環境を確保するため、浄化槽、特定建築物、水道施設などの監視指導を実施しました。

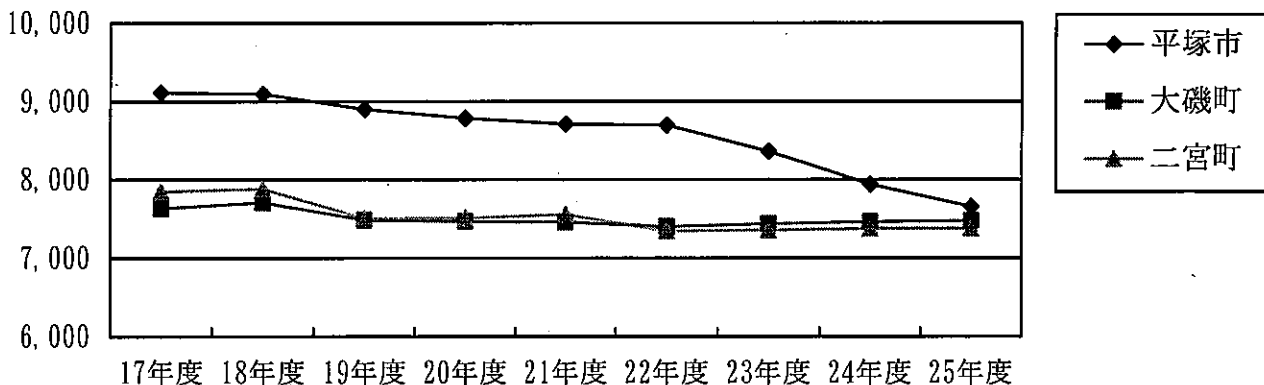
また、浄化槽、昆虫などに関する苦情や相談に対応したほか、快適な住まい方を推進するための個別相談を実施しました。

(1) 浄化槽設置基数及び監視指導状況

設置基数				監視指導件数
平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
7,656	7,474	7,373	22,503	13

(年度別浄化槽設置数の推移)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
平塚市	9,093	8,898	8,785	8,711	8,696	8,357	7,937	7,656
大磯町	7,706	7,483	7,466	7,458	7,402	7,435	7,463	7,474
二宮町	7,881	7,499	7,510	7,553	7,344	7,357	7,373	7,373
合 計	24,680	23,880	23,761	23,722	23,442	23,149	22,773	22,503



(2) 浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導状況

登録業者数	登録営業所数	監視指導件数
21	18	18

(3) 特定建築物施設数及び監視指導状況

区 分	施設数				監視指導 件 数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
事 務 所	16	1	1	18	10
百貨店・店舗	15	3	2	20	8
学 校	15			15	11
旅 館	6	1		7	
興 行 場	6		1	7	
そ の 他	7			7	
合 計	65	5	4	74	29

(4) 建築物衛生管理業者登録数及び監視指導状況

区 分	登録営業所数	監視指導件数
清 掃 業	11	9
空気環境測定業	1	1
飲料水水質検査業	2	
飲料水貯水槽清掃業	22	14
排水管清掃業	2	1
ねずみ・昆虫等防除業	11	7
総合管理業	10	6
合 計	59	38

(5) 水道施設数及び監視指導状況

区 分	施 設 数			監視指導 件 数
	大磯町	二宮町	合 計	
専 用 水 道	3	1	4	4
簡易専用水道	29	24	53	3
小規模受水槽水道	33	22	55	1
合 計	65	47	112	8

(6) 化製場等施設数及び監視指導状況

区 分	施 設 数				監視指導 件 数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
化 製 場	1			1	1
死亡獣畜取扱場	1			1	1
合 計	2	0	0	2	2

(7) 温泉施設数等及び監視指導状況

区 分	施 設 数				監視指導 件 数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
源 泉	3	1	2	6	7
温泉採取施設	3	1	2	6	7
温泉利用施設	5	1	1	7	8

(8) 苦情・相談等処理状況

浄化槽	ねずみ・昆虫	住 ま い	そ の 他	合 計
1	22	12	1	36

3 動物保護

＜環境衛生課＞

犬による危害防止を図るため、事故を起こした飼い主に対する飼育指導を実施しました。

また、犬、猫等に関する苦情、相談等について対応し、適正飼育の啓発、指導を実施するとともに、飼えなくなった犬、猫の引取りを実施しました。

(1) こう傷事故等の発生状況

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	合 計
件 数	17	3	4	24

(2) 犬、猫等の苦情相談等の対応状況

区 分	捕獲依頼	引取依頼	飼育公害	その 他	合 計
処理件数		2	71	17	90

(3) 飼えなくなった犬、猫の引取り状況

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	合 計
犬	1			1
猫	9			9
合 計	10	0	0	10

4 毒物劇物、麻薬取扱施設等

＜環境衛生課＞

毒物劇物の製造・輸入業者や販売業者等施設の監視を実施し、適正な保管管理の徹底指導を実施しました。

また、湘南ベルマーレの試合において薬物乱用防止キャンペーンを実施するなど薬物乱用防止の推進を図りました。

(1) 薬物乱用防止キャンペーン等

月 日	内 容	会 場
7月17日	サッカー試合前及びハーフタイムにおける啓発	平塚競技場
10月6日	大磯チャレンジフェスタ2013における啓発	大磯運動公園

(2) 毒物・劇物販売業者数等

区 分	毒物・劇物販売業					製造業	輸入業	業務上 取扱者	合 計
	一 般		農業用品目	特定品目	計				
	専 業	兼 業							
平塚市	55	48	16	6	125	20	7	8	160
大磯町	1	7	1	1	10				10
二宮町	1	7	2		10			1	11
合 計	57	62	19	7	145	20	7	9	181

(3) 毒物・劇物販売業者等登録・届出取扱件数

区 分	毒物・劇物販売業				業務上取扱者	合 計
	一 般	農業用品目	特定品目	計		
新規登録申請	5			5		5
登録更新申請	4		1	5		5
変 更 届	22	3	2	27		27
廃 止 届	6	1	1	8	1	9

(4) 毒物・劇物監視指導状況

区 分	毒物・劇物販売業					製造業	輸入業	業務上取扱者	合 計
	一 般		農業用品目	特定品目	小 計				
	専 業	兼 業							
施 設 数	57	62	19	7	145	20	7	8	180
監視指導件数	9	28	10	6	53	9	2	2	66

(5) 麻薬監視指導状況

区 分	麻薬小売業者	病 院	診 療 所 等	麻 薬 研究者	合 計
施 設 数	79	9	100	8	196
監視指導件数	25	13	1	2	41

(6) 免許事務取扱件数

区 分	新規申請	継続申請	廃止・返納届
麻薬取扱者	91	210	274

5 食品衛生

＜食品衛生課＞

地域の人々の食の安全を確保するため、営業施設に対する監視指導、食品の検査、食品衛生講習会等の事業を実施するとともに、違反、苦情への対応や食中毒に関する調査、再発防止指導等を実施しました。

(1) 食品営業施設数及び監視件数

ア 許可営業

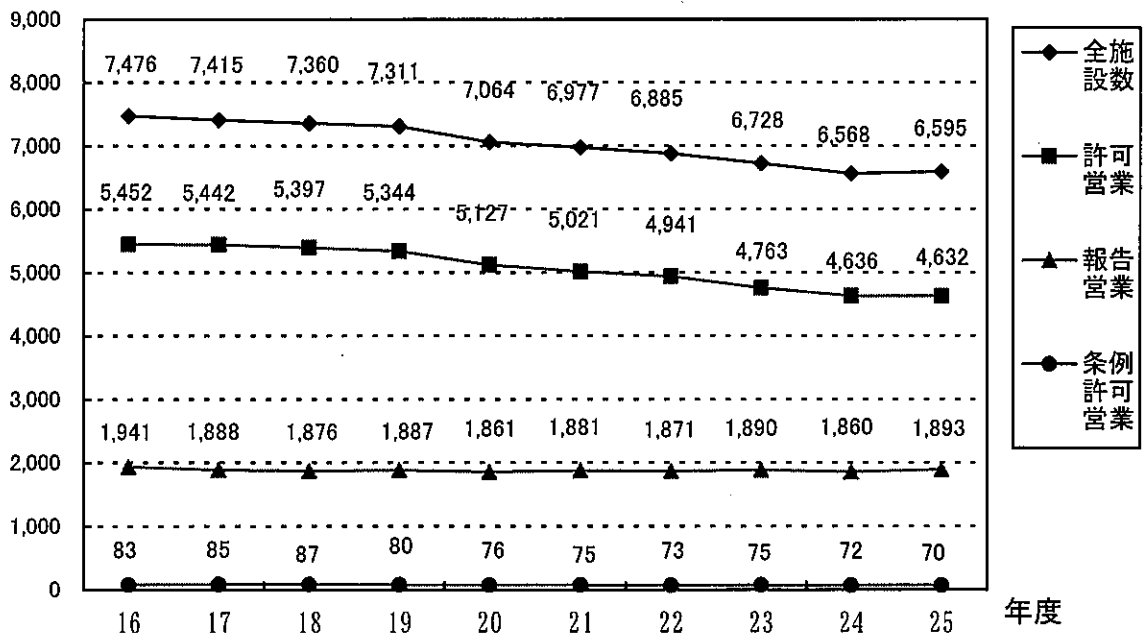
区 分	施 設 数					監視 件数	取扱件数			
	平塚市	大磯町	二宮町	移動 営業	計		新規	更新	廃業	
法 許 可	飲 食 店 営 業	2,245	186	157	77	2,665	2,313	237	217	258
	菓 子 製 造 業	170	23	24	11	228	183	5	18	6
	乳 処 理 業	1		1		2	2			
	乳 製 品 製 造 業	3		1		4	2			
	魚 介 類 販 売 業	244	42	31	1	318	257	28	26	14
	魚 介 類 競 り 売 り 営 業	1	1			2	1			
	魚 肉 練 り 製 品 製 造 業	1	2			3	6			
	食品の冷凍又は冷蔵業	6	1			7	6		1	
	缶詰又は瓶詰食品製造業	2				2	3			
	喫 茶 店 営 業	406	22	15	6	449	200	32	112	38
	あ ん 類 製 造 業	3				3	16			
	アイスクリーム類製造業	3				3	3	1		
	乳 類 販 売 業	464	48	43		555	314	36	54	37
	食 肉 処 理 業	19				19	26			
	食 肉 販 売 業	228	31	27	1	287	248	27	22	19
	食 肉 製 品 製 造 業	4				4	3		1	
	み そ 製 造 業	1		2		3	4			
	し ょ う 油 製 造 業			1		1	2			
	豆 腐 製 造 業	8	2	1		11	20			2
	め ん 類 製 造 業	14		1		15	14	2	1	
総 菜 製 造 業	27	3	4		34	25	2	3	1	
添 加 物 製 造 業	6				6	7	1	1	1	
清 涼 飲 料 水 製 造 業	4		1		5	6	1			
氷 雪 製 造 業	1				1					
氷 雪 販 売 業	3	1	1		5	4				
小 計	3,864	362	310	96	4,632	3,665	372	456	376	
県 条 例	魚 介 類 行 商	14	2	1	1	18	8			2
	魚 介 類 加 工 業	18	4	8		30	16		1	
	発 酵 乳 等 販 売 業	20		2		22	9		1	
	小 計	52	6	11	1	70	33		2	2
合 計	3,916	368	321	97	4,702	3,698	372	458	378	

※茅ヶ崎駐在事務所（食品衛生専門監視担当）の対象施設監視件数については、平成22年度から県食品衛生課で集計しています。

イ 報告営業

区分	施設数					監視件数	取扱件数	
	平塚市	大磯町	二宮町	移動営業	計		新規	廃業
給食施設	学校	14	2	1		17	18	1
	病院・診療所	8	1			9	5	
	事業所	5	2			7	4	1
	その他	71	8	11		90	90	10
乳さく取業	76	24	11		111			
食品製造業	70	12	15		97	48	7	
野菜果物販売業	189	32	26	5	252	150	3	
総菜販売業	53	2	5	2	62	158	1	
菓子販売業	351	33	45	7	436	202	7	
食品販売業	594	92	87	1	774	839	41	
添加物の製造業	1				1	3		
添加物の販売業	2	1			3	37		
器具、容器包装、おもちゃの製造又は販売業	29	1	4		34	126	1	
合計	1,463	210	205	15	1,893	1,680	72	

ウ 営業施設数の推移



エ 食品衛生夏期・年末総点検

(ア) 動員数及び施設点検数

区分	動員数 (延人数)		施設点検数 (延べ数)	
	食品衛生監視員	食品衛生指導員	食品衛生監視員	食品衛生指導員
夏期 (7月1日～8月31日)	256	111	2,086	527
年末 (12月1日～12月28日)	91	145	699	855
合計	347	256	2,785	1,382

(イ) 食品の点検数

区 分	食品点検数	収去件数	違反件数
夏期 (7月1日～8月31日)	10,430	35	1
年末 (12月1日～12月28日)	4,194	12	
合 計	14,624	47	1

(2) 食品等の収去検査

	検体数	検査結果	
		適	不適
一般食品	135	135	
乳肉食品	10	9	1
合 計	145	144	1

(3) 食中毒

ア 食中毒発生状況

発生日	発生場所	摂食者数	患者数	原因食品	病因物質	措置状況
9月8日	魚介類販売施設	2	1	刺身	アニサキス	営業停止 (2日間)
9月13日	魚介類販売施設	1	1	刺身	アニサキス	営業停止 (2日間)
10月3日	魚介類販売施設	1	1	刺身	アニサキス	営業停止 (2日間)
10月11日	家庭	2	2	キノコ料理	植物性自然毒	—

イ 過去5年間の食中毒発生状況 (管内)

区 分	発生件数	摂食者数	患者数	食中毒警報発令期間	日数	ノロウイルス食中毒 警戒情報発令期間
21年度	4	490	178	8月13日～10月21日	70	12月7日～3月31日
22年度	2	11	8	7月27日～10月21日	87	11月15日～3月31日
23年度	3	76	21	7月27日～10月19日	85	10月31日～3月31日
24年度	2	15	14	7月31日～10月16日	78	11月12日～3月31日
25年度	4	6	5	7月18日～10月22日	97	12月9日～3月31日

(4) 違反処理

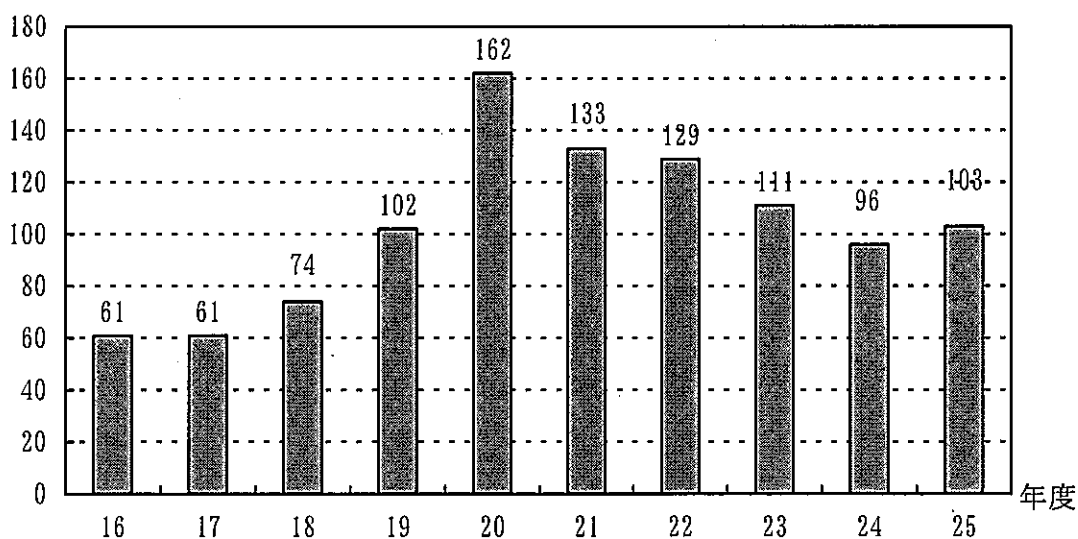
判明月	品名	違反内容	措置
5月	ソフトクリーム	成分規格 (大腸菌群)	再発防止を指導 (残品なし)
6月	豚肉加工品	表示 (添加物)	管轄する自治体に通報
8月	胡瓜としらすの梅肉あえ	表示 (特定原材料)	適正表示後販売を指導

(5) 苦情処理

ア 苦情内容

		異物	かび	腐敗・ 変敗	異味・ 異臭	不衛生 取扱	有症 苦情	その他	合計
食 品	乳・乳製品、乳類加工 品			1			1		2
	魚介類及びその加工品	4			1	2	3	1	11
	肉類・卵及びその加工 品	1					4	1	6
	穀類及びその加工品				1		1	1	3
	豆類及びその加工品	1						2	3
	野菜類及びその加工品	5		1	3	1	3	2	15
	菓 子 類	3			1	1	1	1	7
	複 合 調 理 食 品	6			2	4	18	3	33
	そ の 他	1					2	3	5
	小 計	21	0	2	8	10	34	16	91
施設等に関するもの					4	8			12
合 計		21	0	2	12	18	34	16	103

イ 苦情処理件数の推移



ウ 苦情内容別の推移

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
16年度	有症苦情	異 物	不衛生取扱	か び	腐敗・変敗
17年度	異 物	不衛生取扱	そ の 他	有症苦情	腐敗・変敗
18年度	異 物	有症苦情	不衛生取扱	腐敗・変敗 /	そ の 他
19年度	有症苦情	異 物	不衛生取扱	表 示	異味・異臭
20年度	有症苦情	そ の 他	異 物	不衛生取扱	異味・異臭
21年度	有症苦情	そ の 他	異 物	不衛生取扱	異味・異臭
22年度	有症苦情	そ の 他	不衛生取扱	異 物	異味・異臭
23年度	有症苦情	そ の 他	不衛生取扱	異 物	異味・異臭
24年度	有症苦情	異 物 /	そ の 他	不衛生取扱	腐敗・変敗
25年度	有症苦情	異 物	不衛生取扱	そ の 他※	異味・異臭

※その他の内訳：表示不備(7)、賞味期限関係(5)等

(6) 食品衛生講習会

ア 営業者等講習会

内 容	対 象	講 師	会 場	開催回数	参加者数
食品衛生・食中毒予防について	食品衛生責任者・調理従事者等	当所食品衛生監視員	平塚保健福祉事務所等	35	2,441

イ 消費者講習会

内 容	対 象	講 師	会 場	開催回数	参加者数
食品衛生・食中毒予防について	食生活改善グループ等	当所食品衛生監視員	平塚保健福祉事務所	3	121

資料

- 1 平塚保健福祉事務所の沿革等
- 2 人口
- 3 衛生統計
- 4 市町における健康診査実施状況
- 5 各種委員会委員
- 6 職員研究論文等一覧

1 平塚保健福祉事務所の沿革等

(1) 沿革

年月日	平塚保健所	中福祉事務所
昭和17年12月8日	現在地に保健所を開設し、所管区域を平塚市及び中郡の1市5町14村とする。	
23年1月1日	昭和22年9月に全面改正された保健所法が施行され、保健所業務を開始する。	
26年6月12日	秦野町ほか4か村を所管する秦野出張所を置く。	
26年10月1日		社会福祉事業法の施行に伴い、中地方事務所の庁舎内に庶務課、保護課の2課体制により、中郡を管轄地域とする中福祉事務所が設置される。
28年4月1日	秦野出張所が支所に昇格する。	
30年7月1日		行政組織規則の一部改正により、次長制が廃止され、保護課が福祉課となる。
32年4月1日	当所に神奈川県精神衛生相談所を併設する。	
33年4月1日	秦野支所が保健所に昇格し、所管区域が変更（平塚市、大磯町、二宮町）になる。	
35年4月1日	神奈川県精神衛生相談所を神奈川県平塚精神衛生所と改称する。	
39年9月24日	現在地に庁舎を改築する。	
40年10月1日	精神衛生法の改正により、平塚精神衛生相談所を廃止する。	
42年6月2日		行政組織規則の一部改正により、次長制が施行され、庶務課が総務課に、福祉課が保護課となる。
44年7月16日		行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、中福祉事務所が湘南福祉事務所となり、総務課が管理課となるとともに、所管区域が三浦郡葉山町、高座郡寒川町、中郡大磯町、二宮町の4町となる。
45年7月16日	行政組織規則の一部改正により、管理課、保健予防課、衛生課、保健婦室の3課1室となる。次長制を施行する。	
46年6月1日	中郡二宮町百合ヶ丘に二宮保健ステーションを開設する。	

49年8月1日	行政組織規則の一部改正により、衛生課が環境衛生課と食品衛生課となる。	行政組織規則の一部改正により、管理課に管理係、保護課に保護係、福祉係が置かれ、2課3係体制となる。
54年6月1日	管理係、指導係を廃止し、管理調整班、企画指導班とする。	
55年8月1日	保健予防課、環境衛生課、食品衛生課、保健婦室の各係を廃止し、班制を施行する。	
56年6月1日		行政組織規則の一部改正により、保護課が福祉課となり、保護係と福祉係が廃止される。
57年6月1日		行政組織規則の一部改正により、管理係が廃止される。
58年6月1日	行政組織規則の一部改正により、保健婦室が健康指導課となる。	
59年4月1日	二宮保健ステーションを二宮町に移管。行政組織規則の一部改正により、試験検査部門が茅ヶ崎保健所に統合される。	
60年4月16日		行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、湘南地区行政センターと湘南福祉事務所が統合され、湘南地区行政センター福祉部となり、地域福祉課、生活福祉課の2課体制となる。所管区域のうち、三浦郡葉山町が横須賀三浦地区行政センターの所管となる。
平成3年8月1日	平塚保健所庁舎建替工事に伴い、仮庁舎（平塚市豊原町2の21）に移転する。	
5年4月1日	新庁舎完成に伴い、現在地に移転する。行政組織規則の一部改正により、保健衛生部及び環境衛生部が設置され、2部5課となる。	社会福祉関係8法の改正により、身体障害者福祉法及び老人福祉法関係事務が町に委譲される。
平成9年4月1日	行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、平塚保健所と湘南地区行政センター福祉部が統合され、平塚保健福祉事務所（併せて平塚保健所、中福祉事務所）となり、管理課、企画調整室、保健福祉部（保健福祉課、保健予防課、生活福祉課）、生活衛生部（環境衛生課、食品衛生課）の2部1室6課体制となる。中福祉事務所の所管区域のうち、高座郡寒川町が茅ヶ崎保健福祉事務所の所管となる。	
19年6月1日	行政組織規則の一部改正により、企画調整室が企画調整課となり、2部7課体制となる。	
20年4月1日	行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、保健福祉事務所、保健所、福祉事務所が統合され、保健福祉事務所となる。	
26年4月1日	行政組織規則の一部改正により、秦野保健福祉事務所を平塚保健福祉事務所秦野センターとして統合する。	

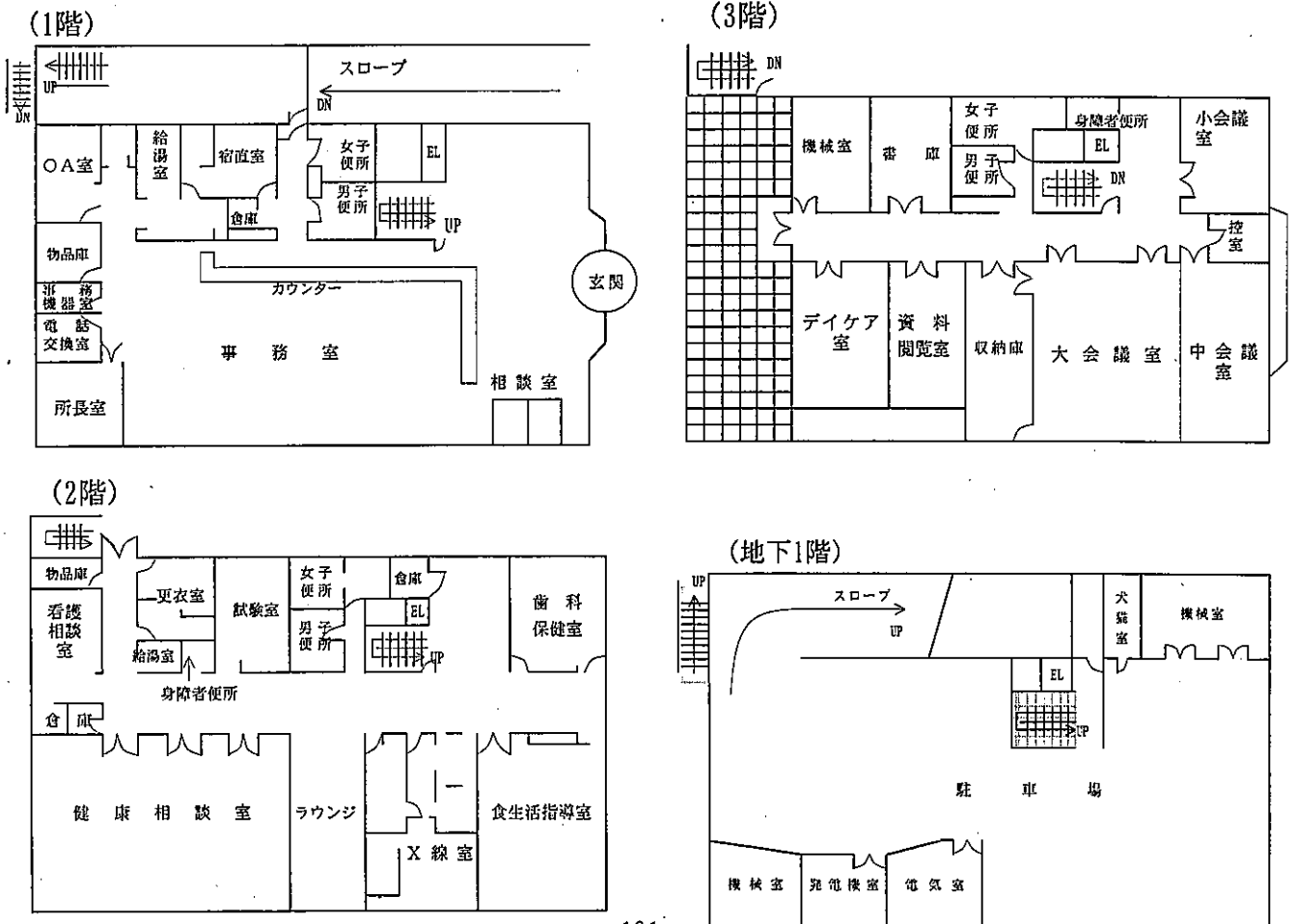
(2) 平塚保健所歴代所長名

初代	山口 大九郎 (S17. 12~ 18. 7)	14代	衛藤 繁 男 (60. 4~ 61. 3)
2代	杉本 良次 (18. 7~ 19. 9)	15代	長谷川 進 (61. 4~ 63. 3)
3代	屋宮 文章 (19. 10~ 27. 7)	16代	成瀬 道彦 (63. 4~ H元. 3)
4代	林 秀 (27. 7~ 31. 9)	17代	岡本 耕 (H元. 4~ 11. 3)
5代	高口 保明 (31. 10~ 34. 6)	18代	前坂 機江 (11. 4~ 11. 5)
6代	杉本 良次 (34. 7~ 38. 6)	19代	宝田 正志 (11. 6~ 13. 3)
7代	山田 健次郎 (38. 6~ 40. 9)	20代	堀井 昌子 (13. 4~ 15. 3)
8代	成田 功 (40. 10~ 43. 3)	21代	山徳 み 彖 (15. 4~ 16. 3)
9代	広瀬 達之 (43. 4~ 47. 9)	22代	前坂 機江 (16. 4~ 19. 3)
10代	渡辺 良一 (47. 10~ 49. 7)	23代	鈴木 周雄 (19. 4~ 22. 3)
11代	杉本 博俊 (49. 8~ 55. 7)	24代	清水 博 (22. 4~ 23. 5)
12代	佐久間 正美 (55. 8~ 57. 5)	25代	竹村 隆夫 (23. 6~)
13代	小宮 弘毅 (57. 6~ 60. 3)		

(3) 土地建物

ア 土地	保健福祉事務所敷地	1,481.03㎡
イ 建物	保健福祉事務所庁舎 (H5. 3. 15完成)	
	鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建	延床面積 3,551.36㎡

(4) 庁舎配置図



2 人口

(1) 人口及び世帯数等（湘南西部二次保健医療圏域）

ア 人口及び世帯数等

（平成25年10月1日現在）

区分	面積 (km ²)	世帯数	人 口			人口密度 (人/km ²)	一世帯当 たりの人員	人口増加率 前年比
			総数	男	女			
圏域計	253.22	243,183	590,207	298,359	291,848	2,331	2.43	99.63
平塚市	67.83	105,824	258,252	130,265	127,987	3,809	2.44	99.57
秦野市	103.61	70,908	169,490	86,651	82,839	1,636	2.39	99.72
伊勢原市	55.52	42,293	100,933	51,522	49,411	1,818	2.39	99.89
大磯町	17.18	12,652	32,496	15,842	16,654	1,888	2.57	99.23
二宮町	9.08	11,506	29,036	14,079	14,957	3,198	2.52	99.74
神奈川県	2,416.05	3,933,787	9,081,742	4,544,198	4,537,544	3,759	2.31	100.11

※県統計センター「神奈川県的人口と世帯」より。

※面積は「全国都道府県市町村別面積調」より。平塚市及び大磯町については、境界未確定のため、参考値。

イ 年齢階級(3区分)別人口の割合

（平成25年1月1日現在）

区分	総数	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
		0～14歳		15～64歳		65歳以上	
		数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)
圏域計	592,001	75,149	12.7	378,281	63.9	137,239	23.2
平塚市	259,179	33,464	12.9	166,018	64.1	59,607	23.0
秦野市	169,925	20,949	12.4	109,864	65.0	38,100	22.6
伊勢原市	100,945	13,341	13.2	65,806	65.3	21,613	21.4
大磯町	32,688	4,005	12.3	19,252	58.9	9,410	28.8
二宮町	29,264	3,390	11.6	17,341	59.3	8,509	29.1
神奈川県	9,072,533	1,176,417	13.0	5,890,458	65.3	1,953,430	21.7

※県統計センター「神奈川県年齢別人口統計調査」より。

※総数には「年齢不詳」を含む。

〈参考〉高齢化の定義

国連は老年人口(65歳以上)の比率により以下のとおり区分している。

「高齢化社会」 … 7%～14%

「高齢社会」 … 14%～21%

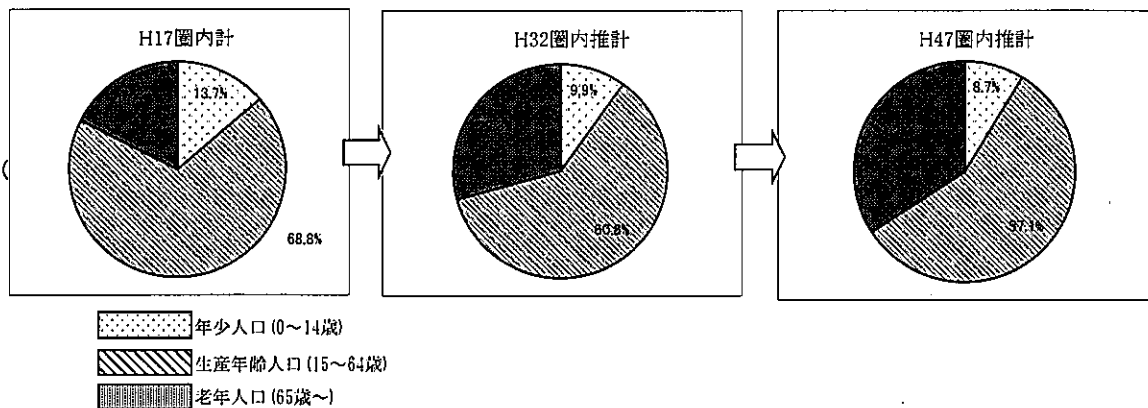
「超高齢社会」 … 21%～

(2) 将来推定人口（年齢階級（3区分）別）

区分	総人口			年少人口（0～14歳）					
	H 17	H 32	H 47	H 17		H 32		H 47	
				数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)
圏域計	581,310	579,476	525,429	79,730	13.7%	57,088	9.9%	45,513	8.7%
平塚市	258,957	257,006	235,139	35,240	13.6%	26,053	10.1%	20,937	8.9%
秦野市	168,318	164,296	148,361	22,050	13.1%	15,218	9.3%	12,138	8.2%
伊勢原市	100,579	99,230	90,929	14,485	14.4%	10,378	10.5%	8,178	9.0%
大磯町	23,211	31,387	27,868	3,901	16.8%	2,843	9.1%	2,276	8.2%
二宮町	30,245	27,557	23,132	4,054	13.4%	2,596	9.4%	1,984	8.6%
神奈川県	8,791,597	8,983,875	8,525,080	1,189,871	13.5%	931,200	10.4%	770,238	9.0%

区分	生産年齢人口（15～64歳）						老年人口（65歳以上）					
	H 17		H 32		H 47		H 17		H 32		H 47	
	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)
圏域計	400,018	68.8%	352,318	60.8%	300,097	57.1%	101,562	17.5%	170,070	29.3%	179,819	34.2%
平塚市	178,146	68.8%	156,330	60.8%	135,075	57.4%	45,571	17.6%	74,623	29.0%	79,127	33.7%
秦野市	119,740	71.1%	100,377	61.1%	85,249	57.5%	26,528	15.8%	48,701	29.6%	50,974	34.4%
伊勢原市	70,726	70.3%	62,456	62.9%	53,012	58.3%	15,368	15.3%	26,396	26.6%	29,739	32.7%
大磯町	11,900	51.3%	17,794	56.7%	14,962	53.7%	7,410	31.9%	10,750	34.2%	10,630	38.1%
二宮町	19,506	64.5%	15,361	55.7%	11,799	51.0%	6,685	22.1%	9,600	34.8%	9,349	40.4%
神奈川県	6,115,174	69.6%	5,707,403	63.5%	5,036,390	59.1%	1,486,552	16.9%	2,345,272	26.1%	2,718,452	31.9%

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成20年12月推計）より。



(3) 年齢階級(3区分)別人口の割合及び年齢構造指数の推移(管内市町)

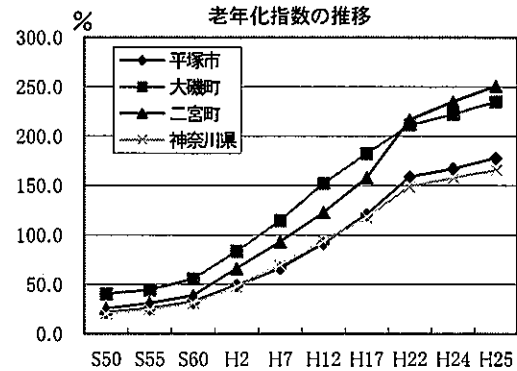
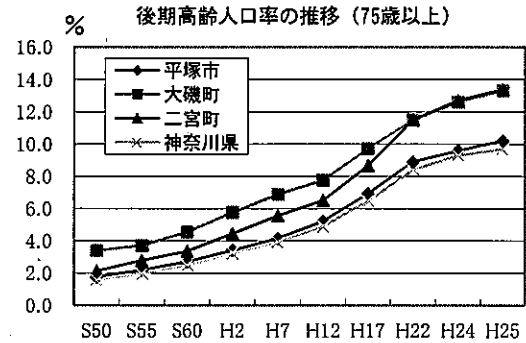
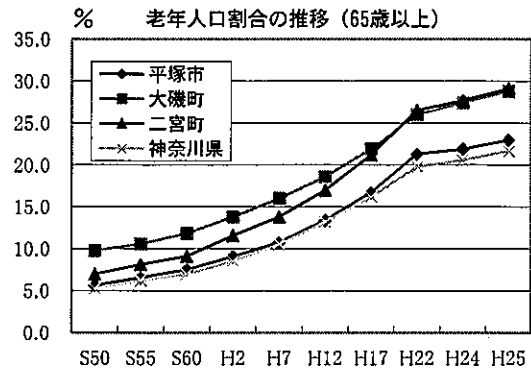
(昭和45~50年:10月1日現在 昭和55~平成25年:1月1日現在)

区 分	人 口 (人)						割 合 (%)				
	総 数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	(再掲)後期高齢人口	不 詳	年 少 人 口	生 産 年 齢 人 口	老 年 人 口	後 期 高 齢 人 口	
		(0~14歳)	(15~64歳)	(65歳以上)	(75歳以上)						
昭和45年	管内計	211,475	51,385	148,105	11,985	3,509	0	24.3	70.0	5.7	1.7
	平塚市	163,671	39,562	115,588	8,521	2,444	0	24.2	70.6	5.2	1.5
	大磯町	26,154	6,086	17,912	2,156	694	0	23.3	68.5	8.2	2.7
	二宮町	21,650	5,737	14,605	1,308	371	0	26.5	67.5	6.0	1.7
	神奈川県	5,472,247	1,301,772	3,914,556	255,919	72,634	0	23.8	71.5	4.7	1.3
昭和50年	管内計	248,360	64,113	168,732	15,496	4,955	19	25.8	67.9	6.2	2.0
	平塚市	195,635	50,582	134,010	11,026	3,475	17	25.9	68.5	5.6	1.8
	大磯町	27,866	6,756	18,377	2,731	948	2	24.2	65.9	9.8	3.4
	二宮町	24,859	6,775	16,345	1,739	532	0	27.3	65.8	7.0	2.1
	神奈川県	6,397,748	1,632,021	4,424,772	337,305	101,146	3,650	25.5	69.2	5.3	1.6
昭和55年	管内計	267,884	68,527	180,162	19,176	6,492	19	25.6	67.3	7.2	2.4
	平塚市	211,560	54,481	143,188	13,874	4,649	17	25.8	67.7	6.6	2.2
	伊勢原市	29,566	7,020	19,417	3,127	1,098	2	23.7	65.7	10.6	3.7
	二宮町	26,758	7,026	17,557	2,175	745	0	26.3	65.6	8.1	2.8
	神奈川県	6,883,651	1,720,348	4,731,491	428,162	135,608	3,650	25.0	68.7	6.2	2.0
昭和60年	管内計	287,582	66,326	197,753	23,424	8,558	79	23.1	68.8	8.1	3.0
	平塚市	227,638	52,940	157,524	17,103	6,174	71	23.3	69.2	7.5	2.7
	大磯町	31,074	6,623	20,762	3,684	1,412	5	21.3	66.8	11.9	4.5
	二宮町	28,870	6,763	19,467	2,637	972	3	23.4	67.4	9.1	3.4
	神奈川県	7,349,993	1,622,658	5,187,620	514,020	183,853	25,695	22.1	70.6	7.0	2.5
平成2年	管内計	306,964	55,813	220,962	30,080	11,547	109	18.2	72.0	9.8	3.8
	平塚市	245,950	45,445	178,114	22,313	8,419	78	18.5	72.4	9.1	3.4
	大磯町	31,599	5,222	21,994	4,361	1,821	22	16.5	69.6	13.8	5.8
	二宮町	29,415	5,146	20,854	3,406	1,307	9	17.5	70.9	11.6	4.4
	神奈川県	7,910,382	1,408,088	5,823,321	675,579	256,992	3,394	17.8	73.6	8.5	3.2
平成7年	管内計	316,816	50,106	229,885	36,716	14,486	109	15.8	72.6	11.6	4.6
	平塚市	253,951	41,047	185,514	27,312	10,562	78	16.2	73.1	10.8	4.2
	大磯町	32,296	4,514	22,587	5,173	2,224	22	14.0	69.9	16.0	6.9
	二宮町	30,569	4,545	21,784	4,231	1,700	9	14.9	71.3	13.8	5.6
	神奈川県	8,238,840	1,250,044	6,091,411	871,804	323,770	25,581	15.2	73.9	10.6	3.9
平成12年	管内計	317,239	45,310	226,600	45,305	17,811	24	14.3	71.4	14.3	5.6
	平塚市	253,803	37,063	182,706	34,010	13,275	24	14.6	72.0	13.4	5.2
	大磯町	32,327	3,947	22,368	6,012	2,510	0	12.2	69.2	18.6	7.8
	二宮町	31,109	4,300	21,526	5,283	2,026	0	13.8	69.2	17.0	6.5
	神奈川県	8,446,174	1,191,311	6,130,079	1,117,742	414,422	7,042	14.1	72.6	13.2	4.9
平成17年	管内計	320,140	43,571	219,940	56,587	23,604	42	13.6	68.7	17.7	7.4
	平塚市	257,251	35,598	178,622	43,025	17,815	6	13.8	69.4	16.7	6.9
	大磯町	32,534	3,905	21,474	7,124	3,160	31	12.0	66.0	21.9	9.7
	二宮町	30,355	4,068	19,844	6,438	2,629	5	13.4	65.4	21.2	8.7
	神奈川県	8,748,731	1,195,834	6,121,210	1,416,942	566,450	14,745	13.7	70.0	16.2	6.5
平成22年	管内計	322,551	42,441	208,041	71,785	30,247	284	13.2	64.5	22.3	9.4
	平塚市	260,085	34,772	169,891	55,373	23,065	49	13.4	65.3	21.3	8.9
	大磯町	32,785	4,037	20,186	8,537	3,766	25	12.3	61.6	26.0	11.5
	二宮町	29,681	3,632	17,964	7,875	3,416	210	12.2	60.5	26.5	11.5
	神奈川県	9,008,132	1,198,085	5,986,690	1,784,794	754,686	38,563	13.3	66.5	19.8	8.4
平成24年	管内計	322,429	41,510	206,773	74,011	32,880	135	12.9	64.1	23.0	10.2
	平塚市	260,149	33,986	169,218	56,855	25,010	90	13.1	65.0	21.9	9.6
	大磯町	32,935	4,067	19,810	9,037	4,155	21	12.3	60.1	27.4	12.6
	二宮町	29,345	3,457	17,745	8,119	3,715	24	11.8	60.5	27.7	12.7
	神奈川県	9,060,257	1,182,523	5,957,088	1,868,418	839,115	52,228	13.1	65.7	20.6	9.3
平成25年	管内計	321,131	40,859	202,611	77,526	34,804	135	12.7	63.1	24.1	10.8
	平塚市	259,179	33,464	166,018	59,607	26,523	90	12.9	64.1	23.0	10.2
	大磯町	32,688	4,005	19,252	9,410	4,348	21	12.3	58.9	28.8	13.3
	二宮町	29,264	3,390	17,341	8,509	3,933	24	11.6	59.3	29.1	13.4
	神奈川県	9,072,533	1,176,417	5,890,458	1,953,430	883,070	52,228	13.0	65.3	21.7	9.7

※昭和45~50年は総務庁統計局「国勢調査」、昭和55~平成24年は県統計センター「神奈川県年齢別人口統計調査」より。

区分		年齢構造指数				(参考)
		従属人口指数	年少人口指数	老年人口指数	老年化指数	10月1日現在人口
昭和45年	総数	42.8	34.7	8.1	23.3	211,475
	平塚市	41.6	34.2	7.4	21.5	163,671
	大磯町	46.0	34.0	12.0	35.4	26,154
	二宮町	48.2	39.3	9.0	22.8	21,650
	神奈川県	39.8	33.3	6.5	19.7	5,472,247
昭和50年	総数	47.2	38.0	9.2	24.2	248,360
	平塚市	46.0	37.7	8.2	21.8	195,635
	大磯町	51.6	36.8	14.9	40.4	27,866
	二宮町	52.1	41.4	10.6	25.7	24,859
	神奈川県	44.5	36.9	7.6	20.7	6,397,748
昭和55年	総数	48.7	38.0	10.6	28.0	271,445
	平塚市	47.7	38.0	9.7	25.5	214,293
	大磯町	52.3	36.2	16.1	44.5	29,931
	二宮町	52.4	40.0	12.4	31.0	27,221
	神奈川県	45.4	36.4	9.0	24.9	6,924,348
昭和60年	総数	45.4	33.5	11.8	35.3	290,137
	平塚市	44.5	33.6	10.9	32.3	229,990
	大磯町	49.6	31.9	17.7	55.6	31,211
	二宮町	48.3	34.7	13.5	39.0	28,936
	神奈川県	41.2	31.3	9.9	31.7	7,431,974
平成2年	総数	38.9	25.3	13.6	53.9	306,964
	平塚市	38.0	25.5	12.5	49.1	245,950
	大磯町	43.6	23.7	19.8	83.5	31,599
	二宮町	41.0	24.7	16.3	66.2	29,415
	神奈川県	35.8	24.2	11.6	48.0	7,980,391
平成7年	総数	37.8	21.8	16.0	73.3	316,683
	平塚市	36.8	22.1	14.7	66.5	253,822
	大磯町	42.9	20.0	22.9	114.6	32,285
	二宮町	40.3	20.9	19.4	93.1	30,576
	神奈川県	34.8	20.5	14.3	69.7	8,245,900
平成12年	総数	40.0	20.0	20.0	100.0	317,692
	平塚市	38.9	20.3	18.6	91.8	254,630
	大磯町	44.5	17.6	26.9	152.3	32,261
	二宮町	44.5	20.0	24.5	122.9	30,801
	神奈川県	37.7	19.4	18.2	93.8	8,489,932
平成17年	総数	45.5	19.8	25.7	129.9	321,878
	平塚市	44.0	19.9	24.1	120.9	259,017
	大磯町	51.4	18.2	33.2	182.4	32,598
	二宮町	52.9	20.5	32.4	158.3	30,263
	神奈川県	42.7	19.5	23.1	118.5	8,790,900
平成22年	総数	54.9	20.4	34.5	169.1	323,338
	平塚市	53.1	20.5	32.6	159.2	260,776
	大磯町	62.3	20.0	42.3	211.5	33,038
	二宮町	64.1	20.2	43.8	216.8	29,524
	神奈川県	49.8	20.0	29.8	149.0	9,049,500
平成24年	総数	55.9	20.1	35.8	178.3	322,651
	平塚市	53.7	20.1	33.6	167.3	259,371
	大磯町	66.1	20.5	45.6	222.2	32,748
	二宮町	65.2	19.5	45.8	234.9	29,305
	神奈川県	51.2	19.9	31.4	158.0	9,072,133
平成25年	総数	58.4	20.2	38.3	189.7	319,784
	平塚市	56.1	20.2	35.9	178.1	258,252
	大磯町	69.7	20.8	48.9	235.0	32,496
	二宮町	68.6	19.5	49.1	251.0	29,036
	神奈川県	53.1	20.0	33.2	166.0	9,081,742

(10月1日現在人口は、昭和45年～平成7年まで総務庁統計局「国勢調査」、平成12年～平成25年まで県統計センター「神奈川県の人口と世帯」より。)



※従属人口指数…生産年齢人口に対する年少人口と老年人口の比率。
 ※年少人口指数…生産年齢人口に対する年少人口の比率。
 ※老年人口指数…生産年齢人口に対する老年人口の比率。
 ※老年化指数…年少人口に対する老年人口の比率。

3 衛生統計(平成24年)

(1) 年次別人口動態件数・率(管内)

区分	出生				死亡			
	総数	男	女	率	総数	男	女	率
昭和55年	3,816	2,019	1,797	14.1	1,245	654	591	4.6
昭和60年	3,257	1,689	1,568	11.2	1,442	777	665	5.0
平成2年	2,881	1,498	1,383	9.4	1,658	914	744	5.4
平成7年	2,896	1,491	1,405	9.1	1,955	1,044	911	6.2
平成12年	2,786	1,381	1,405	8.8	2,076	1,168	908	6.5
平成17年	2,557	1,295	1,262	7.9	2,454	1,396	1,058	7.6
平成18年	2,637	1,332	1,305	8.2	2,393	1,311	1,082	7.4
平成19年	2,610	1,382	1,228	8.1	2,472	1,346	1,126	7.7
平成20年	2,546	1,262	1,284	7.9	2,552	1,377	1,175	7.9
平成21年	2,485	1,251	1,234	7.7	2,636	1,416	1,220	8.2
平成22年	2,469	1,253	1,216	7.6	2,698	1,469	1,229	8.3
平成23年	2,318	1,170	1,148	7.2	2,948	1,597	1,351	9.1
平成24年	2,286	1,162	1,124	7.1	2,829	1,508	1,321	8.8
区分	乳児死亡				新生児死亡			
	総数	男	女	率	総数	男	女	率
昭和55年	27	13	14	7.1	18	10	8	4.7
昭和60年	14	10	4	4.3	13	9	4	4.0
平成2年	13	5	8	4.5	9	4	5	3.1
平成7年	16	5	11	5.5	9	2	7	3.1
平成12年	11	7	4	3.9	8	5	3	2.9
平成17年	9	6	3	3.5	6	4	2	2.3
平成18年	4	2	2	1.5	0	0	0	0.0
平成19年	7	2	5	2.7	2	0	2	0.8
平成20年	5	1	4	2.0	3	0	3	1.2
平成21年	3	2	1	1.2	1	1	0	0.4
平成22年	5	4	1	2.0	4	3	1	1.6
平成23年	6	4	2	2.6	2	1	1	0.9
平成24年	3	1	2	1.3	3	1	2	1.3
区分	死産		周産期死亡		婚姻		離婚	
	総数	率	総数	率	総数	率	総数	率
昭和55年	131	33.2			1,825	6.7	361	1.3
昭和60年	113	33.5			1,695	5.8	437	1.3
平成2年	101	33.9			1,827	6.0	441	1.0
平成7年	67	22.6	21	7.2	1,978	6.2	510	1.6
平成12年	90	31.3	19	6.8	1,994	6.3	660	2.1
平成17年	62	23.7	13	5.1	1,862	5.8	657	2.0
平成18年	69	25.5	17	6.4	1,819	5.6	609	1.9
平成19年	86	31.9	18	6.7	1,722	5.3	665	2.1
平成20年	59	22.6	6	2.4	1,653	5.1	646	2.0
平成21年	55	21.7	6	2.4	1,671	5.2	623	1.9
平成22年	63	24.9	12	4.7	1,532	4.7	633	2.0
平成23年	68	28.5	10	4.2	1,499	4.6	621	1.9
平成24年	47	20.1	4	1.7	1,522	4.7	618	1.9

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より)

※ 人口動態統計データは、厚生労働省公表データが出典資料となるため、公表時期の関係から、平成24年の統計数値を掲載しています。

※ 乳児死亡率、新生児死亡率は出生千対、死産率、周産期死亡率は出産(出生+死産)千対、その他は人口(各年10月現在)千対率。

※ 死産の総数には不詳を含みます。

(2) 管内市町別人口動態件数・率

(平成24年)

区分	出生				死亡			
	総数	男	女	率	総数	男	女	率
管内	2,286	1,162	1,124	7.1	2,829	1,508	1,321	8.8
平塚市	1,917	978	939	7.4	2,223	1,175	1,048	8.6
大磯町	185	81	104	5.6	339	181	158	10.4
二宮町	184	103	81	6.3	267	152	115	9.1
神奈川県	75,477	38,710	36,767	8.3	71,996	39,450	32,546	7.9

区分	乳児死亡				新生児死亡			
	総数	男	女	率	総数	男	女	率
管内	3	1	2	1.3	3	1	2	1.3
平塚市	3	1	2	1.6	3	1	2	1.6
大磯町	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
二宮町	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
神奈川県	174	101	73	2.3	91	59	32	1.2

区分	死産		周産期死亡		婚姻		離婚	
	総数	率	総数	率	総数	率	総数	率
管内	47	20.1	4	1.7	1,522	4.7	618	1.9
平塚市	42	21.4	4	2.1	1,291	5.0	526	2.0
大磯町	2	10.7	0	0.0	114	3.5	60	1.8
二宮町	3	16.0	0	0.0	117	4.0	32	1.1
神奈川県	1,588	20.6	304	4.0	51,530	5.7	16,812	1.9

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

※ 乳児死亡率、新生児死亡率は出生千対、死産率、周産期死亡率は出産(出生+死産)千対、
 その他は人口千対率。
 死産の総数には、不詳を含みます。

(3) 出生

ア 性別・月別出生数

(平成24年)

区 分	総 数			1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月	
	総数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管 内	2,286	1,162	1,124	115	106	91	86	111	97	86	86	89	92	104	85
平 塚 市	1,917	978	939	99	88	76	76	96	82	71	70	77	77	88	75
大 磯 町	185	81	104	7	9	6	7	8	5	6	7	4	12	7	6
二 宮 町	184	103	81	9	9	9	3	7	10	9	9	8	3	9	4

区 分	7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管 内	95	105	109	94	83	98	103	88	82	89	94	98
平 塚 市	75	85	90	80	72	80	91	70	66	74	77	82
大 磯 町	9	10	7	8	5	10	5	11	7	10	10	9
二 宮 町	11	10	12	6	6	8	7	7	9	5	7	7

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

イ 妊娠期間別出生数

区 分	総 数	満28週 未 満	満28～ 31週	満32～ 35週	満36～ 39週	満40～ 43週	満44週 以 上	不 詳
管 内	2,286	7	15	61	1,561	642	0	0
平 塚 市	1,917	4	15	52	1,301	545	0	0
大 磯 町	185	3	0	3	129	50	0	0
二 宮 町	184	0	0	6	131	47	0	0

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

(4) 死亡

ア 性別・月別死亡数

(平成24年)

区分	総数			1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	総数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管内	2,829	1,508	1,321	153	139	126	119	116	95	133	111	97	109	97	87
平塚市	2,223	1,175	1,048	119	108	102	96	91	83	104	85	70	88	75	68
大磯町	339	181	158	20	24	15	11	12	5	18	15	12	13	16	11
二宮町	267	152	115	14	7	9	12	13	7	11	11	15	8	6	8

区分	7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管内	123	113	115	102	136	99	132	108	128	126	152	113
平塚市	98	87	86	82	104	70	109	84	103	99	114	98
大磯町	11	13	21	8	20	19	9	18	12	15	15	6
二宮町	14	13	8	12	12	10	14	6	13	12	23	9

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

イ 主要死因別死亡数・死亡率(全数)

(平成24年)

区分	死亡総数		(第1位)			(第2位)		
	数	死亡率	死因	数	死亡率	死因	数	死亡率
管内	2,829	8.8	悪性新生物	884	2.8	心疾患	439	1.4
平塚市	2,223	8.6	悪性新生物	710	2.7	心疾患	353	1.4
大磯町	339	10.4	悪性新生物	84	2.6	心疾患	45	1.4
二宮町	267	9.1	悪性新生物	90	3.1	心疾患	41	1.4

区分	(第3位)			(第4位)		
	死因	数	死亡率	死因	数	死亡率
管内	脳血管疾患	269	0.8	肺炎	258	0.8
平塚市	脳血管疾患	209	0.8	肺炎	201	0.8
大磯町	老衰	35	1.1	脳血管疾患	31	1.0
二宮町	脳血管疾患	29	1.0	肺炎	26	0.9

区分	(第5位)			(第6位)		
	死因	数	死亡率	死因	数	死亡率
管内	老衰	146	0.5	不慮の事故	99	0.3
平塚市	老衰	99	0.4	不慮の事故	77	0.3
大磯町	肺炎	31	0.9	不慮の事故	12	0.4
二宮町	老衰	12	0.4	不慮の事故	10	0.3

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

※死亡率は人口千対。心疾患は高血圧性を除く。

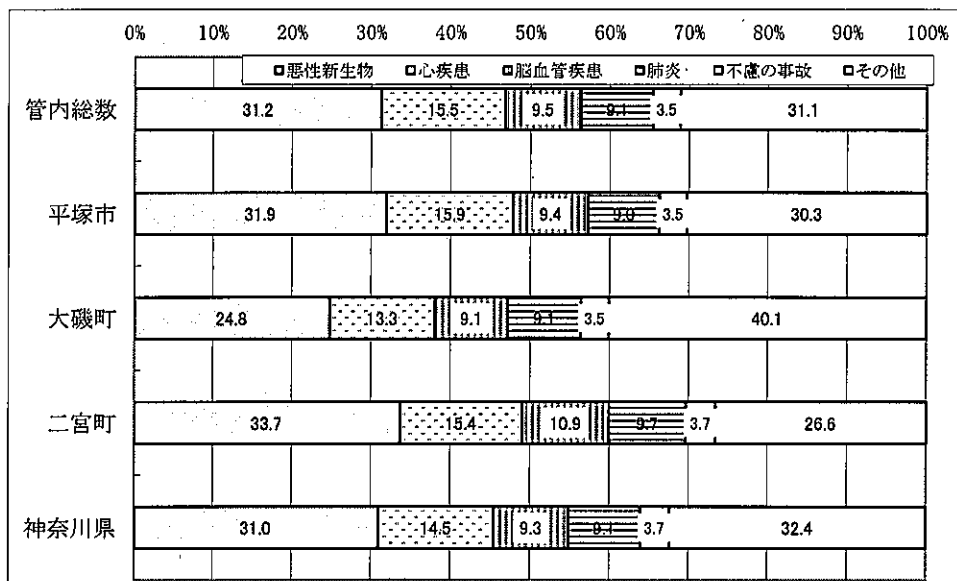
ウ 主要死因の年次推移（管内）

区分	死亡総数	(第1位)	(第2位)	(第3位)	(第4位)	(第5位)	(第6位)
昭和50年	1,174	脳血管疾患	悪性新生物	心疾患	肺炎及び 気管支炎	老衰	高血圧性 疾患
		280	233	173	59	42	35
昭和55年	1,245	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎及び 気管支炎	老衰	自殺
		291	286	219	60	39	35
昭和60年	1,442	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎及び 気管支炎	自殺	老衰
		338	278	269	108	48	44
平成2年	1,658	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎及び 気管支炎	肝硬変及び 肝炎	自殺
		412	341	234	175	54	45
平成7年	1,955	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎及び 気管支炎	腎不全	肝疾患
		605	325	308	151	48	45
平成12年	2,076	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎	不慮の事故	自殺
		688	309	281	224	71	59
平成17年	2,454	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺
		781	368	305	233	69	64
平成18年	2,393	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故
		822	312	292	192	78	75
平成19年	2,472	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	老衰
		849	323	273	213	90	80
平成20年	2,552	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	老衰
		844	357	271	251	97	81
平成21年	2,636	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故
		829	383	264	261	98	79
平成22年	2,698	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故
		866	402	276	242	95	78
平成23年	2,948	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故
		936	422	280	262	99	93
平成24年	2,829	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故
		884	439	269	258	146	99

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

※心疾患は高血圧性をのぞく。

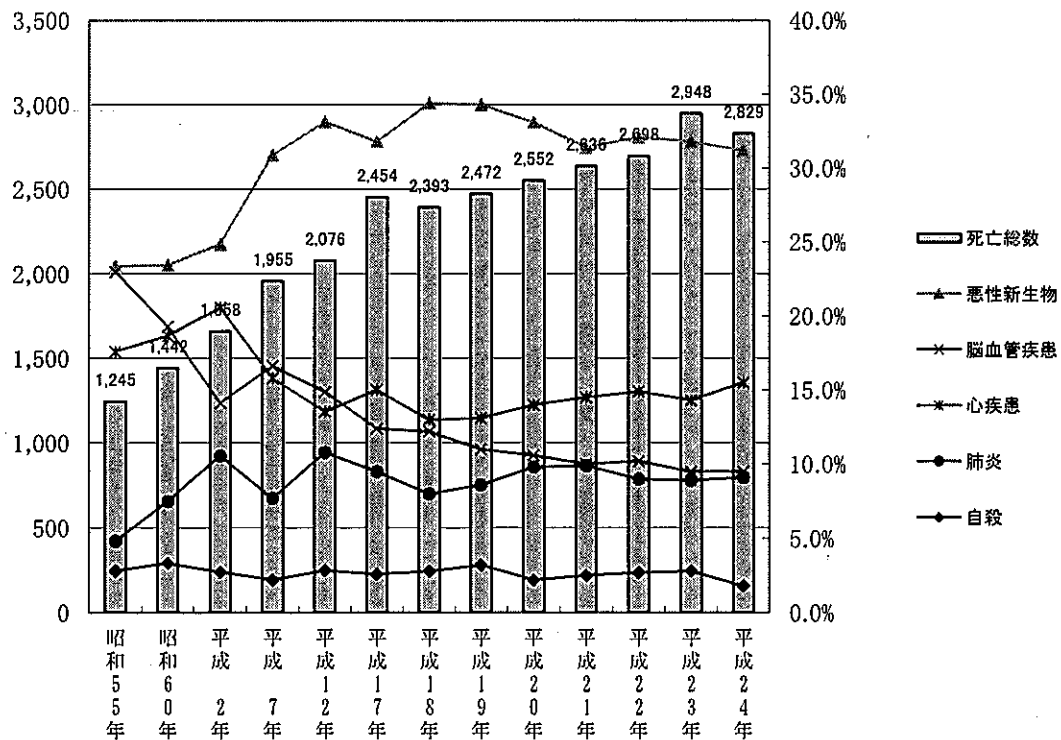
<死亡数全体に占める主要死因の割合 平成24年>



エ 主要死因による死亡者数及び全死因に占める割合の推移

(人)

区分	死亡総数	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎	自殺
昭和55年	1,245	291 (23.4%)	286 (23.0%)	219 (17.6%)	60 (4.8%)	35 (2.8%)
昭和60年	1,442	338 (23.4%)	278 (19.3%)	269 (18.7%)	108 (7.5%)	48 (3.3%)
平成2年	1,658	412 (24.8%)	234 (14.1%)	341 (20.6%)	175 (10.6%)	45 (2.7%)
平成7年	1,955	605 (30.9%)	325 (16.6%)	308 (15.8%)	151 (7.7%)	43 (2.2%)
平成12年	2,076	688 (33.1%)	309 (14.9%)	281 (13.5%)	224 (10.8%)	59 (2.8%)
平成17年	2,454	781 (31.8%)	305 (12.4%)	368 (15.0%)	233 (9.5%)	64 (2.6%)
平成18年	2,393	822 (34.4%)	292 (12.2%)	312 (13.0%)	192 (8.0%)	67 (2.8%)
平成19年	2,472	849 (34.3%)	273 (11.0%)	323 (13.1%)	213 (8.6%)	79 (3.2%)
平成20年	2,552	844 (33.1%)	271 (10.6%)	357 (14.0%)	251 (9.8%)	56 (2.2%)
平成21年	2,636	829 (31.4%)	264 (10.0%)	383 (14.5%)	261 (9.9%)	67 (2.5%)
平成22年	2,698	866 (32.1%)	276 (10.2%)	402 (14.9%)	242 (9.0%)	72 (2.7%)
平成23年	2,948	936 (31.8%)	280 (9.5%)	422 (14.3%)	262 (8.9%)	82 (2.8%)
平成24年	2,829	884 (31.2%)	269 (9.5%)	439 (15.5%)	258 (9.1%)	51 (1.8%)



オ 悪性新生物による部位別死亡者数

(平成24年)

部 位 名		平塚市	大磯町	二宮町	管内計		神奈川県
					人数	割合	
悪性新生物	総数	710	84	90	884	100.0%	22,302
	男	412	50	50	512	100.0%	13,565
	女	298	34	40	372	100.0%	8,737
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	総数	14	0	1	15	1.7%	493
	男	10	0	1	11	2.1%	379
	女	4	0	0	4	1.1%	114
食道の悪性新生物	総数	30	0	2	32	3.6%	866
	男	26	0	2	28	5.5%	727
	女	4	0	0	4	1.1%	139
胃の悪性新生物	総数	90	16	19	125	14.1%	2,976
	男	60	12	13	85	16.6%	2,019
	女	30	4	6	40	10.8%	957
結腸の悪性新生物	総数	73	10	12	95	10.7%	2,078
	男	32	4	3	39	7.6%	1,058
	女	41	6	9	56	15.1%	1,020
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	総数	45	2	5	52	5.9%	978
	男	29	1	2	32	6.3%	643
	女	16	1	3	20	5.4%	335
肝及び肝内胆管の悪性新生物	総数	46	4	5	55	6.2%	1,739
	男	31	3	5	39	7.6%	1,136
	女	15	1	0	16	4.3%	603
胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	総数	35	3	2	40	4.5%	977
	男	17	0	0	17	3.3%	532
	女	18	3	2	23	6.2%	445
膝の悪性新生物	総数	61	10	9	80	9.0%	1,828
	男	31	5	3	39	7.6%	975
	女	30	5	6	41	11.0%	853
喉頭の悪性新生物	総数	3	0	0	3	0.3%	54
	男	3	0	0	3	0.6%	52
	女	0	0	0	0	0.0%	2
気管、気管支及び肺の悪性新生物	総数	104	17	12	133	15.0%	4,221
	男	75	11	9	95	18.6%	3,035
	女	29	6	3	38	10.2%	1,186
皮膚の悪性新生物	総数	5	0	0	5	0.6%	102
	男	3	0	0	3	0.6%	54
	女	2	0	0	2	0.5%	48
乳房の悪性新生物	総数	41	3	6	50	5.7%	946
	男	0	0	0	0	0.0%	7
	女	41	3	6	50	13.4%	939
子宮の悪性新生物	総数(女)	14	0	1	15	4.0%	388
卵巣の悪性新生物	総数(女)	14	1	1	16	4.3%	329
前立腺の悪性新生物	総数(男)	27	5	4	36	7.0%	694
膀胱の悪性新生物	総数	12	2	1	15	1.7%	464
	男	10	1	0	11	2.1%	322
	女	2	1	1	4	1.1%	142
中枢神経系の悪性新生物	総数	5	1	0	6	0.7%	122
	男	3	1	0	4	0.8%	70
	女	2	0	0	2	0.5%	52
悪性リンパ腫	総数	22	1	4	27	3.1%	688
	男	14	1	4	19	3.7%	418
	女	8	0	0	8	2.2%	270
白血病	総数	14	1	2	17	1.9%	456
	男	11	0	0	11	2.1%	290
	女	3	1	2	6	1.6%	166
その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	総数	6	1	0	7	0.8%	243
	男	2	0	0	2	0.4%	129
	女	4	1	0	5	1.3%	144
その他の悪性新生物	総数	49	7	4	60	6.8%	1,660
	男	28	6	4	38	7.4%	1,025
	女	21	1	0	22	5.9%	635

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

管内について、男女別でみると、悪性新生物による死亡者数全体のうち、男性の占める割合は57.9%、女性は42.1%で、男性が女性を上回っている。

男性

順位	部 位	人 数	割 合
1	気管、気管支及び肺	95	18.6%
2	胃	85	16.6%
3	結 腸	39	7.6%
	肝及び肝内胆管	39	7.6%
	膵	39	7.6%
6	前立腺	36	7.0%
7	直腸S状結腸移行部及び直腸	32	6.3%
8	食 道	28	5.5%
9	悪性リンパ腫	19	3.7%
10	胆のう及びその他の胆道	17	3.3%
11	口唇口腔及び咽頭	11	2.1%
	膀 胱	11	2.1%
	白 血 病	11	2.1%
14	中枢神経系	4	0.8%
15	喉 頭	3	0.6%
	皮 膚	3	0.6%
17	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	2	0.4%
	その他	38	7.4%
計		512	100.0%

女性

順位	部 位	人 数	割 合
1	結 腸	56	15.1%
2	乳 房	50	13.4%
3	膵	41	11.0%
4	胃	40	10.8%
5	気管、気管支及び肺	38	10.2%
6	胆のう及びその他の胆道	23	6.2%
7	直腸S状結腸移行部及び直腸	20	5.4%
8	肝及び肝内胆管	16	4.3%
	卵 巢	16	4.3%
10	子 宮	15	4.0%
11	悪性リンパ腫	8	2.2%
12	白 血 病	6	1.6%
13	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	5	1.3%
14	口唇口腔及び咽頭	4	1.1%
	食 道	4	1.1%
	膀 胱	4	1.1%
17	皮 膚	2	0.5%
	中枢神経系	2	0.5%
	その他	22	5.9%
計		372	100.0%

カ 管内の悪性新生物を死因とする死亡者数の推移（部位別）

(人)

	気管、気管支及び肺	胃	結腸	膵	肝及び肝内胆管	乳房	胆のう及びその他の胆道	直腸S状結腸移行部及び直腸	前立腺	食道
H15	119	136	59	59	67	25	26	30	27	25
H16	135	123	78	50	65	44	33	31	22	29
H17	121	149	72	44	79	26	29	37	30	36
H18	144	136	78	47	82	31	33	38	28	32
H19	145	148	70	60	66	35	38	36	22	35
H20	166	114	79	58	81	32	43	43	18	32
H21	137	132	76	62	75	26	48	30	24	32
H22	167	124	87	81	53	30	38	39	34	30
H23	156	141	92	72	65	52	49	39	29	28
H24	133	125	95	80	55	50	40	52	36	32

県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より

キ 各種がん検診の受診率

(平成24年度)

		胃がん		肺がん		大腸がん		子宮がん	乳がん
		受診率		受診率		受診率		受診率	受診率
平塚市	男	7.1%	5.7%	31.1%	28.0%	9.1%	8.1%	27.5%	15.1%
	女	4.9%		26.3%		7.6%			
大磯町	男	10.4%	7.7%	33.5%	30.4%	33.1%	31.3%	12.7%	15.6%
	女	6.1%		28.6%		30.2%			
二宮町	男	2.2%	2.3%	24.8%	27.4%	22.4%	25.0%	9.2%	12.7%
	女	2.3%		30.1%		27.0%			
神奈川県			5.4%		13.9%		16.8%	21.6%	17.6%

※「平成24年度地域保健・健康増進事業報告」（各市町報告及び厚生労働省）。

・対象、検診

- 胃がん 40歳以上・問診及び胃部エックス線検査
- 肺がん 40歳以上・胸部エックス線検査
- 大腸がん 40歳以上・問診及び便潜血検査
- 子宮がん 20歳以上・頸部検診
- 乳がん 40歳以上・視触診方式及びマンモグラフィ

・受診率

胃がん、肺がん及び大腸がん

受診者数／対象者数

子宮がん及び乳がん

(前年度の受診者数＋当年度の受診者数－2年連続の受診者数)／当年度の対象者数

ク 年次別乳児死亡数

区分	昭和45年		昭和50年		昭和55年		昭和60年		平成2年	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
管内	49	10.5	41	8.7	27	7.1	14	4.3	13	4.5
平塚市	42	11.2	35	9.2	21	6.7	12	4.5	11	4.6
大磯町	2	4.3	2	4.3	4	11.8	1	3.4	0	0.0
二宮町	5	10.8	4	9.4	2	5.6	1	3.3	2	7.4

区分	平成7年		平成12年		平成15年		平成18年		平成19年	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
管内	16	5.5	11	3.9	12	4.5	4	1.5	7	2.7
平塚市	15	6.2	11	3.9	9	3.9	4	1.8	6	2.8
大磯町	0	0.0	0	0.0	1	5.4	0		1	4.4
二宮町	1	3.6	0	7.9	2	9.1	0	0.0	0	0.0

区分	平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
管内	5	2.0	3	1.2	5	2.0	6	2.6	3	1.3
平塚市	3	1.4	2	0.9	5	2.4	5	2.6	3	1.6
大磯町	1	4.3	1	5.2	0	0.0	1	4.8	0	0.0
二宮町	1	5.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より)
 ※乳児死亡率=年間乳児死亡数/年間出生数*1,000

月別婚姻数

(平成24年)

区分	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
管内	1,522	110	140	162	120	111	112	136	112	92	107	148	172
平塚市	1,291	97	123	135	97	92	95	115	97	83	86	125	146
大磯町	114	6	11	11	10	10	7	11	7	6	8	11	16
二宮町	117	7	6	16	13	9	10	10	8	3	13	12	10

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より)

(5) 離婚

月別離婚数

(平成24年)

区分	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
管内	618	51	56	62	53	45	44	50	56	36	59	59	47
平塚市	526	46	45	55	46	37	37	39	51	29	51	49	41
大磯町	60	2	6	2	5	7	5	5	3	7	7	6	5
二宮町	32	3	5	5	2	1	2	6	2	0	1	4	1

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より)

(6) 人工妊娠中絶

人工妊娠中絶実施件数

(平成25年度)

区分	総数	20歳未満	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50歳以上
総数	338	49	71	59	54	65	37	3	0
満7週以前	146	28	28	17	21	35	16	1	0
満8~11週	186	20	42	41	33	30	18	2	0
満12~15週	2	0	1	0	0	0	1	0	0
満16~19週	3	1	0	1	0	0	1	0	0
満20~21週	1	0	0	0	0	0	1	0	0

(平塚保健福祉事務所調べ。)

4 市町における健康診査実施状況

(1) 母子保健関係

ア 4か月児健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	問題なし
合計	2,278	2,210 (97.0)	1,937
平塚市	1,899	1,842 (97.0)	1,624
大磯町	207	201 (97.1)	163
二宮町	172	167 (97.1)	150

区分	要精検・要医療・要観察の内訳 (延人数)									合計
	発達問題	体重増加・発育	眼科疾患・視覚	耳鼻疾患・聴覚	呼吸器循環器	整形外科疾患	皮膚疾患	泌尿器科疾患	その他	
合計	14	11	4	1	3	17	39	8	14	111
平塚市	8	9	2		2	10	34	6	3	74
大磯町	5	1		1	1	4	4	2	10	28
二宮町	1	1	2			3	1		1	9

イ 1歳6か月児健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	問題なし
合計	2,431	2,247 (92.4)	2,001
平塚市	2,055	1,888 (91.9)	1,738
大磯町	197	185 (93.9)	143
二宮町	179	174 (97.2)	120

区分	要精検・要医療・要観察の内訳 (延人数)										
	発達問題	発育問題	眼科疾患・視覚	耳鼻疾患・聴覚	呼吸器循環器	整形外科疾患	皮膚疾患	腎疾患	その他	精神面	合計
合計	4	13	2	0	1	3	3	8	2	235	271
平塚市	3	10	1			1	3	3	2	160	183
大磯町	1	2				1		2		25	31
二宮町		1	1		1	1		3		50	57

ウ 3歳児健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	問題なし
合計	2,527	2,352 (93.1)	2,070
平塚市	2,079	1,938 (93.2)	1,713
大磯町	256	236 (92.2)	206
二宮町	192	178 (92.7)	151

区分	要精検・要医療・要観察の内訳(延人数)										
	発達問題	発育問題	眼科疾患 ・視覚	耳鼻疾患 ・聴覚	呼吸器 循環器	整形外科 疾患	皮膚疾患	尿検査・ 腎疾患	その他	精神面	合計
合計	0	15	4	0	2	2	1	23	0	120	167
平塚市		15	4		2	2	1	17		97	138
大磯町										5	5
二宮町							6			18	24

(2) 歯科保健関係

ア 1歳6か月児歯科健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	う蝕り 患者数 (率)	う蝕の型別分類(内訳)				う蝕総数	一人平均 う蝕数
				A型	B型	C ₁ 型	C ₂ 型		
合計	2,431	2,247 (92.4)	41 (1.8)	34	4	1	2	94	0.04
平塚市	2,055	1,888 (91.9)	39 (2.1)	32	4	1	2	91	0.05
大磯町	197	185 (93.9)	1 (0.5)	1				1	0.01
二宮町	179	174 (97.2)	1 (0.6)	1				2	0.01

イ 2歳児歯科健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	う蝕り 患者数 (率)	う蝕の型別分類(内訳)				う蝕総数	一人平均 う蝕数
				A型	B型	C ₁ 型	C ₂ 型		
合計	2,442	1,453 (59.5)	67 (4.6)	55	9	2	1	178	0.12
平塚市	2,042	1,086 (53.2)	45 (4.1)	36	7	2		117	0.11
大磯町	230	201 (87.4)	12 (6.0)	11	1			20	0.10
二宮町	170	166 (97.6)	10 (6.0)	8	1		1	41	0.25

ウ 3歳児歯科健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	う蝕り 患者数 (率)	う蝕の型別分類(内訳)				
				A型	B型	C ₁ 型	C ₂ 型	D型 (再掲)
合計	2,527	2,352 (93.1)	368 (15.6)	276	72	5	15	66
平塚市	2,079	1,938 (93.2)	310 (16.0)	232	59	5	14	57
大磯町	256	236 (92.2)	38 (16.1)	31	7			6
二宮町	192	178 (92.7)	20 (11.2)	13	6		1	3

区分	う歯総数	う歯の状況		一人平均 う歯数
		未処置歯 数	処置歯数	
合計	1,247	979	268	0.53
平塚市	1,054	867	187	0.54
大磯町	132	67	65	0.56
二宮町	61	45	16	0.34

(注) う蝕の型別分類

- A 型: 上顎乳前歯部のみ又は乳臼歯部にのみう蝕がある者
- B 型: 上顎乳前歯部及び乳臼歯部にう蝕がある者
- C₁型: 下顎乳前歯部にのみう蝕がある者
- C₂型: 下顎乳前歯部と他部位にう蝕がある者
- D 型: 6本以上う蝕がある者(神奈川県独自の分類で、重度う蝕児として再掲する。)

5 各種委員会委員

(1) 湘南西地区保健医療福祉推進会議委員

<企画調整課>

区 分	氏 名	所属機関名	役職名
医 療 関 係 団 体	武川 慶孝	(社)平塚市医師会	会長
	安部 信三	(社)秦野伊勢原医師会	会長
	山田 眞一	(社)中郡医師会	会長
	荒井 正博	(社)平塚歯科医師会	会長
	大塚 哲也	(社)秦野伊勢原歯科医師会	会長
	片山 隆博	(社)平塚中郡薬剤師会	会長
	神原 章喜	NPO法人 秦野市薬剤師会	会長
	石塚 英夫	(社)伊勢原市薬剤師会	会長
	石山 直巳	平塚市民病院	病院長
	高畑 武司	伊勢原協同病院	病院長
福 祉 関 係 団 体	金田 和子	(社福)平塚市社会福祉協議会	会長
	諸星 好昭	(社福)秦野市社会福祉協議会	会長
	出縄 守英	(社福)進和学園サンメッセしんわ	総合施設長
	藤村 和静	(社福)常成福祉会	専務理事
	水島 米子	(社福)つちや社会福祉会	理事長
	長本 貞光	(社福)湘南福祉センター	理事長
保 健 医 療 福 祉 関 係 団 体	田中美代子	食生活改善推進団体ママの会	会長
	黒沢 武	平塚労働基準監督署	署長
	神保 正治	平塚市健康・こども部	部長
	栗原 豊	秦野市こども健康部	部長
	鍛代 英雄	伊勢原市保健福祉部	部長
	二挺木 敏行	大磯町町民福祉部	部長
	佐久間 良輔	二宮町健康福祉部	部長
	吉野 雅裕	中教育事務所	所長
保 健 福 祉 事 務 所	竹村 隆夫	平塚保健福祉事務所	所長
	南出 純二	秦野保健福祉事務所	所長

(2) 平塚保健福祉事務所保健福祉サービス連携調整会議

ア 継続看護連絡会 <保健福祉課>

区分	氏名	所属機関	職名等
医療機関	田代 真由美	平塚市民病院	看護部長
	浅沼 絵美		退院後医療相談部長
	石井 美千代		感染管理認定看護師
	橋本 末子	平塚共済病院	看護部長
	川崎 進		感染管理認定看護師
	林 洋子	済生会平塚病院	看護部長
	根津 美保		感染管理認定看護師
	堀本 久美子	くらた病院	看護師長
	木佐木 みな子	研水会平塚病院	看護部長
	五十嵐 範子	研水会高根台病院	看護部長
	広沢 美和子	平塚十全病院	看護部長
	尾田原るい子		企画調整室主幹
	小岩 正子	清風会富士見台病院	看護部長
	錦 織 涼子	ふれあい平塚ホスピタル	看護部長
	藤井 幸子	東海大学医学部附属大磯病院	看護部長
	関 光子	東海大学医学部附属大磯病院 患者支援センター	看護師長
手島 芳江	東海大学医学部附属大磯病院	感染管理認定看護師	
訪問看護ステーション	福岡 知子	しんど訪問看護ステーション	所長
	真間 あけみ	平塚市医師会訪問看護ステーション	所長
	高橋 久美子	医療生協かながわ生活協同組合訪問看護ステーションひらつか	管理者
	三橋 朋美	済生会平塚訪問看護ステーション	所長
	山本 節子	あさひの郷訪問看護ステーション	所長
	齋藤 明子	へいあん訪問看護ステーション	所長
	小浅 恵美	平塚共済病院 訪問看護ステーションさくら	所長
	相田 淑子	特定非営利活動法人KOKORO 訪問看護ステーションひかり	管理者
	鈴木 多加子	サン・ライフ訪問看護ステーション	管理者
	白土 玲子	SMC訪問看護ステーションさなだ	所長
	大谷 一世	ユーマーニング	管理者
	金谷 益子	宝命訪問看護ステーション輝き	看護師
	芹田 三保	つるかめ訪問看護ステーション	管理者
	都築 理絵	神奈川県看護協会おおいそ訪問看護ステーション	所長
	岸 博美	りんどうりハビリ看護ステーション	管理者
	青木 伸也	オリブ訪問看護ステーション・二宮	所長
	岡崎 紗知	さくら訪問看護ステーション	管理者
地域包括支援センター	鈴木 裕子	平塚市地域包括支援センターあさひ	保健師
	水野 美保	平塚市地域包括支援センター倉田会	看護師
	石井 ひろ子	平塚市地域包括支援センターごてん	保健師
	清田 恵美子	平塚市地域包括支援センターサンレジデンス湘南	看護師
	岩田 敏子	平塚市地域包括支援センターとよだ	看護師
	高梨 美喜	平塚市地域包括支援センターひらつかにし	保健師
	尾崎 洋子	平塚市地域包括支援センター富士白苑	保健師
	小峰 和代	平塚市地域包括支援センターゆりのき	主任
	有賀 敦子	大磯町地域包括支援センター	保健師
市 町	西野 邦子	二宮町社会福祉協議会 地域包括支援センター	看護師
	天瀬 聖子	平塚市	健康課
	山崎 礼		高齢福祉課
	原田 浩子		障がい福祉課
	坂田 恭子		保険年金課
	吉田 敏美	大磯町	スポーツ健康課
	永井 知寿子	二宮町	子ども育成課
田代 宏美	保険医療課		
保健福祉事務所	海法 澄子	平塚保健福祉事務所 保健福祉部	部長

イ 難病委員会 <保健予防課>

区分	氏名	所属機関		職名等
医師会	上野 善則	平塚市医師会 理事		理事
	脇 和雄	中郡医師会 副会長		副会長
医療機関	進藤 厚子	平塚市民病院 (3東病棟)		看護師
	綿引 朋子	平塚共済病院 医療連携支援センター		医療ソーシャルワーカー
	朝永 朝子	東海大学医学部付属大磯病院 患者支援センター		医療ソーシャルワーカー
訪問看護 ステーション	齋藤 明子	ひらつか地域介護システム会議 訪問看護連絡会		看護師
	青木 伸也	中郡訪問看護連絡協議会		代表(保健師)
訪問介護	柳田 裕子	ひらつか地域介護システム会議 訪問介護部会		介護福祉士
	井出 佐智子	湘南ウエスト大磯二宮介護保険事業者連絡会 訪問介護部会		代表
居宅介護 支援事業 所	清水 隆子	ひらつか地域介護システム会議 居宅介護支援事業所連絡会		副代表
	二宮 真由美	湘南ウエスト大磯二宮介護保険事業者連絡会		介護支援員専門部会代表幹事
	長谷川 日奈子	湘南ウエスト大磯二宮介護保険事業者連絡会		介護支援員専員
	内田 真理	湘南ウエスト大磯二宮介護保険事業者連絡会		介護支援員専員
地域包括 支援 センター	小峰 和代	平塚市地域包括支援センターゆりのき		主査(看護師)
	有賀 敦子	大磯町地域包括支援センター		保健師
	西野 邦子	二宮町社会福祉協議会 地域包括支援センター		看護師
市 町	原田 浩子	平塚市	障がい福祉課	主査(保健師)
	金野 千帆	平塚市	高齢福祉課	主査(理学療法士)
	吉田 敏美	大磯町	スポーツ健康課	副技幹(保健師)
	波多野 昭雄		福祉課	副主幹
	萩野 真也	二宮町	高齢障がい課	主事
保健福祉 事務所	竹村 隆夫	平塚保健福祉事務所		所長

ウ 母子保健委員会委員名簿 <保健福祉課>

区 分	氏 名	所 属 機 関		職 名 等
医 師 会	近 藤 朗	平塚市医師会		小児科部会員
	尾 形 慶	平塚市医師会		産婦人科部会員
	竹 末 良 三	中郡医師会		理事
歯 科 医 師 会	山 澤 秀 雄	平塚歯科医師会		公衆衛生担当理事
医 療 機 関	前 田 宣 紘	前田産婦人科		院長
	今 城 め ぐ み	前田産婦人科		助産師
	井 澤 佳 奈	前田産婦人科		助産師
	小 清 水 勉	小清水産婦人科クリニック		院長
	日 浦 由 美 子	小清水産婦人科クリニック		助産師
	鶴 原 た み 子	ひまわりレディース&マタニティクリニック		助産師
	竹 埜 格 子	平塚市民病院	産婦人科	看護科長代理兼看護師長
高 橋 光 世	地域医療・患者支援室		医療ソーシャルワーカー	
市 町	二 宮 克 巳	平塚市	健康課	課長
	松 本 奈 美			主管
	大 野 勉		こども家庭課	課長
	木 村 孝 子			主査
	佐 野 慎 治	大磯町	スポーツ健康課	課長
	吉 田 敏 美			副技幹兼係長
	瀬 戸 克 彦		子育て支援課	課長
	角 田 修 代	二宮町	子ども育成課	主査
	松 本 幸 生			課長
	中 館 恵 利 子			主任保健師
児 童 相 談 所	佐 藤 隆 司	中央児童相談所	子ども支援課	課長
	富 岡 順 子			副技幹
学 識 経 験 者	山 本 恒 雄	日本子ども家庭総合研究所		部長
保 健 福 祉 事 務 所	竹 村 隆 夫	平塚保健福祉事務所		所長

エ 地域食生活対策推進協議会 <保健福祉課>

区 分	氏 名	所 属 機 関 名	職 名 等
医 師 会	高田 一太郎	平塚市医師会	産業保健担当理事
歯 科 医 師 会	小川 哲史	平塚歯科医師会	学校保健担当理事
労 働 衛 生	廣 澤 正子	神奈川労務安全衛生協会	副事務局長
事 業 所	斎 藤 譲	日産車体株式会社本社工場	人事（厚生）グループ長
	内 海 大 助	大東化学株式会社	総務課主任
	中 野 みどり	田中貴金属工業株式会社平塚工場	看護師
	吉 川 敬 子	株式会社サンユー	品質保証部長（管理栄養士）
関 係 団 体	高 橋 暁 子	地域活動栄養士 菜の花会	会長
	田 中 美代子	食生活改善推進団体 ママの会	会長
行 政	二 宮 克 巳	平塚市健康課	課長
	佐 野 慎 治	大磯町スポーツ健康課	課長
	西 山 義 勝	二宮町保険予防課	課長
学 識 経 験 者	山 本 妙 子	神奈川県立保健福祉大学	教授
保健福祉事務所	竹 村 隆 夫	平塚保健福祉事務所	所長

オ 地域精神保健福祉連絡協議会 <保健予防課>

区 分	氏 名	所 属 機 関 名	職 名 等	
医 療 関 係	樋口 誠逸	富士見台病院	院長	
	大野 史郎	研水会平塚病院	院長	
地 域 関 係 機 関 団 体	会 員	当事者会	代表	
	谷田川 靖子	湘南あゆみ会	代表	
	田中 直人	NPO法人平塚市精神障害者地域生活支援連絡会	理事長	
	尾上 貴昭	ジョブコーチ大磯	施設長	
	小沢 貞雄	精神保健福祉ボランティアグループこんぺいとう	代表	
	大久保 一雄	サンシティひらつか	所長	
	萩原 勝己	社会福祉法人素心会地域支援センターそしん	センター長	
	辻 隆造	社会福祉法人至泉会ソレ平塚生活支援	センター長	
	堀内 禎晋	医療法人研水会ポラリス	施設長	
	村田 剛	ほっとステーション平塚相談支援事業	管理者	
	和田 吉司	湘南平塚断酒新生会	会長	
	竹沢 光史	平塚市社会福祉協議会	事務局長	
	木内 健太郎	大磯町社会福祉協議会	事務局長	
	今井 均	二宮町社会福祉協議会	事務局長	
	新津 節治	平塚公共職業安定所	所長	
	黒沢 武	平塚労働基準監督署	署長	
	市 町	大野 富雄	平塚市	障がい福祉課
二宮 克己		健康課		課長
久松 美代子		子ども教育相談センター		所長
金子 博文		福祉総務課		課長
大野 勉		こども家庭課		課長
鎌田 安之		高齢福祉課		課長代理
小島 昇		大磯町	福祉課	主幹
佐野 慎治			スポーツ健康課	課長
須賀 亜希穂		二宮町	福祉課	副主幹
戸丸 隆司			保険医療課	課長
黒石 徳子			教育総務課	課長
県	丹波 進	青少年センター青少年サポート課	課長	
	晝場 壽代	精神保健福祉センター 調査・社会復帰課	課長	
保 健 福 祉 事 務 所	竹村 隆夫	平塚保健福祉事務所	所長	
	海法 澄子	平塚保健福祉事務所	保健福祉部 部長	

カ 歯及び口腔の健康づくり推進委員会 <保健福祉課>

区 分	氏 名	所 属 機 関 名		職 名 等
関 係 団 体	宮 本 成 彦	(一社)平塚歯科医師会		常務理事
	浅 井 玲 子	平塚地域歯科衛生士の会		会長
	土 方 保 造	(平塚市)		8020運動推進員
	三 堀 ふ じ 子	(大磯町)		8020運動推進員
	平 田 光 枝	(二宮町)		8020運動推進員
子育て関係機関	和久井 葉子	平塚市子ども家庭課		総括
行 政	山 崎 礼	平塚市	高齢福祉課	主査
	多 田 明 子			嘱託
	岡 田 博	健康課		主管・健康づくり担当長
	小 山 朱 美			主任
	古久澤 枝里			技師補
	吉 田 敏 美	大磯町	スポーツ健康課	副技幹兼健康増進係長
	田 代 宏 美	二宮町	保険医療課	主査
	金 城 美 栄 子		子ども育成課	嘱託
	竹 村 隆 夫	平塚保健福祉事務所		所長

6 職員研究論文等一覧

(1) 職員の研究会・学会等発表

演 題 名	発表者名	月 日	会 場	研究会等名称
神奈川県における狂犬病発生リスクマップの検討	環境衛生課 横田宏一郎	7月12日	神奈川県自治会館	衛生監視員等研究発表会
平成24年度訪問相談支援強化事業報告 保健福祉事務所で実施した59の事例への支援から一効果及び今後の課題一	保健予防課 小杉 敦子	11月1日	神奈川県総合医療会館	神奈川県公衆衛生学会
周期期リスクアセスメントシートの分析の報告～若年妊産婦の特徴と課題	保健福祉課 天方 佑美	1月13日	国際医療福祉大学 小田原保健医療学部	第2回 日本公衆衛生看護学会学術集会
神奈川県中堅保健師自主勉強会の取り組み(第1報)	保健福祉課 宮崎 晃子	1月13日	国際医療福祉大学 小田原保健医療学部	第2回 日本公衆衛生看護学会学術集会
筋萎縮性側索硬化症(ALS) 患者・家族に対する在宅療養支援の一考察～保健福祉事務所保健師の役割～	保健予防課 内田 聡子	1月31日	神奈川県総合医療会館	地域保健師研究発表会
受療を拒否する結核患者への支援について	保健予防課 望月 恵	1月31日	神奈川県総合医療会館	地域保健師研究発表会
特定給食等指導を通じた働く人の健康づくり(第1報)ー食環境整備を推進するための卓上POPの作成についてー	保健福祉課 木口 智美	2月21日	かながわ労働プラザ	神奈川県栄養改善学会
特定給食等指導を通じた働く人の健康づくり(第2報)ー給食施設栄養管理報告書からみえる食環境整備の課題ー	保健福祉課 上月 康子	2月21日	かながわ労働プラザ	神奈川県栄養改善学会

(2) 作成印刷物

印 刷 物 名	年 月	規格	主 管 課
自殺対策普及啓発用クリアホルダー 成人用・若者用	25年7月	A版(両面)	保健予防課

平成25年度 平塚保健福祉事務所年報

平成 26 年11月 発行

編集・発行 神奈川県平塚保健福祉事務所



神奈川県

平塚保健福祉事務所

平塚市豊原町 6-21 〒254-0051 電話 0463(32)0130 (代)

URL <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f47/>